

アーツカウンシル東京

平成29 (2017) 年度 事業報告書

アーツカウンシル東京

**平成29 (2017) 年度
事業報告書**

目次

■アーツカウンシル東京の役割と事業展開

■平成29年度の活動を振り返って

I. 2020年に向けた展開

01 東京文化プログラム助成	39
02 Tokyo Tokyo FESTIVAL企画公募事業	41
03 都民パフォーマンスコーナー・通称トバコ	42
04 東京キャラバン	43
05 TURN	46

II. 芸術文化支援事業

06 東京芸術文化創造発信助成、東京地域芸術文化助成、芸術文化による社会支援助成	51
--	----

III. 芸術文化創造・発信事業

07 伝統芸能公演	55
08 江戸あそび ～日本橋伝統文化フェスティバル～	57
09 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2017～	58
10 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2017	60
11 東京大茶会2017	61
12 プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	62
13 Music Program TOKYO	65
14 アンサンブルズ東京	72
15 上野「文化の社」新構想	73
16 六本木アートナイト2017	74
17 MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景	78
18 第10回恵比寿映像祭	80
19 東京芸術祭2017	83
20 Shibuya StreetDance Week 2017	85
21 芸劇セレクション	87
22 TACT/FESTIVAL 2017	89
23 キッズ伝統芸能体験	90
24 パフォーマンスキッズ・トーキョー	93
25 Museum Start あいうえの	96
26 子供のための伝統文化・芸能体験事業	98
27 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム	100
28 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	102

東京アートポイント計画

29 TERATOTERA	104
30 小金井アートフル・アクション!	107
31 アートアクセスあだち 音まち千住の緑	111
32 トッピングイースト	116
33 リライトプロジェクト	119
34 東京スープとブランケット紀行	122
35 汐入タワープログラム	124
36 Betweens Passport Initiative	125
37 東京ステイ	127
38 500年のcommonを考えるプロジェクト 「YATO」	129
39 HAPPY TURN/神津島	131
40 Artpoint Meeting	132

IV. 東京の文化力による震災からの復興

41 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo	133
---	-----

V. 人材育成事業

42 タレント・トーキョー 2017	138
43 アーツアカデミー	139
44 Tokyo Art Research Lab	140

VI. 国際ネットワーク事業

45 アーツカウンシル・フォーラム	145
-------------------	-----

VII. 企画戦略事業

46 メディアアート国際シンポジウム	146
47 障害とパフォーマンス・アーツ研究会	147
48 舞踊分野の振興策 研究会	148
49 【長期助成プログラム】活動報告会	149
50 広報活動	151

アーツカウンシル東京の役割と事業展開

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。

設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。

2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。

3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

I. 2020年に向けた展開

2020年に向けて、助成事業や企画公募事業、東京キャラバン、TURNといった文化プログラムを牽引する事業を展開することで、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会を作り出していくとともに、発信力強化を進めます。

II. 芸術文化支援事業

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施します。

III. 芸術文化創造・発信事業

多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるために、芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業です。これらの事業を通じて新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。また、文化の面でのレガシーを2020年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現をめざします。

フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取り組みです。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。

IV. 東京の文化力による震災からの復興

東京都による芸術文化を活用した東日本大震災被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアートNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。

V. 人材育成事業

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

VI. 国際ネットワーク事業

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけ作りを行います。

VII. 企画戦略事業

東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信していきます。

平成29年度の事業を振り返って

アーツカウンシル東京の平成29年度は、東京が芸術文化の力で都市の魅力を高めるため、次のように事業を拡大し、成長する年となりました。

■東京文化プログラムの新展開

東京2020大会に向けて実施している東京文化プログラムは、新たな発想を取り入れた芸術文化活動や多様な芸術文化交流を進め、都市全体での祝祭感を創り出すことで、東京を芸術文化都市とするレガシーを目指しています。

平成29年度は、東京都とアーツカウンシル東京が主催する事業として、斬新で独創的な企画を広く募るため、実施時期を特定して「Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募」を行いました。公募のお知らせは、国内外に向けて広く提供しました。海外からの応募を含めた様々な企画提案があり、平成30年度に決定することにしています。

助成による事業は、前年度から始めた「気運醸成プロジェクト支援」に加えて、対象をより明確にする「市民創造文化活動支援」「海外発文化プロジェクト支援」「未来提案型プロジェクト支援」を新たに実施しました。

東京文化プログラムを先導する事業として平成27年度に始めた「東京キャラバン」と「TURN」のうち、東京キャラバンは、多種多様なアーティストが出会い文化混流することで、新たな表現が生まれるというコンセプトを実現するため、本年度は日本全国の自治体から立候補を募り、実施しました。また、TURNは、アーティストと福祉施設やコミュニティ等との交流プログラムの拡充や、活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を実験的に展開しました。

■東京芸術祭の新たな実施体制の始動

都市型芸術祭の構築に向けた東京芸術祭は、2018年から2020年までの総合ディレクターに宮城聡氏を任命し、舞台芸術の各事業を担当する7名のディレクターとともに構成するプランニングチームにおいて企画を練る体制で実施していくことを決定しました。

■長期助成プログラム活動報告

東京芸術文化創造発信助成のうち長期助成プログラムでは、2年または3年間に及ぶ作品制作プロセス等に支援しています。助成対象活動を振り返り、団体の今後の展望を共有するとともに、長期助成プログラムの意義を考えるための報告会を実施しました。

■文化による拠点づくり

創造的な拠点をつくるアートポイント計画では、公募によるNPOが新たに2団体加わり、11のアートプロジェクトを共催しました。このうち3団体は、コミュニティづくりなどの成果を披露し、本年度をもって活動を終了しました。

これら以外の事業についても、これまで積み重ねた実績の上にさらに充実させるための見直しや拡充を行いました。アーツカウンシル東京が取り組む新たな事業や実施体制によって、東京が層の厚い芸術文化都市に変貌しつつある姿が見えてきました。

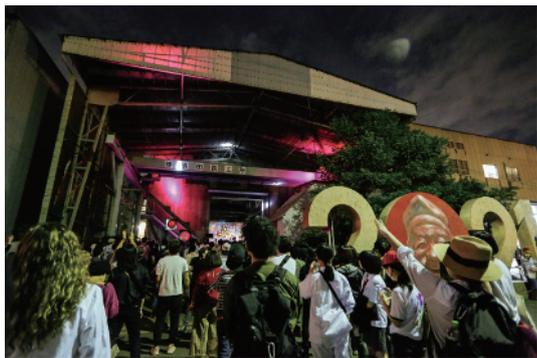
今後の更なる展開にご協力ください。

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京
機構長

三好勝則

東京文化プログラム助成

▶ 詳細 p.39



鉄工島FES ©鈴木雄介



MUTEK.JP Photograph : SHIGEO GOMI, RYU KASAI



エレクトロニコス・ファンタスティコス Photo : Mao Yamamoto

都民パフォーマーズコーナー・通称トパコ



中野七頭舞



じゃんがら念仏踊り

▶ 詳細 p.42



大江戸玉すだれ



JAZZ&手話ダンス (舞はんど舞らいつ)

東京キャラバン

▶ 詳細p.43



東京キャラバン in 京都・二条城 (2017年) 撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 京都・二条城 (2017年) 撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 京都・二条城 (2017年)
撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 熊本 (2017年) 撮影：宮井正樹



東京キャラバン in 熊本 (2017年) 撮影：宮井正樹



東京キャラバン in 八王子 (2017年) 撮影：井上嘉和

▶ 詳細 p.46



TURN in BIENALSUR アレハンドラ・ミスライ×プリンカール
撮影：MUNTREF MEDIA



TURN LAND 第 2 回おとな図鑑 (こども会議)



TURN フェス 3 撮影：伊藤友二



TURN フェス 3
撮影：伊藤友二



交流プログラム 森山開次とクラフト工房 La Mano



TURN フェス 3
撮影：伊藤友二



交流プログラム 大西健太郎と板橋区立小茂根福祉園



第 1 回 TURN ミーティング 撮影：伊藤友二

伝統芸能公演

詳細p.55



J-CULTURE FEST 「三番叟 FORM II」
Photo by Hiroyuki Takahashi/NEP



大江戸寄席と花街のおどり その七 ©横井洋司



伝統芸能普及公演 「能楽の水鏡」



第18回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル

江戸あそび～日本橋伝統文化フェスティバル～

▶ 詳細p.57



まちなか伝統パフォーマンス



まち文化ストリート 伝統文化体験



熙代ステージ リズムなぎなた



熙代ステージ 能をモチーフとした舞踊

伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2017～

▶ 詳細 p.58



ファッションショー



人力車 八王子芸妓衆



菅生歌舞伎



八王子芸妓衆



大戸ばやし保存会



八王子車人形西川古柳座と説経節の会



武蔵野女子学院中学校・高等学校箏曲部

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2017

▶ 詳細p.60



神楽坂芸能めぐり 街角ライブ



赤城神社 夕暮れライブ



神楽坂路上界隈 新内流し



店めぐり・古典芸能ライブ



神楽坂路上界隈 城端曳山祭 〈庵唄〉



覗いてみようお座敷遊び

東京大茶会2017

▶ 詳細 p.61



野点 (江戸東京たてもの園)



WELCOME！英語で楽しむ茶席
(江戸東京たてもの園)



茶席 (江戸東京たてもの園)



子供のための茶道教室 (江戸東京たてもの園)



茶道はじめて体験 (浜離宮恩賜庭園)



高校生野点 (浜離宮恩賜庭園)



茶席 (浜離宮恩賜庭園)



野点 (浜離宮恩賜庭園)

プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

▶ 詳細p.62



室内楽公演の様子（奥多摩町公演）



楽器体験の様子（多摩公演）



オーケストラ公演の様子
（小平公演）

オーケストラ公演の様子（福生公演）



指揮体験の様子（日野公演）

室内楽公演の様子（檜原村公演）



Music Program TOKYO

▶ 詳細 p.65



まちなかコンサート (国際子ども図書館)



オペラをつくろう! (合唱)



ミュージック・ワークショップ・フェスタ
「ライオン・ビート」
©Mino Inoue



Jazz meets Classic ©堀田力丸



まちなかコンサート (東京都美術館)



オペラをつくろう! (工作)



東京文化会館ミュージック・ワークショップ
「森の王様のフェスタ」 ©Mino Inoue

アンサンブルズ東京

▶ 詳細 p.72

当日の様子 撮影：興石有佑

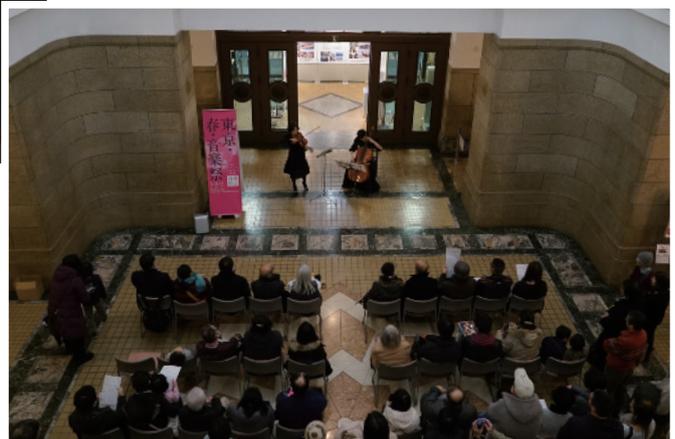


ワークショップの様子 撮影：新井潔



上野「文化の杜」新構想

▶ 詳細 p.73



写真提供：上野文化の杜新構想実行委員会

六本木アートナイト2017

▶ 詳細 p.74



©六本木アートナイト実行委員会

MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景

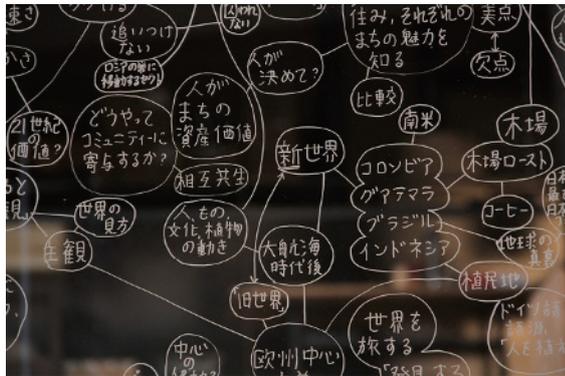
▶ 詳細 p.78



Atsuko Nakamura 《内在する速度》2017年
「MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景」展示風景
撮影：白井晴幸



のらもじ発見プロジェクト 2017年
「MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景」展示風景
撮影：白井晴幸



石塚まこ 《反転する視点》2017年
「MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景」展示風景
撮影：白井晴幸

第10回恵比寿映像祭

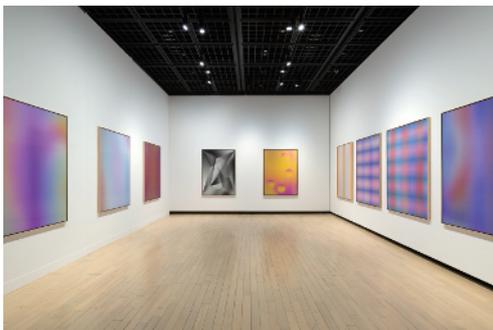
▶ 詳細 p.80



ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ 《無題》2015年
第10回恵比寿映像祭「インヴィジブル」展示より
撮影：新井孝明



ポール・シャリッツ 《Shutter Interface》1975年
第10回恵比寿映像祭「インヴィジブル」展示より
撮影：大島健一郎



ラファエル・ローゼンダール 「Into Time」シリーズ
第10回恵比寿映像祭「インヴィジブル」展示より
撮影：大島健一郎



invisible designs lab. 《予言》2018年
第10回恵比寿映像祭「インヴィジブル」オフサイト展示より
撮影：大島健一郎

東京芸術祭2017

▶ 詳細p.83



フェスティバル/トーキョー17
『パレスチナ、イヤーゼロ』
撮影：青木 司



『「表に出ろいっ！」 English version “One Green Bottle”』
撮影：篠山紀信



『オセロー』
Photo：Jan Versweyveld



『大田楽 いけぶくろ絵巻』
撮影：前澤秀登



プレイベント
南池袋公園



アジア舞台芸術人材育成部門
国際共同クリエイション公演
『Kiss Kiss Bang Bang 2.0』

© APAF2017

Shibuya StreetDance Week 2017

▶ 詳細 p.85



BATTLE PARK © [Shibuya StreetDance Week 2017]



BLUE STAGE © [Shibuya StreetDance Week 2017]



SSDW CONTEST © [Shibuya StreetDance Week 2017]



DANCE WITH music © [Shibuya StreetDance Week 2017]



LECTURE SPOT © [Shibuya StreetDance Week 2017]



芸劇セレクション

▶ 詳細p.87



『気づかいルーシー』



『秘密の花園』
AD：永瀬祐一
PHOTO：西村淳



『池袋ウエストゲートパーク SONG & DANCE』



ローザス 『フェーズ—Fase』 ©Herman Sorgeloos

TACT/FESTIVAL 2017

▶ 詳細p.89



シルコ・アエレオ 『ピアニスト』
Photo：Juho Rahijarvi



劇団コープス 『ひつじ』
Photo：Gary Mulcahey



バリ島の仮面舞踊と影絵芝居
『月と太陽—Eclipse—』

キッズ伝統芸能体験

▶ 詳細 p.90

お稽古の様子 撮影：武藤奈緒美



三曲 箏曲



能楽 謡・仕舞



日本舞踊 [女子] (ユースプログラム)



長唄 篠笛

発表会の様子 撮影：武藤奈緒美



能楽 狂言



長唄 三味線



三曲 尺八



日本舞踊 [男子]



ココキタ 発表公演
『命の夢』
(アーティスト 入手杏奈)
撮影：bozzo



調布市せんがわ劇場 発表公演
『つくって、演じて、動いて、歌って。』
(アーティスト 前嶋のの)
撮影：松本和幸



武蔵村山市民会館 発表公演
『からだ喜ぶ Rhythm ツアー!!!～自分のリズムを探す旅～』
(アーティスト 石坂亥士)
撮影：bozzo



IMA ホール 発表公演
『ナルのね物語』
(アーティスト 伊藤千枝)
撮影：松本和幸



世田谷区民会館 発表公演
『木目調/デジタル』
(アーティスト 青木尚哉)
撮影：金子愛帆



Museum Start あいうえの

▶ 詳細 p.96



あいうえの学校 / スペシャル・マナー・コース
(東京都美術館「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」)



あいうえのファミリー / ミュージアム・トリップ
(東京都美術館「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」)



あいうえのファミリー / あいうえの日和



あいうえのファミリー / あいうえのスペシャル

子供のための伝統文化・芸能体験事業

▶ 詳細 p.98



演芸 (落語)



芸能
(八王子車人形)



伝統工芸
(東京手描友禅)

外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム



獅子舞（羽田空港国際線旅客ターミナル）



日本舞踊（浅草文化観光センター）

▶ 詳細p.100



演芸（東京都江戸東京博物館）



長唄の三味線（浅草文化観光センター）

外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム



江戸糸あやつり人形×落語
「人情噺 文七元結」体験プログラムの様子



江戸糸あやつり人形×落語
「人情噺 文七元結」公演の様子
撮影：宮崎光章



「能「翁付絵馬女体」公演の様子
撮影：前島写真店



「能「翁」—神々との邂逅」体験プログラムの様子
撮影：前島写真店

▶ 詳細p.102



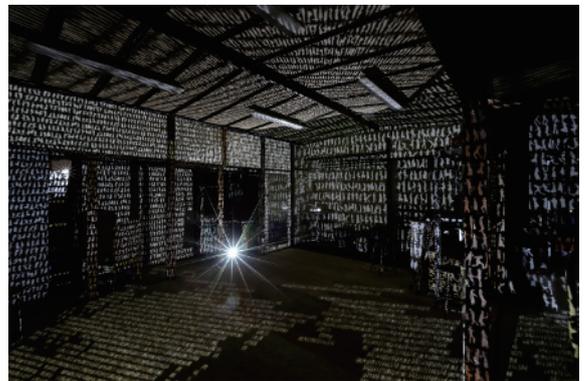
Really Really Free Market
Photo : Ujin Matsuo



パフォーマンス・デイー 秋のカラダ収穫祭ー
Photo : Takafumi Sakanaka



西荻映像祭2017 ー 不可分な労働と表現 ー
Photo : Takafumi Sakanaka



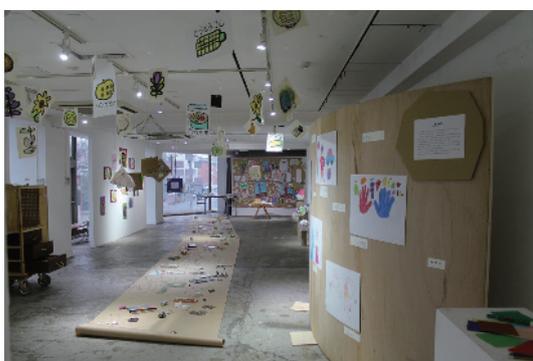
TERATOTERA 祭り2017 Neo-political ~わたしたちのまつりごと~
Photo : Takafumi Sakanaka



Hi-Blood Pressure展 マルティナ・シチビチヨル



Hi-Blood Pressure展 アンナ・オルラフスカ



まちはみんなのミュージアム かがわ工房編



アーサー・ファン「見ないでおぼえましょう」 Let's try and remember without looking (小金井市立第四小学校)



2017年度成果展「今まで気づかなかったまちの見えかた
.....の地図をえがこう!」



小金井と私 秘かな表現 想起の遠足



アサダワタル「想起の遠足」本町小学校編「なぞってた
どって“通学路”」(小金井市立本町小学校)



森の中に風景をつくる (小金井市立緑小学校)

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

▶ 詳細 p.111



大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2017 関屋」
撮影：富田了平



野村誠 千住じゃれ音楽祭
第2回 定期演奏会「かげきな影絵オペラ」
撮影：富田了平



イミグレーション・ミュージアム・東京「フィリピンからの、ひとりひとり マキララー—知り、会い、踊る—」
パーティー：フィリパビボ!!



野村誠 千住じゃれ音楽祭「第2回じゃれ音楽研究大会」
撮影：富田了平



千住・縁レジデンス 表現 (Hyogen)「茶MUSICA」
撮影：鈴木竜一朗



アサダワタル 千住タウンレーベル
音盤千住 レコ発企画「聴きめぐり千住！」
撮影：富田了平

トッピングイースト

▶ 詳細p.116



ほくさい音楽博・義太夫
撮影：後藤武浩



ほくさい音楽博・みまもり隊



ほくさい音楽博・ガムラン
撮影：後藤武浩



ほくさい音楽博・スチールパン
撮影：後藤武浩



東京 Orchest-Lab 活動の様子

リライトプロジェクト

▶ 詳細 p.119



Relight Committee 2017 photo by 丸尾隆一



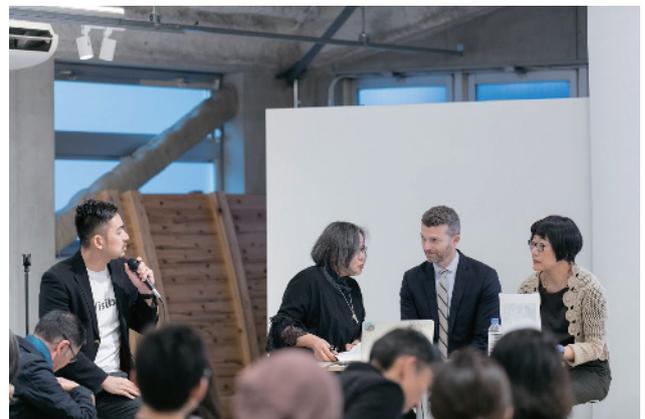
Relight Days 2018 photo by 丸尾隆一



Relight Days 2018 photo by 丸尾隆一



Relight Symposium 2017 photo by 丸尾隆一



Relight Symposium 2017 photo by 丸尾隆一

東京スープとブランケット紀行

▶ 詳細 p.122



Rest In Peace, Tokyo. photo : GO

汐入タワープログラム

▶ 詳細 p.124



汐入タワープログラム「さよなら汐入タワー いままでありが塔」

Between Passports Initiative



▶ 詳細 p.125

シェアリング・セッション Stories behind "How do we meet? How can we meet?" 多文化な若者たちの居場所づくり それぞれの現場から見てきたいま

シェアリング・セッション



人材育成プログラム



定時制高校プログラム

東京ステイ



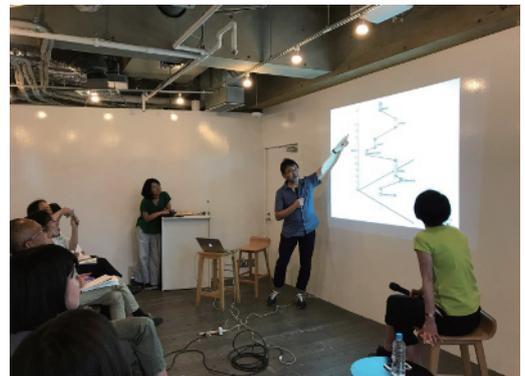
pilgrim (pilgrimage) の様子
撮影：河野慎平



pilgrim (pilgrimage) の様子
撮影：石神夏希



レクチャー&ディスカッション「 pilgrim (pilgrimage) とは何か」



レクチャー&ディスカッション「フィールドワークする身体性」

▶ 詳細 p.127

500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」



YATOのお披露目 住職のお話



[▶ 詳細p.129](#)

YATOのお披露目 餅つき



YATOの棚卸し



YATOの棚卸し

HAPPY TURN / 神津島

[▶ 詳細p.131](#)



リサーチ風景



リサーチ風景



Artpoint Meeting #03



Artpoint Meeting #05



Artpoint Meeting #04

東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

▶ 詳細 p.133



盆栽あそび
(ぐるぐるミックスin釜石)



ワークショップと点灯の様子
(とうほくのこよみのよぶね)



こどもを対象としたアウトリーチ・ワークショップ
(えずこフリー塾)



港域の文化を巡るプログラムのためのリサーチ
(つながる湾プロジェクト)



海底タイムカプセル松島湾 (つながる湾プロジェクト)



松島湾とハゼ・焼き干しづくり (つながる湾プロジェクト)



港域の文化を巡るプログラムのためのリサーチ
(つながる湾プロジェクト)

タレンツ・トーキョー 2017

▶ 詳細 p.138



アーツアカデミー

▶ 詳細 p.139



「アーツアカデミー（調査研究員制度）」の研修会の様子



東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修の研修会の様子

Tokyo Art Research Lab

▶ 詳細 p.140



思考と技術と対話の学校「言葉を紡ぐ」
撮影：川瀬一絵



思考と技術と対話の学校「技術を深める」第1回アートプロジェクトの
運営スキルを身につけよう・事務局ビギナー編

アーツカウンシル・フォーラム

▶ 詳細 p.145



メディアアート国際シンポジウム

▶ 詳細 p.146



撮影：富田了平



撮影：富田了平

【長期助成プログラム】活動報告会

▶ 詳細 p.149



第1回 カンパニーデラシネラ



第2回 Dance New Air



第3回 庭劇団ベニノ

01

東京文化プログラム助成

【事業概要】

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020年に向け、より多くの人々が文化プログラムに参加できること、また2020年以降の東京の芸術創造環境の向上を目的とした助成事業を実施する。

【事業趣旨（目的）】

〈気運醸成プロジェクト支援〉

民間企業など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある芸術文化事業を支援し、文化プログラムを人々へ周知するとともに、2020年に向けた気運の醸成を図る。

〈市民創造文化活動支援〉

都民の日常のかつ主体的な芸術文化活動を支援する。

〈海外発文化プロジェクト支援〉

海外からのアーティスト等の東京での新作発表を支援し、国際的な創造活動拠点としての東京の魅力を高めるとともに、都民が新しい表現に触れる機会を提供する。

〈未来提案型プロジェクト支援〉

アートとテクノロジーの融合により、新しい表現の創造や技術の開発にチャレンジするプロジェクトを支援する。

■平成29年度採択実績

全体 申請件数：181件

採択件数：44件

交付決定総額：249,180,118円

〔内訳〕

①気運醸成プロジェクト支援（対象期間：平成29（2017）年6月1日～平成30（2018）年5月31日）

申請件数：42件

採択件数：9件

交付決定総額：70,759,290円

申請団体名	申請活動名
寺田倉庫株式会社	鉄工島FES～運河を利用したMIXED MEDIA FES～
特定非営利活動法人東京フィルムメックス実行委員会	第18回東京フィルムメックス/TOKYO FILMeX 2017
株式会社ホリプロ 公演事業部	百鬼オペラ『羅生門』
TYA Japan（日本児童青少年舞台芸術協会）	アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル2018
株式会社アミューズ	フェルサ ブルータ WA! -Wonder Japan Experience
株式会社東急文化村	「ブルートゥー PLUTO」
一般社団法人MUTEK Japan	MUTEK.JP
株式会社NHKエンタープライズ	TOKYO JAZZ WEEKEND 2017 ～みんなのジャズ～
合同会社KUNIO, Inc.	観るひと・創るひと・製作するひとのための古典プロジェクト（仮）

②市民創造文化活動支援 第1期（対象期間：平成29（2017）年5月1日～平成30（2018）年3月31日）

申請件数：33件

採択件数：7件

交付決定総額：38,056,000円

申請団体名	申請活動名
東京国際音楽祭実行委員会	東京国際音楽祭ブレ大会
東京・暗渠劇実行委員会	「東京・暗渠劇」プロジェクト
渋谷ズンチャカ実行委員会	渋谷ズンチャカ！
一般社団法人町田青年会議所	まちたからフェスタ×とっておきの音楽祭 in Machida 2017
トロールの森実行委員会	野外×アート×まちなか トロールの森2017
西多摩百景写真展実行委員会	ここも東京 NISHITAMAによろこそ！～西多摩フォト聖地巡礼～
一般社団法人大江戸玉すだれ	玉すだれ博覧会～日本人の知らないニッポンの芸能～

2020年に向けた展開

- ③市民創造文化活動支援 第2期（対象期間：平成29（2017）年10月1日～平成30（2018）年9月30日）
 申請件数：20件
 採択件数：5件
 交付決定総額：19,438,645円

申請団体名	申請活動名
中野フレッシュロックフェスティバル実行委員会	中野フレッシュロックフェスティバル
特定非営利活動法人こどもの城合唱団	こどもの城合唱団コンサート ～こどもたちからのサウンドメッセージ～
合同会社ヴァイナルソユーズ	「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」 ～本祭！：家電雷鳴篇～
東京カラオケまつり実行委員会	東京カラオケまつり
特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク	シニア劇団かぶつ・かんじゅく座による東京の島巡演の旅

- ④海外発文化プロジェクト支援（対象期間：平成29（2017）年12月1日～平成30（2018）年9月30日）
 申請件数：31件
 採択件数：11件
 交付決定総額：53,244,609円

申請団体名	申請活動名
Ko & Edge	Responding to Ko Murobushi
垂細亜の骨	新作・台湾演劇公演『同棲時間』
ゲーテ・インスティトゥート東京ドイツ文化センター	亡命中－ゲーテ・インスティトゥート・ダマスカス@東京
音楽詩劇研究所	ユーラシアンオペラ東京2018
株式会社バルコ	ロワイヤル・ドゥ・リュクス シンポジウム&リサーチ
一般社団法人マルタス〇+	雅歌
有限会社グッドフェローズ	燐光群 アジア共同プロジェクト 日本・タイ・フィリピン合作『リタイアメン』（仮題）
株式会社日精ビーアール	東京の音/The Sounds of Tokyo
アサクサ実行委員会	アサクサエンターテイメント
プリティッシュ・カウンスル	ロンドン交響楽団と日本の音楽家との協働プロジェクト ～Discovery for 2020～
東京工業大学環境・社会理工学院	生命体テクノロジーファッション工房

- ⑤未来提案型プロジェクト支援（対象期間：平成29（2017）年12月1日～平成30（2018）年9月30日）
 申請件数：55件
 採択件数：12件
 交付決定総額：67,681,574円

申請団体名	申請活動名
国立大学法人東京藝術大学	身体性を劇場空間へ拡張するダンス・インスタレーション
一般財団法人吉岡文庫育英会	x-LAB 2018 TOKYO summer program
DDD Project	障害を起点とした新しい価値を探るデザインプロセスの実践vol.2
JKD Collective株式会社	Playable City Tokyo 2018
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	落合陽一&日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト 音の視覚化・身体化による新たなオーケストラ体験創出事業（仮称）
若者能実行委員会	VR能 ～最新VRテクノロジーによる能楽の世界発信プロジェクト～
株式会社ライゾマティクス	ライゾマティクスリサーチ×イレブンプレイ新作公演制作プロジェクト
echoプロジェクト	echo
ZEN-NOKAN	ALTANATIVE ACT 1.0 -Tech performance fes-（仮）
一般社団法人TodaysArt JAPAN	MeCA Media Culture in Asia: The Transnational Conference
株式会社オルタナティブ・マシン	人工生命国際会議パブリックプログラム アンドロイド・コンサート Scary Beauty 日本科学未来館公演
一般社団法人運動会協会	未来の東京の運動会

※申請団体名および申請活動名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

02 Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募事業

【事業概要】

1. 応募書類受付期間：平成30（2018）年2月1日（木）～28日（水）
2. 企画対象期間：平成31（2019）年秋から平成32（2020）年9月までの間に実施・終了する企画
3. 企画実施場所：東京都内
4. 主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
5. 募集企画内容：
 - (1) 対象となる分野
音楽、演劇、舞踊、美術、写真、文学、メディア芸術（映像、マンガ、アニメ、ゲームなど）、伝統芸能、芸能、生活文化（茶道、華道、書道、食文化など）、ファッション、建築、特定のジャンルにとらわれない芸術活動（複合）等を想定
 - (2) 期待する企画内容
以下の目的をもった企画
・インパクトある芸術創造
・あらゆる人々が参加できる
・アートの可能性を拡げる
 - (3) 事業規模
委託事業費の限度額は、数百万円から2億円を超えない範囲となるが、協賛金や自己資金など、他の収入を含めた事業規模についてはこの限りではない。

【事業趣旨（目的）】

本事業は、斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、2020年4月頃から展開していく「Tokyo Tokyo FESTIVAL」*の中核となる事業として、人々の記憶に残る東京文化プログラムを創り上げ、2020年を超えて、東京がよりクリエイティブな文化都市へとステップアップしていくことを目指す。

採択された企画は、2019年秋から2020年9月までの間に東京都内で実施する。実施にあたっては、東京都およびアーツカウンシル東京の主催事業として、原則として制作等を提案者に委託する。

*「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは：国内外からの注目が最も集まる、2020年の大会期間を含む約半年間に実施される東京文化プログラムの総称

【実施状況】

平成29（2017）年度は、アイデア企画の公募を実施し、応募のあった企画の事前精査を行った。また、平成30（2018）年度以降に予定されている第一次審査、実現可能性調査、第二次審査、事業構築および事業実施に繋げる準備を行った。

1. 実施プロセス

- | | |
|--------------------------|--|
| ・平成29（2017）年7月： | 企画公募事務局の設置 |
| ・平成29（2017）年11月24日： | 企画公募プレスリリース、応募ガイドライン制定、
企画公募特設サイト公開 |
| ・平成29（2017）年11月～平成30年1月： | 広報・PR活動の展開 |
| ・平成30（2018）年2月1日～28日： | 応募書類受付（エントリー）期間 |
| ・平成30（2018）年3月： | 応募書類事前精査の実施 |

2. 応募件数：日本および国外28か国・地域から、計2,436件（平成30年3月8日プレスリリース時点）

3. 特設サイトアクセスユーザー数：計117,702ユーザー（平成30年3月14日時点）

03

Tokyo Tokyo FESTIVAL場の開放事業 「都民パフォーマーズコーナー・通称トパコ」

【事業概要】

1. プレイイベント「東北応援パフォーマンス～都民がおどる東北郷土芸能～」

開催日	平成29（2017）年11月16日（木）
会場	OOTEMORI 地下2階（みずほフィナンシャルグループ本社）
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
協力	オリンピック・パラリンピック等経済界協議会
出演者	3団体35人 ・一の会（中野七頭舞／岩手県） ・西馬音内盆踊り愛好会（西馬音内盆踊り／秋田県） ・小名浜じゃんがら踊友会東京支部（じゃんがら念仏踊り／福島県）
観覧者数	延べ4,370人

2. トパコ オープニングイベント

開催日	平成30（2018）年3月24日（土）
会場	渋谷マークシティイーストモール1階 マークイベントスクエア
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
出演者	8団体70人 ・一般社団法人大江戸玉すだれ（玉すだれ） ・K*carat Dance Team/Dreamy*（キッズチア） ・若ぜいむ（混声合唱） ・Loop（高校生ロックバンド） ・東急セミナーBE（マンドリン） ・舞はんど舞らいふ（JAZZ & 手話ダンス） ・土曜日のユカ（JAZZバンド） ・燦-sun-（よさこい）
観覧者数	延べ2,900人

【事業趣旨（目的）】

民間企業等と連携し、自社ビル等の場を開放してもらい、都民の芸術文化活動の発表の機会を創出する事業。2020年に向け、様々な人が文化プログラムへ参画すること、また従来の枠組みや場所にとられない文化プログラムの展開に繋げていくことを目的とする。会場提供企業等も含め、より多くの団体、人々の文化プログラムへの興味を喚起することも目指す。

【実施状況】

1. プレイイベント「東北応援パフォーマンス～都民がおどる東北郷土芸能～」

大手町・丸の内エリアの企業が提供するオフィスビルスペースで、東北経済連合会と経済界協議会が連携して開催する「企業合同物産展『大手町・丸の内JAPAN市東北復興編』」と協力し、同展会場にて東京都内で活躍するアマチュア団体による東北の伝統芸能を披露した。

2. トパコ オープニングイベント

事業名をトパコに改称し、東京2020公認文化オリンピックとして実施した初めてのイベント。初回は渋谷マークシティの協力を得て、週末の買い物客等で賑わう渋谷の中心部を舞台に、トパコの出演登録団体の中から、8組のアマチュア団体が日頃の成果を披露した。

04

東京キャラバン

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年8月～平成30（2018）年3月
会場	京都府、東京都八王子市、熊本県、愛知県豊田市
主催	【京都】 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、 京都文化カプロジェクト実行委員会（京都府、京都市、京都商工会議所等） 【八王子】 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 【熊本】 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、 熊本県、熊本市、公益財団法人熊本県立劇場、熊本市現代美術館（公益財団法人熊本市美術文化 振興財団） 【豊田】 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、豊田市
協力	【京都・亀岡】 亀岡市 【八王子】 八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団 【豊田】 公益財団法人豊田市文化振興財団
総監修	野田秀樹（劇作家、演出家、役者）
観覧者数	約14,750人

【事業趣旨（目的）】

東京2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都の文化事業として、劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たな文化ムーブメント。平成29（2017）年からは全国各地に「東京キャラバン」が出現。「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図っていく。

【開催状況】

始動3年目を迎えた「東京キャラバン」を日本中を巻き込む文化ムーブメントとして展開するため、日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）から立候補を募り、共感いただいた44の地域の中から、開催候補地を選出した。東京2020公認文化オリンピックとして本格始動した平成29（2017）年度は、京都府、八王子市、熊本県で開催。京都では野田秀樹の監修の下、京都・亀岡でのワークショップと京都・二条城でのパフォーマンスを実施した。また、新たに各地の「東京キャラバン」を率いるリーディングアーティストとして近藤良平を迎え、東京・八王子では“参加型”、熊本では“巡回型”の新たなスタイルの東京キャラバンが生まれた。さらに、平成30（2018）年度以降の開催候補地に決定している豊田市にてプレイベントを実施。東京2020公認文化オリンピックとして機運醸成を図った。

1. 東京キャラバン in 京都（亀岡・二条城）

平成29（2017）年は京都・亀岡のワークショップからスタート。二条城でのパフォーマンスに向けた創作の現場を一般に公開、2日間でおよそ800人の観客が訪れた。京都の伝統芸能の担い手（祇園囃子、芸妓舞妓）や「食」を通じて表現するアーティスト、書道家など様々なジャンルの表現者たちが出会い、京都ならではの新しい表現を創作した。

世界遺産である二条城では、特設ステージを組み上げ、夕暮れの幻想的な雰囲気の中、2日間限りの「文化サーカス」としてパフォーマンスを披露した。亀岡での創作ワークショップを経て、才能溢れる様々なジャンルのアーティストやクリエイターが現地のアーティストらと出会い、ジャンルを超え文化混流する表現で、多数の申し込みの中から抽選された約850人の観客と、7,000人以上のインターネット中継視聴者を魅了した。

●亀岡

開催期間：8月19日（土）13：00～17：00、20日（日）10：00～17：00

会場：生涯学習施設・道の駅ガレリアかめおか コンベンションホール

観覧料：無料

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者）、松たか子（女優）、諏訪綾子／フードクリエイション（アーティスト）、佳つ菊（祇園甲部芸妓）、豆千佳（祇園甲部舞妓）、祇園祭鷹山保存会 囃子方、村田製作所チアリーディング部（球乗り型ロボット）、青柳美扇（書道家）、津軽三味線「小山会」、和太鼓「Atoa.」、"東京キャラバン"アンサンブル（パフォーマー）
参加クリエイター：

名和晃平（美術・空間構成）／SANDWICH | 木村舜（美術）、ひびのこづえ（衣装）、原摩利彦（音楽）、大曽根浩範（編曲）、井手茂太（振付）、青木兼治（映像）、井上嘉和（写真）

●二条城

開催期間：9月2日（土）、3日（日）19：00～20：00

会場：世界遺産・二条城 国宝・二の丸御殿前 特設ステージ

観覧料：無料（事前申込制）

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者）、松たか子（女優）、中納良恵／EGO-WRAPPIN'（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師）、諏訪綾子／フードクリエイション（アーティスト）、佳つ菊（祇園甲部芸妓）、豆千佳（祇園甲部舞妓）、祇園祭鷹山保存会 囃子方、村田製作所チアリーディング部（球乗り型ロボット）、青柳美扇（書道家）、津軽三味線「小山会」（小山豊、小山浩秀、小山貢将）、和太鼓「Atoa.」（高橋勅雄、高橋亮）、大谷祥子（箏曲家）、勝井粧子（箏曲家）、ストリングスチーム（揚見日南子、喜連麻衣、山本みなみ、太田かなえ、石豊久、巳崎響介）、"東京キャラバン"アンサンブル（秋草瑠衣子、石川詩織、近藤彩香、上村聡、川原田樹、黒瀧保士、末富真由、手代木花野、福島彩子、吉田朋弘）

参加クリエイター：

名和晃平（美術・空間構成）／SANDWICH | 木村舜（美術）、服部基（照明）、ひびのこづえ（衣装）、原摩利彦（音楽）、大曽根浩範（編曲）、赤松絵利（ヘアメイク）、井手茂太（振付）、青木兼治（映像）、井上嘉和（写真）

協力：ULTRA SANDWICH PROJECT#13（美術制作）、WLK（和小物）

2. 東京キャラバン in 八王子

本事業のコンセプトに賛同した近藤良平が「東京キャラバン」に初参加し、野田秀樹とタッグを組んで公開ワークショップと参加型パフォーマンスを2日間にわたり実施した。日比野克彦デザインの特製「やぐら」のもと、琉球舞踊、仙台すずめ踊り、ハイヤ踊り、八王子芸妓衆から、ロカビリー、ジュリアナ、パラパラまで、年代を超え古今東西の舞踊やダンスが即興でコラボレーションするなど“文化混流”を共に体感する場となった。また、ライン引きを使った地上絵ワークショップやダンボールお面、衣装作りワークショップなども実施。多様なアートや文化が交じり合う新しいアートパフォーマンスを作り上げた。

開催期間：9月9日（土）14：00～17：00 公開ワークショップ、10日（日）11：00～12：30、14：00～17：00 参加型パフォーマンス

※「伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2017～」と同時開催

会場：八王子駅周辺特設会場（旧東京都産業技術研究所八王子支所）

観覧料：無料

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者）、近藤良平（振付家、ダンサー、「コンドルズ」主宰）、広崎うらんと仲間たち、琉球舞踊（嘉数道彦、佐辺良和、平良大）、仙台すずめ踊り・高橋組、ハイヤ踊り（熊本県立天草拓心高等学校郷土芸能部）、八王子芸妓衆、原宿 ストレンジャーズ（R&R.ロカビリーダンスパフォーマンスチーム）、岡本優（TABATHA）&パラパラダンサーズ、“東京キャラバン”アンサンブル（秋草瑠衣子、石川詩織、近藤彩香、上村聡、川原田樹、黒瀧保士、末富真由、手代木花野、福島彩子、吉田朋弘、下司尚実、野上絹代、光瀬指絵）、八王子にぎやかし隊（香取直登、ぎたろー、安田有吾、安部萌、岩坪成美、小澤潤子、河合祥子、五月女侑希、しんしゆか、中井沙織、福島梓、宮内愛、山下真由美）ほか

参加クリエイター：

日比野克彦（やぐらデザイン）、SANDWICH | 木村舜（美術）、ひびのこづえ（衣装）、青木兼治（映像）、ヤマダウジ（ドローン空撮）、井上嘉和（写真・ダンボールお面ワークショップ）、前田麻里（衣装ワークショップ）

3. 東京キャラバン in 熊本

熊本では、近藤良平をリーディングアーティストに迎え、“巡回型”の新たな東京キャラバンのスタイルを創出。近藤良平と熊本めぐり音楽隊&アーティストが県内各地を巡るワークショップを展開し、最終日に市内でパフォーマー

ンスを実施した。山鹿市八千代座前から、さくら湯への練り歩きパフォーマンスや、山鹿灯籠踊りとのコラボレーション、千原太鼓保存会の子供たちとの交流や、ハイヤ踊り（熊本県立天草拓心高等学校郷土芸能部）らとの創作を経て、熊本の集大成となるパフォーマンスを熊本市街の中心地にあるびぶれす広場※で披露。観客が一体となり大きな手拍子が沸き起こるなど、大きな賑わいを創出した。※雨天により会場を熊本城二の丸広場から変更し実施。

開催期間：10月9日（月・祝）～13日（金）・15日（日）

<ワークショップ>

10月9日（月・祝）－知－

会場：山鹿市 八千代座前～さくら湯前 ほか「練り歩きパフォーマンス」

10月10日（火）－交－

会場：山鹿市 八千代座 ワークショップ・パフォーマンス「山鹿灯籠踊り」

10月11日（水）－鼓－

会場：熊本市 熊本県立熊本かがやきの森支援学校 体育館 ほか「千原太鼓」、「チーム熊本」（非公開）

10月12日（木）－動－

会場：天草市 天草市民センター 展示室「ハイヤ踊り」

10月13日（金）

会場：熊本市内 創作活動（非公開）

<パフォーマンス>

10月15日（日）－結－

会場：熊本市 びぶれす広場 10：00～15：00 公開リハーサル 15：00～17：00 参加型パフォーマンス

観覧料：無料

参加アーティスト：

近藤良平（振付家、ダンサー、「コンドルズ」主宰）、山鹿灯籠踊り保存会、熊本県太鼓連盟（千原太鼓保存会、チーム熊本）、熊本県立天草拓心高等学校郷土芸能部、熊本めぐり音楽隊&アーティスト（稲田貴貞／テナーサクソ、小西英理／アコーディオン、坂口修一郎／トランペット、たむらばん／シンガーソングライター、チャンキー松本／歌・切り絵作家、いぬんこ／絵描き、南條レオ／パーカッション、ぼん宇都良太郎／ベース、しみずけんた／カバキニョ、岡田カーヤ／アルトサクソ・隊長）、和太鼓「Atoa.」（高橋勅雄、高橋亮）※10/11、12 ワークショップのみ

参加パフォーマー：

Masashi（サンバダンサー）、COCORO（タップダンサー）、水上初佳（ダンサー）、しんしゆか（パフォーマー）

参加クリエイター：

青木兼治（映像）、宮井正樹（写真）、中西瑞美（衣装・ヘアメイク）

4. 東京キャラバンin 豊田 プレイベント

「東京キャラバン」開催候補地である愛知県豊田市にて、プレイベントを実施。近藤良平をリーディングアーティストに迎え、音楽隊&アーティストと、豊田市の伝統芸能の担い手やサンバチーム、その他パフォーマーの公募に応えたダンサーらとともに豊田市駅前にて賑わいを創出した。

開催日：3月18日（日）10：00～15：00

会場：豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ広場

観覧料：無料

参加アーティスト：

近藤良平（振付家、ダンサー、「コンドルズ」主宰）、音楽隊&アーティスト（稲田貴貞／テナーサクソ、小西英理／ピアノ・アコーディオン、坂口修一郎／トランペット、チャンキー松本／歌・切り絵、南條レオ／パーカッション、ぼん宇都良太郎／ベース、岡田カーヤ／アルトサクソ）

参加パフォーマー：

豊田市棒の手保存会、RODA GIGANTE（サンバ・太鼓等）、立体映画館（演劇グループ）、YOKO（ダンサー）、杉山絵理（ダンサー）・菅井一輝（制作・衣装）、自然回帰月光団（サンプラー：一休、ディジュリドゥ：音国）、Performer NATSU（ジャグリングパフォーマー）、小林良一（東京1964オリンピック聖火ランナー）

参加クリエイター：

青木兼治（映像）、井上貴雄（写真）

05

TURN

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	東京都美術館、東京藝術大学、東京都内近郊 ほか
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人Art's Embrace
監修	日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授）

【事業趣旨（目的）】

「人と違う」ことに価値を見出すアートの特性を活かし、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの属性や背景の違いを超えた多様な人々の出会いと表現を生み出すアートプロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムを先導する文化事業として、平成27（2015）年度より開始した。様々な分野の機関と連携および協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指す。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外で展開し、発信するとともに、TURNの考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していく。

【開催状況】

東京2020公認文化オリンピアドとして本格始動した平成29（2017）年度は、アーティストと福祉施設やコミュニティ等との「交流プログラム」を拡充し、「TURNフェス」でその様子を発表したほか、平成28（2016）年度に実施した「TURNセンター構想会議」の内容を踏まえ、TURNの活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を実験的に展開した。

1. 交流プログラム

都内を中心とした福祉施設やフリースクールなどの連携拠点にアーティストが赴き、拠点利用者や拠点職員、家族等との交流を図る。また、リサーチを通して交流を行ったアーティストは、その知見を共有しTURN関係者とともに思考を深めていく。アーティスト独自の視点で、その場に集う人々の個性や魅力を見出し、福祉的ケアとは異なる文化的対話を通じて、福祉とアートの新たな可能性を探った。

(1) 交流型

14組のアーティストが施設やコミュニティの日常と出会い、そこに集う一人ひとりとの関係性を紡いだ。様々な方法で交流が行われ、ヒアリングや日報などを通して、アーティストと交流先のメンバー双方にとって有意義な交流であったことが伺えた。

(2) リサーチ型

4人のアーティストが福祉関係の施設や専門家へヒアリングや視察を行い、摂食障害、身体障害、視覚障害など障害や福祉に関わるテーマや、多様性を認め合う社会の形成といった包括的なテーマに沿ってリサーチを行った。

実施期間：4月～3月

(3) 交流プログラム参加アーティスト、連携拠点およびリサーチ先

アーティスト	連携拠点およびリサーチ先
EAT & ART TARO	みずのき（京都府）、一般社団法人Mealink
池田晶紀、川瀬一絵	社会福祉法人ぎょうざれん リサイクル洗びんセンター（昭島市）
伊勢克也	桃三ふれあいの家（杉並区）、アトリエ・エー（渋谷区）、綾瀬ひまわり園（足立区）
今井さつき	シュレ大学（新宿区）
岩田とも子	特定非営利活動法人EPO（静岡県）、富士清掃サービス（町田市）
大西健太郎	板橋区立小茂根福祉園（板橋区）
角銅真実	大田区立障がい者総合サポートセンター（大田区）
きむらとしろうじんじん	コミュニティセンターakta（新宿区）
久保田沙耶	みずのき（京都府）、アトリエ・エー（渋谷区）
James Jack	認定特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ（静岡県）、ハーモニー（世田谷区）、シュレ大学（新宿区）、クラフト工房La Mano（町田市）
高本敦基	社会福祉法人旭川荘（岡山県）

アーティスト	連携拠点およびリサーチ先
滝沢達史	一般財団法人たんぼの家（奈良県）、みずのき（京都府）、エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパン（杉並区）
テンギョウ・クラ	認定特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ（静岡県）、ハーモニー（世田谷区）、大田区立障がい者総合サポートセンター（大田区）、小又の里（秋田県）、綾瀬ひまわり園（足立区）、桃三ふれあいの家（杉並区）、はあとびあ原宿（渋谷区）
永岡大輔	こども会議（大田区）
中崎透	パラリンピアンスキーヤー（長野県ほか）
森山開次	こころみ学園（栃木県）、クラフト工房 La Mano（町田市）
山縣良和	しょうぶ学園（鹿児島県）
山城大督	てんやくえほんふれあい文庫（大阪府）ほか

2. TURNミーティング

「TURNミーティング」は、TURNを共有し、意見交換する開かれた場として平成29（2017）年度より実施。参加アーティストや交流先メンバーなど、TURNプロジェクトの関係者が集い、また福祉や表現の専門家をゲストに招き、TURNについてトーク等を繰り広げた。

参加者数：延べ594人

(1) 第1回TURNミーティング

アーティスト、交流先施設関係者、フォトグラファー、デザイナーなど、TURNのプロジェクトメンバーが東京藝術大学に集結し、今年度の活動に向けた展望を話し合ったキックオフイベント。「TURNの交流プログラムを語る」「TURNの残し方・伝え方」「海外でのTURN-TURN in BIENALSUR の紹介-」「TURN LAND を語る」「TURN フェス3に向けて」の5部構成で、終日議論を繰り広げた。

開催日時：6月11日（日）10：00～18：00

会場：東京藝術大学美術学部中央棟1F 第1講義室

入場料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

(2) 第2回TURNミーティング「TURNを検証するⅠ」

「TURN フェス3を振り返る」「TURN in BIENALSUR を振り返る」に加え、藤浩志（アーティスト）、田中みゆき（キュレーター）をゲストに迎えて意見交換する3部構成。「TURN in BIENALSUR を振り返る」では、TURN in BIENALSUR に参加したアーティストの五十嵐靖晃と永岡大輔による、帰国直後の報告会を実施。また、ゲストが地域や福祉分野で実践されている諸事例を共有するとともに、TURNの取り組みや特性についてともに議論した。

開催日時：10月8日（日）14：00～17：30

会場：東京藝術大学音楽学部 5号館401

入場料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

(3) 第3回TURNミーティング「TURNを検証するⅡ～TURNが描く社会～」

日本の障害者福祉における表現やパフォーマンスを研究する長津結一郎とアーティストのJames Jackを迎えて、「社会包摂」と「社会実装」をキーワードに、TURNが描く社会について語り合った。研究者やアートプロジェクトの実践者としての視点とともに、アーティストならではの語りを交えながら議論した。

開催日時：11月19日（日）14：00～17：00

会場：東京藝術大学美術学部中央棟2F 第3講義室

入場料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

(4) 第4回TURNミーティング 年次報告会

東京国立博物館平成館大講堂を会場に、「この一年間から考える、これからのTURN」「地域への広がり」「手業からはじまる交流」「『ほぼ日』とTURN」の4部構成。プロジェクトメンバーである山城大督、新澤克憲、五十嵐靖晃、EAT & ART TARO、岩田とも子、永岡大輔と、鈴木一郎太（大と小とレフ取締役）、野老朝雄（アーティスト）、杉山摩美とゆーないと（ほぼ日刊イトイ新聞・スタッフ）をゲストに招き、地域への広がりを視野に入れたアートプロジェクトのあり方や、伝統的な要素を取り入れた社会へのアプローチなど、年間を通して浮かび上がってきた重要な言葉や要素を交えて語り合った。

開催日時：1月28日（日） 10：00～16：00
会 場：東京国立博物館 平成館大講堂
入 場 料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

3. TURN フェス3

アクセシビリティをテーマとして開催。近年、文化事業においても、他分野との多様な結びつきや、実施における合理的配慮などにより、障害の有無に関わらず、芸術体験の参加を促す機会をつくり出すアクセシビリティサービスの向上に関心が高まっている。TURN フェス3では、匿名の当事者を想定したアクセシビリティではなく、「交流プログラム」を通して出会った方々を具体的に思い浮かべ、会場全体の設えや展示等を通して「TURNのアクセシビリティ」を展開した。また、ワークショップ、インスタレーション、トーク、ツアー等、多彩なプログラムを通して、TURNの様々な側面を提示し展開した。

開催期間：8月18日（金）～20日（日）

会 場：東京都美術館ロビー階 第1・2公募展示室

主 催：東京都、アーツカウンシル東京・東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人 Art's Embrace

入 場 料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

入場者数：約2,300人

TURN フェス・サポーター：67人

（1）展示、パフォーマンス、ワークショップ

会場冒頭のエリアを「アクセシビリティ」と名付け、テーマと関連の深い作品を展示、紹介した。さらに、3年間の交流プログラムで育んできた関係性の上で実現した企画の記録や、交流先の施設で行われているワークショップの再現など、より深化した交流の成果が様々な形式で展開された。また、TURN フェス3で実現した新しいパフォーマンスなどを通して多彩な表現を発表するとともに来場者の参加を促し、TURNと親和性のあるプロジェクトや展覧会の紹介、構想中の新プロジェクトのキックオフの場として活用するなど、プロジェクトのプロセスやTURNとの新たな関わり方を提示した。

（2）TURN ツアー

フェス3の会期中には、各プログラムの見どころやTURNのアクセシビリティを紹介する様々なツアーを開催。日比野克彦や参加アーティスト、東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」のアート・コミュニケータ「とびラー」などが案内役となり、それぞれの見方による多様なフェスの楽しみ方が提示された。

（3）トーク

会期中の3日間を通して複数のトークイベントを実施。その主会場となったリビングルームのような「交流スペース」は、各プログラムのファシリテーターがゲストとともに、交流プログラム、TURNの海外展開、教育問題、TURN LAND、アクセシビリティなど、様々なテーマでTURNを考え合う場となった。

（4）TURN フェス・サポーター

福祉的なサポートを必要とする方を含め、様々な背景を持つ来場者が心地よくTURNフェスを楽しむことができるよう、TURNフェスの事前準備から当日の運営（受付、参加型作品のオペレーション、ツアーのアテンド、誘導等）を担うサポーターを募集し、ともに活動した。

4. TURN LAND

平成28（2016）年度に実施した「TURNセンター構想会議」を踏まえ、「TURN」の活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を、交流先の施設などの都内各所で展開した。

実施期間：4月～3月

会 場：気まぐれ八百屋だんだん（大田区）、ハーモニー（世田谷区）、クラフト工房La Mano（町田市）、板橋区立小茂根福祉園（板橋区）、東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構（西東京市）

参加者数：約250人

(1) 交流先施設のLAND化

福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティが主体となり、アーティストとともに、地域住民や一般の人も参加できる時間やプログラムをつくる。

(2) TURN LAND (サードプレイス)

アーティストと交流先施設のメンバーや社会的支援を必要とする人、地域住民等が集まり、TURNの活動を実践できる第三の場として、東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の圃場を拠点に展開。不登校や引きこもりを経験し社会復帰を目指す青少年等と、アーティストがともに農業とアート活動（ワークショップ等）を複合したプログラムを実施。さらにその過程を通してどのような効果が参加者にもたらされるのかを、生理学的、行動的、心理的、また社会的な指標から測定し、検証した。

(3) TURN運営本部

NPOを中心とする事務所機能と、「TURN」の運営を補助する「サポーター」を多く輩出できるよう、研究会や研修プログラム等も実施する情報発信のハブ機能を担った。

5 その他

(1) 「NO LIMITS SPECIAL 2017上野」参加

上野公園で開催された、パラリンピック競技の魅力を感じることができる国内最大規模のイベントで、PRブースにTURNが参加。角銅真実は、交流プログラムを行う中で出会った大田区立障がい者総合サポートセンターの利用者・木村樹と、音のある空間を生み出した。富塚絵美は、大西健太郎、テンギョウ・クラとともに、来場者をアルミホイルでキラキラに着飾り、一緒に写真を完成させる対話型パフォーマンスを展開。また、国内外で展開した活動の映像上映を通して、TURNを紹介した。

開催期間：5月6日（土）、7日（日）

会場：上野恩賜公園竹の台広場

参加者数：2,689人

(2) 「TURN in BIENALSUR」展覧会・ワークショップ開催

南米で展開された第1回国際現代美術ビエンナーレBIENALSURに招聘され、日本、アルゼンチン、ペルーの7人のアーティストが参加。8月にブエノスアイレスとリマにて交流プログラムが行われ、その中での出会いと経験を通して生まれた作品の展示とワークショップが現地で開催された。

主催：国立トレス・デ・フェブレロ大学 - BIENALSUR

企画協力：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

協力：国立大学法人東京藝術大学

交流プログラム期間：7月中旬～9月上旬

展示・ワークショップ期間：9月16日（土）～10月29日（日）

■アルゼンチン・ブエノスアイレス

展示・ワークショップ期間：9月16日（土）～10月29日（日）

会場：国立トレス・デ・フェブレロ大学附属美術館

参加アーティスト：岩田とも子、永岡大輔、アレハンドラ・ミスライ、イウミ・カタオカ、セバスチャン・カマーチョ・ラミレス

■ペルー・リマ

展示・ワークショップ期間：9月25日（月）～10月29日（日）

会場：ペルー国立高等芸術学校文化センター

アーティスト：五十嵐靖晃、ヘンリー・オルティス・タピア

【参加者の声】

●TURNミーティング

- ・障害がある人への法整備は、先進国の中で日本は遅れていたり、まだ壁は大きいと感じているので、このようなプロジェクトを通じて壁を低くしていけたらと思った。(第1回TURNミーティング)
- ・現場をいかにつくっていくか、そのプロセスをいかに共有できるようにする。施設の方々だけでなく地域の人、一般の方々とのつながりをどうつくっていくか。難しいけれど、価値を創りつつある「今」が大事だと思えた。(第2回TURNミーティング)
- ・TURNという場のようなしかけが、どんどん日常に浸透していくといいなと思いました。(第3回TURNミーティング)
- ・福祉とアートの違う軸を持つもの同士、良い相性を感じられた。まだまだ出来ることがある。(第4回TURNミーティング)

●TURNフェス3

- ・障害者と健常者の作品が混ざっていると区別ができない。なるほどそれがTURNの目指すものかと納得。
- ・「新しい学びを考える」美術館、大学など、様々な事例から時にはふっと笑ってしまうような自由な発想で新しい学びの可能性が見えたと思います。
- ・『知覚のライン』は、通常感覚から切り離す装置として良かった。それぞれの展示を繋げる役割も果たしている。

【サポーターの声】

- ・上も下もなく、運営側も参加者側も交じり合い、進行する中で影響を受けあい、進めながら変わっていく。サポートする側であり、参加する側でもある曖昧な立場での関わりが、空気感をつくる一助になるのでは、と思いながら関わっていた。
- ・トークイベントとそれを聞きにきている人たち、シュレー大学で真剣な話をされている人たち、富塚さんのところから遊びに来られている方々など、一つの視界の中にいろいろな状況が混在しており、その中で自分のふるまいも、誰かに決められるわけではない、というのがとても良い経験でした。3日目に日がすすむにつれて、段々と居心地がよくなりました。
- ・一人のアイデアでそれぞれができていっているのではなく、みんながそこに多層的にのっかっていっている。それぞれのブース（展示室同士）が周囲ににじんでいる。

【発行物】

TURN NOTE 2017、TURNフェス2ドキュメントブック、TURNフェス3ドキュメントブック

06 東京芸術文化創造発信助成、東京地域芸術文化助成、 芸術文化による社会支援助成

【事業概要】

東京の芸術文化の魅力を上向きに世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施する。若手、中堅の芸術団体への支援や、最長3年にわたる長期助成等、今後の成長が期待される団体を中心にサポートするとともに、地域振興や社会の課題に対応する特徴ある助成を行っている。

【事業趣旨（目的）】

東京芸術文化創造発信助成（単年助成プログラム、長期助成プログラム）

「東京芸術文化創造発信助成」は、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

【単年助成プログラム】では、この1年間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動をサポートする。

【長期助成プログラム】では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的に最長3年間の支援を行う。また、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成する。

東京地域芸術文化助成

東京都内の無形民俗文化財を活用した地域の文化の振興に資する公演活動等や特定の地域における文化資源を活用した事業を実施する東京を拠点とするNPOや実行委員会、芸術団体、保存会、継承団体等に対して活動経費の一部を助成する。

芸術文化による社会支援助成

新しい価値を提示する芸術活動への支援を通して、あらゆる人が創造性を発揮し、多様性を享受できる社会基盤の構築を目指す。その取り組みの一つとして、「芸術文化による社会支援助成」では、障害者や高齢者、子供、青少年、在住外国人等が主体的に関わる芸術活動や、社会や都市の様々な課題を見据え、その改善に資することを目的とした先駆的な芸術活動を支援する。

平成29年度実績

東京芸術文化創造発信助成

申請件数：単年助成プログラム287件、長期助成プログラム25件

採択件数：単年助成プログラム107件、長期助成プログラム3件

交付決定総額：133,580,000円

単年助成第1期（助成事業対象期間：平成29（2017）年4月1日～平成30（2018）年3月31日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	公益財団法人 新日鉄住金文化財団	ベルゴレージ 歌劇「オリンピアアデ」
	団体	一般財団法人 子規庵保存会	子規生誕150年記念 オペラ「病牀六尺に生きる」
	団体	田尾下哲シアターカンパニー	オペラ「セヴィリアの理髪師の結婚」
	団体	株式会社ブランクトン	ジャズ・ワールドビート2017
	団体	一般社団法人 アンサンブル・ノマド	アンサンブル・ノマド結成20周年記念定期演奏会 饗宴Vol.1～4
	団体	栗コーダーカルテット	栗コーダー&フレンズ アジア6カ国 ミュージック&アート共同制作プロジェクト
	団体	labo opera 絨毯座	絨毯座ヴァイル・プロジェクト3『マハゴニー市の興亡』
演劇	団体	□字ツク	第十二回本公演「滅びの国」
	団体	一般社団法人 一糸座	ゴーレム
	団体	Q	Q『毛美子不毛話』韓国公演
	団体	亜細亜の骨	亜細亜の骨 演劇でアジアを繋ぐ！企画
	団体	リクウズルーム	リクウズルーム×努カクラブ 合同公演「飾」『Are you wearing clothes?』
	団体	ロロ	ロロvol.13『BGM』
	団体	かもめマシーン	俺が代 ルーマニアツアー
	団体	合同会社アルシュ	Mプロジェクト「Mother」ヨーロッパツアー
	団体	一般社団法人 チェルフィッチュ	チェルフィッチュ『部屋に流れる時間の旅』東京公演
	団体	贅沢貧乏	贅沢貧乏『みんなよるがこわい』中国ツアー

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
演劇	団体	合同会社 マームとジブシー	マームとジブシー 5月公演「sheep sleep sharp」
	団体	新聞家	新聞家「白む」
	団体	篠田千明	ZOO
	団体	ヌトミック	ヌトミック新作公演『SUPER HUMAN』
	団体	ニカサン	ニカサン演劇公演『偶数と奇数』
舞踊	団体	特定非営利活動法人アルファルファ	[HYBRID*K]
	団体	東雲舞踏	『ざさらもさら』ワールドツアー
	団体	ケダゴロ	第5回ボディアディカル国際舞台芸術ビエンナーレ
	団体	CHAiroiPLIN	「ロミオとジュリエット～踊る戯曲IV～」
	団体	「ダンスがみたい!」実行委員会	ダンスがみたい! 19 白鳥の湖
	団体	団体せきかおり	関かおりPUNCTUMUN新作公演「うとより」
	団体	+81	+81 新作公演「Que・Sera」～ケ・セラ～
	団体	Baobab	Baobab ディレクション公演『DANCE×Scrum!!!2』
	団体	Co.Ruri Mito	Co.Ruri Mito2017年ヨーロッパツアー
美術・映像	団体	一般社団法人アオキカク	新人Hソケリッサ!東京近郊路上ダンス「日々荒野」ツアー
	個人	小山 泰介	POST BODY / NATURE
	個人	笹岡啓子	笹岡啓子個展「PARK CITY」
	団体	「《帝国は今日も歌う》展」実行委員会	小泉明郎展「帝国は今日も歌う」
	個人	荒木 悠	ジョン・ミロ財団主催「The Way Things Do」展への新作制作及びHangarでの滞在制作
	個人	石塚 元太良	石塚元太良写真展「GLACIER DIALY」
	個人	藤井光	FAST FORWARD FESTIVAL (アテネ) への参加
	団体	Don't Follow the Wind 実行委員会	Don't Follow the Wind: Non-Visitor Center Athens
	団体	アサクサ実行委員会	アントン・ヴィドクル来日制作
伝統芸能	個人	杵屋 勝四郎	第7回 杵屋勝四郎リサイタル
	団体	雅楽ヨーロッパ公演実行委員会	雅楽ヨーロッパ公演
	団体	現代邦楽作曲家連盟	第31回 現代邦楽作曲家連盟作品演奏会
	団体	公益社団法人 能楽協会	第14回 ヌネスコ記念能
	団体	国際能プロジェクト実行委員会	一噌幸政十三回忌追善会 ～受け継がれる伝統、創造する伝統～
	団体	ななふく本舗	語り芸パースペクティブ
	団体	創邦21	創邦21 第15回作品演奏会
	団体	一般社団法人 邦楽囃子研究所蔵松会	第3回 蔵松会コンサート ～心に響く鼓の世界～
	団体	特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 〈むすびの会〉	伝統芸能コトハジメ2018
複合・その他	団体	特定非営利活動法人ウォールアートプロジェクト	EARTH ART PROJECT in Ladakh 2017
	団体	ヴォロシティ株式会社	Art Hack Day
	団体	《障害の家》プロジェクト	《障害の家》プロジェクト
	団体	音楽詩劇研究所	音楽詩劇 バイカル・黒海プロジェクト
	団体	吾妻橋ダンスクロッシング実行委員会	SCOOLパフォーマンス・シリーズ2017

単年助成第2期（助成事業対象期間：平成29（2017）年10月1日～平成30（2018）年9月30日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	Marginal Consort	Marginal Consort
	団体	ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン 2018年音楽祭
	団体	一般社団法人 もんでん	第4回両国アートフェスティバル2018
	団体	オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2017
	団体	Point de Vue	Point de Vue vol.12
	団体	近藤譲 70歳記念演奏会実行委員会	近藤譲 七十歳の径路 「線の音楽」の現在・過去・未来
	団体	サンガツ	サンガツ 中国ツアー 公演&ワークショップ
演劇	団体	有限会社 quinaada	ハイバイ「ヒッキー・ソトニデミターノ」
	団体	円盤に乗る派	円盤に乗る派「正気を保つために」
	団体	一般社団法人 shelf	shelf「Hedda Gabler」南京・上海ツアー公演
	団体	範宙遊泳	範宙遊泳×The Necessary Stage 滞制作・公演（シンガポール/東京）
	団体	公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座	雀去冬来
	団体	鮎屋法水	鮎屋法水『教室』ヨーロッパ2都市ツアー公演
	団体	佐藤佐吉演劇祭実行委員会	佐藤佐吉演劇祭2018
	団体	ミクニヤナイハラプロジェクト	ミクニヤナイハラプロジェクト最新作「曖昧な犬」吉祥寺シアター公演
	団体	ブス会	男女逆転版・痴人の愛
舞踊	団体	ホエイ	ホエイ『スマートコミュニティアンドメンタルヘルスケア』
	団体	合同会社 S20	Somatic Field Project 2018年度 本公演（仮）
	団体	プレーニャ	大沼由紀舞踊公演 Seno Flamenco

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
舞踊	団体	OrganWorks	OrganWorks公演「聖獣 live with a Sun」
	団体	山麓	lal banshees新作ダンス公演
	団体	Baobab	Baobab The 2018 San Francisco International Arts Festival (SFIAF) ツアー
	団体	団体せきかおり	関かおりPUNCTUMUN 新作 北米ツアー
	団体	クリエイティブ・アート実行委員会	Integrated Dance Company響-Kyo 第5回公演 二作品上演 (タイトル未定)
	団体	ブッシュマン	新作ダンス公演 (仮)
美術・映像	個人	川島 崇志	Ambience / Imagination
	個人	東出菜代	呼気 KOKI
	団体	アラカワ・アフリカ実行委員会	アラカワ・アフリカ8: オープンスタジオ
	団体	アートトレイスギャラリー	ポーランド・日本交換展示 Double Line - in Poland
	団体	特定非営利活動法人アートフル・アクション	Behind the Terrain
	団体	アート・ユーザー・カンファレンス	「未来芸術家列伝」建物/ツアー/WEB・出版/カンファレンス、による展覧会
伝統芸能	個人	現王園 セヴィン	中東の日常を写す写真展「衣食住」
	団体	東京神楽坂組合	第三十五回 神楽坂をどり
	個人	福原 徹	徹の笛 第九回福原徹演奏会
	個人	山本 亜美	第三回 山本亜美 二十五絃箏ソロリサイタル
	団体	邦楽実演家団体連絡会議	若手邦楽聴き比べ
	個人	萩岡 松韻	萩岡松韻の世界 2017 in 東京
	個人	武田 佳泉	津軽三味線 輝&輝 10周年コンサート 彩生 東京公演
	団体	特定非営利活動法人 チームいただきます	一粒萬倍 A SEED
	個人	清元 志寿子太夫	第3回 清元志寿子太夫 清元一太夫 清元演奏會
	個人	吉村 七重	邦楽展 Vol.30 Koto Collection Today
	団体	み絲之會	み絲之會第三回公演
	団体	NHK 邦楽技能者育成会同窓会	現代邦楽「響」演奏会・講習会
	個人	桐崎 鶴女	桐崎鶴女 リトアニア共和国での地唄舞公演・特別講義
	団体	「今藤政太郎作品演奏会」実行委員会	第3回今藤政太郎作品演奏会
複合・その他	団体	シアターコモンズ実行委員会	シアターコモンズ
	団体	公益社団法人 国際演劇協会日本センター	高校生や学生のための観劇・劇評応援プロジェクト
	団体	一般社団法人 Today's Art JAPAN	BioCamp:Gardens as 'Biotechnik'
	団体	RealJapan実行委員会	RealJapan Project
	団体	株式会社ニューディアー	GEORAMA2017-18
	団体	Body Arts Laboratory	Whenever Wherever Festival 2018 (通称 ウェン・ウェア・フェスティバル 2018)
	団体	特定非営利活動法人 DRIFTERS INTERNATIONAL	Jejak-旅 Tabi Exchange: Wandering Asian Contemporary Performance
	団体	メントC	「女人往生環—女性を廻る救済と芸能の曼陀羅—」

長期助成（助成事業対象期間：平成29（2017）年4月1日～平成31（2019）年3月31日〔2年間〕または平成29（2017）年4月1日～平成32（2020）年3月31日〔3年間〕）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請プロジェクト名
舞踊	団体	特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想	舞踏アーカイヴプロジェクト
	団体	一般社団法人ダンス・ニッポン・アソシエイツ	Dance New Air
美術・映像	団体	KENJI KUBOTA ART OFFICE	10年後のための芸術表現（仮題）

平成29年度実績

東京地域芸術文化助成

申請件数：29件、採択件数：16件

交付決定総額：7,560,000円

（助成事業対象期間：平成29（2017）年4月1日～平成30（2018）年3月31日）

	活動内容	団体/個人	申請者名	申請活動名
一次公募	地域文化資源活用事業	団体	第15回両国にぎわい祭り実行委員会	第15回両国にぎわい祭り
	無形民俗文化財活用事業	団体	調布市郷土芸能祭ばやし保存会	第60回記念調布市郷土芸能祭ばやし保存大会
	地域文化資源活用事業	団体	三遊亭美るくの小笠原落語会	第五回 三遊亭美るくの小笠原落語会
	地域文化資源活用事業	団体	一般社団法人 一糸座	糸あやつり人形一糸座「小平ふるさと村古典公演」
	地域文化資源活用事業	団体	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2017
	無形民俗文化財活用事業	団体	大宮前郷土芸能保存会	大宮前郷土芸能保存会カトマンズ公演
	地域文化資源活用事業	団体	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会	第61回東京高円寺阿波おどり

芸術文化支援事業

	活動内容	団体/個人	申請者名	申請活動名
二次公募	地域文化資源活用事業	団体	高円寺演芸まつり実行委員会	第8回高円寺演芸まつり
	地域文化資源活用事業	団体	代々木果逦会	代々木果逦会別会「一之輔落語×竹灯籠能『鉄輪』」
	無形民俗文化財活用事業	団体	江東区民まつり中央実行委員会	江東区民まつり中央まつり民俗芸能大会
	地域文化資源活用事業	団体	「染の小道」実行委員会	染の小道 2018
	地域文化資源活用事業	団体	学校法人 明治学院	明治学院チャペルコンサートシリーズ2017 ギ・ボヴェ オルガンリサイタル
	地域文化資源活用事業	団体	飛鳥山新能実行委員会	第十五回飛鳥山新能
	地域文化資源活用事業	団体	創エネ・あかりパーク2017実行委員会	創エネ・あかりパーク2017 ステージプログラム
	地域文化資源活用事業	団体	でんちゅうず	DenchuLab.2017
公募	地域文化資源活用事業	団体	文京建築会ユース	東京「ご近所の銭湯 再発見」ツアー/展示

平成29年度実績

芸術文化による社会支援助成

申請件数：47件

採択件数：15件

交付決定総額：10,900,000円

※採択後の交付決定の取消し1件を含みます。

社会支援助成第1期（助成事業対象期間：平成29（2017）年4月1日～平成30（2018）年3月31日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	おこわ	こどもと音楽の未来をつくる
演劇	団体	スロームーブメント実行委員会	障害者パフォーマンス育成のためのエアリアルトレーニング基盤整備事業
舞踊	団体	クリエイティブ・アート実行委員会	響と踊ろうー障害のあるダンサーの発掘と育成を考える
美術	団体	視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ	視覚障害者をつくる授業プログラムの開発と公開
	団体	knock-knock	ミュージアムに行こう
	団体	アールブリュット立川実行委員会	アール・ブリュット立川2017～こころが描くアート展～
伝統芸能	団体	公益財団法人 十四世六平太記念財団	第2回「手話」で楽しむ能狂言鑑賞会
複合・その他	団体	一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ	聴覚障害者アテンドによる体験型エキシビジョン「ダイアログ・イン・サイレンス」

社会支援助成第2期（助成事業対象期間：平成29（2017）年10月1日～平成30（2018）年9月30日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	耳で聴かない音楽会
演劇	団体	NPO法人シニア演劇ネットワーク	シニア劇団かんじゅく座第12回公演「みのりの畑」
舞踊	団体	特定非営利活動法人 みんなのダンスフィールド	新しいインクルーシブ・ダンス ーひらかれたアート交流による「共創」を目指してー
複合・その他	団体	よむよむ・わくわく広場 実行委員会	よむよむ・わくわく広場 in 府中
	団体	表現クラブがやがや	がやがやライブはじまるよ！
	団体	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	Baby Space

※申請団体名および申請活動名は、実際の名称と異なる場合があります。

07

伝統芸能公演

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年9月18日（月・祝）、12月3日（日）、平成30（2018）年1月2日（火）・3日（水）、2月12日（月・祝）
会場	国立劇場 大劇場、狛江エコルマホール、東京国際フォーラム、日経ホール
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
入場者数	延べ3,888人

【事業趣旨（目的）】

多様なジャンルの伝統芸能を取り上げ、その魅力を様々な角度や切り口からわかりやすく紹介し、伝統文化・芸能に馴染みのない若者や外国人などにその魅力を伝えること等により、伝統芸能の普及や活性化を図るとともに、その魅力を国内外に発信することを目的として実施。

【開催状況】

開催日	公演名	会場	曲目等	出演者等	入場料（円）	入場者（人）
9/18	大江戸寄席と花街のおどり その七	国立劇場 大劇場	【第一部】 大江戸寄席 マジック 漫才 落語「猫の災難」 【第二部】 花街のおどり 替歌「大江戸六花街」 「うそとまこと」 「かつぼれ」 「赤坂芸妓囃子」 「向島音頭」 「浅草名物」 「俄獅子」ほか	葛西聖司 【第一部】 北見伸&ステイファニー、ナイツ、柳家花緑 【第二部】 新橋芸者連中、赤坂芸者連中、浅草芸者連中、神楽坂芸者連中、芳町芸者連中、向島芸者連中、桜川八好	S席：5,000 A席：4,000 学生：2,000 3階席（当日券のみ） 一般：1,000 学生：500	1,308
12/3	第18回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	狛江エコルマホール	山梨県丹波山村 獅子舞、奥多摩町 獅子舞、山梨県小菅村 神楽、多摩市 和太鼓、日野市 囃子、府中市 和太鼓、調布市 囃子、稲城市 和太鼓、狛江市 おはやし	丹波山村文化財保存会、棚沢獅子舞愛好会、橋立神楽保存会、多摩太鼓愛好会、日野市祭ばやし連合会、武蔵国府太鼓響会、調布市郷土芸能祭ばやし保存会、いなぎ太鼓、小足立はやし保存会	無料	804
1/2、3	「FORM II」(J-CULTURE FEST連携事業※)	東京国際フォーラム ホールB7	・イントロダクション（映像上映） ・三番叟FORM II（本編） ・アフタートーク	野村萬斎 ほか （映像演出：真鍋大度）	5,000	1,278
2/12	伝統芸能普及公演 「能楽の水鏡」—映像に映すイマジネーション—	日経ホール	【特別展示】 宝生流に伝わる装束・能面 【第一部】 トークショー 【第二部】 能楽公演「羽衣」	宝生和英、いとうせいこう、ジェイ・ルービン ほか	1等：3,000 2等：2,500 学生1等：2,500 学生2等：2,000	498

※「J-CULTURE FEST」主催：株式会社東京国際フォーラム、共催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

【参加者の声】

- 大江戸寄席と花街のおどり その七
 - ・普通の寄席や演芸会と違って良い。花街に触れ合えて良い。(50代・男性)
 - ・後半の「花街おどり」、今回も大満足です。イノホール時代から毎回拝見しています。年々規模も内容も良くなり、ご同慶の至りです。来年も来ます。(70歳以上・男性)
- 「三番叟FORM II」(J-CULTURE FEST連携事業)
 - ・以前より拝見したかった三番叟を、気軽な場所で見ることができて嬉しかった。背景の体の動きとリンクした映像は面白かったし、舞を初めて見る私にとって舞の意味を理解させることを助けてくれました。来年もまたぜひ見に来たいです。(20代・女性)
 - ・初めて見ましたが、説明映像などもあり、とても分かりやすく楽しかったです。見続けているうちに映像と共に萬斎さんもアップで見えてくるようで、とても迫力がありました。自分もトランスに入っていたのかなとワクワクドキドキしました。また見に来たいと思います。(40代・女性)

● 「能楽の水鏡」—映像に映すイマジネーション

- ・ 能は初めて見ましたが、映像も違和感なく、演目に馴染んでいて見やすかったと思います。トークショーも、見るにあたって示唆に富んだ話が聞けたので良かったです。(40代・女性)
- ・ 視点、コンセプトが素晴らしい。通訳の方もとても良かった。字幕なしがとても良く、言葉の選択もとても良かったです。映像の品性も高く、素晴らしい舞台でした。(60代・女性)

08

江戸あそび ～日本橋伝統文化フェスティバル～

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年11月3日（金・祝）～5日（日）
会場	日本橋エリア（福徳の森周辺）
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、日本橋文化交流フェスティバル実行委員会〔日本橋北詰商店会、名橋「日本橋」保存会、宝町一丁目会、室町二丁目町会、一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント、三井不動産株式会社〕
後援	中央区、中央区観光協会
参加者数	延べ約19,320人

【事業趣旨（目的）】

江戸の文化の発信地であり五街道の起点として栄えた日本橋で、東京ならではの独自性や多様性を追求しながら、多くの人々が気軽に伝統文化を体験できる場を提供するとともに、伝統文化の魅力を国内外に発信することを目的に、フェスティバルを開催。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	演目・出演者・内容など	料金（円）	参加者（人）
11/3	福徳の森特設ステージ	熙代ステージ	書道パフォーマンス（武田双雲） 空手演武（manabiya HYOTAN） 和太鼓演奏（擬宝珠）	無料	1,779
11/4			リズムなぎなた（東京都立富士高等学校） 箏曲（武蔵野女子学院中学校・高等学校） 和楽器ライブ（月詠-TSUKUYOMI-）		
11/5			和太鼓演奏（東京都立松が谷高等学校） 落語「百川」（三遊亭遊馬） 能をモチーフとした舞踊（森山開次、佐藤健作、木ノ脇道元）		
11/3	仲通り	まち文化ストーリー（伝統文化体験）	和紙折り紙（小津和紙） 水引き結び（山本愛）	無料	331
11/4			和紙折り紙（小津和紙） わら細工（東明美、山本あまよかしむ）		
11/5			華道（中央区華道茶道連盟） わら細工（東明美、山本あまよかしむ）		
11/3	仲通り （夜の部：あじさい通り）	まちなか伝統パフォーマンス	(2回) 江戸糸あやつり人形（上條充） (2回) 尺八・箏（葵音） （夜の部、2回）通り練り歩き（吹気入音）	無料	17,210
11/4			(2回) けん玉パフォーマンス（伊藤佑介） (2回) 箏（koto2Project）		
11/5			(2回) 和妻（藤山大樹） (2回) 箏・尺八（はんなりずむ）		

【参加者の声】

- ・日本橋でこのような日本のイベントに実際に参加できるのは楽しかったです。（30代・女性）
- ・無料で素敵な演奏が聴けて良かったです！（40代・男性）
- ・生で落語を聞いたのは初めてでした。とても楽しかったです。ありがとうございました。（50代・女性）
- ・大変素晴らしかった。今度歌舞伎を見に行きたいと思います。（50代・女性）
- ・とても親切な対応で嬉しかった。日本橋で伝統文化に触れることができて有意義なひとときでした。（60代・女性）

09

伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2017～

【事業概要】

開催日	平成29(2017)年9月9日(土)・10日(日)
主催	アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
助成協力	東京都
後援	町田市、あきる野市、あきる野市教育委員会、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益財団法人八王子観光コンベンション協会、八王子織物工業組合、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード
事業協力	多摩美術大学テキスタイルデザイン研究室
会場	JR八王子駅周辺 (西放射線ユーロード 三崎町公園、中町公園、横山町公園)
出演	八王子車人形 西川古柳座、説経節の会、TAKUYA、八王子芸妓衆、大戸ばやし保存会、菅生歌舞伎菅生一座、八王子祭囃子連合会、楽風、重宗玉緒、澤井伸、木藤青山、酒井高子、人力車岡崎屋惣次郎、人力屋坂福、八王子茶道連盟、武蔵野女子学院中学校・高等学校箏曲部、多摩大学村山貞幸ゼミ日本大好きプロジェクト
料金	無料(一部参加費あり)
参加者数	9月9日(土) 19,424人、9月10日(日) 15,757人 合計35,181人

【事業趣旨(目的)】

八王子市をはじめとする多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や野外ステージを舞台にした本格的な公演など、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルの開催を通じて、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供するとともに、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成することにより、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承することを目的に実施。

【開催状況】

八王子や多摩地域に伝わる伝統文化・芸能の魅力を気軽に鑑賞・体験できる機会として実施し普段伝統芸能に馴染みのない方々や若い世代の伝統文化に対する興味・関心を高め、市民文化の向上への一助とすることができた。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていく「東京2020公認文化オリンピアド」として、多摩地域の伝統を八王子から発信した。

開催日時	会場	プログラム名	アーティスト	内容	来場者(人)
9月9日(土) ①10:00~10:30 ②11:00~11:30	三崎町公園ステージ	津軽三味線 ~楽風(がくふ) 生命の響き~	津軽三味線 楽風(澤田邦楽、澤田邦風)	日本の伝統的な楽器である三味線を用いて、古曲からオリジナル曲まで幅広い演奏を繰り広げる。伝統的でありながら、新しくスタイリッシュな邦楽演奏をお客様にお届けした。	①128 ②173
9月9日(土) ①12:30~13:00 ②15:00~15:30	横山町公園ステージ	菅生歌舞伎 ~菅生一座~	菅生歌舞伎 菅生一座	菅生歌舞伎復興の糸口となった子供歌舞伎による演目や、おめでたい三番叟を披露した。「喜三番叟(よるこびさんばそう)」、「黄門様ご一行」、子供歌舞伎「白浪五人男」~稲瀬川勢揃いの場~	①412 ②503
9月9日(土) ①13:30~13:45 ②15:30~15:45	網代園南側蔵の前	ファッションショー「温故知新」★八王子Style★	生地制作 澤井伸 デザイナー 重宗玉緒	春夏秋冬をテーマに10人のモデルがオリジナル曲に合わせてランウェイ上でショーを行った。	①250 ②250
9月9日(土) ①12:00~八王子芸妓衆 ②14:00~菅生歌舞伎 9月10日(日) ③12:00~八王子芸妓衆 ④14:00~八王子車人形・説経節の会	西放射線ユーロード	華やかな衣裳でお目見え~人力車「お練り」巡回~	人力車岡崎屋惣次郎 人力屋坂福 八王子芸妓衆 菅生歌舞伎菅生一座 八王子車人形西川古柳座 説経節の会	八王子芸妓衆は両日、9日は菅生歌舞伎菅生一座、10日は八王子車人形西川古柳座と説経節の会が、人力車に乗ってユーロードを練り歩いた。	①212 ②278 ③165 ④224
9月9日(土) ①13:00~13:30 ②14:30~15:00 9月10日(日) ③13:00~13:30 ④14:30~15:00	中町公園ステージ	八王子芸妓衆の華と粋~艶やかにおもてなし~	八王子芸妓衆(出演者)めぐみ、まどか、若葉、あやめ、小太郎、菜乃佳、葉月、理子、ひさ丸、成華、くるみ、友う、ふみ	演目/獅子頭、菊と桔梗、おてもやん、ストロン節、オリヤセ節、三下りざわぎ	①230 ②250 ③230 ④250

開催日時	会場	プログラム名	アーティスト	内容	来場者(人)
9月10日(日) ①10:30~11:00 ②11:30~12:00	中町公園ステージ	大戸ばやし保存会 ~地域で伝承されていく大戸の響き~	大戸ばやし保存会	演目/屋台、印幡、昇殿、神田丸、鎌倉、四丁目、子守唄、車切	①150 ②180
9月10日(日) ①11:00~11:30 ②12:30~13:00	三崎町公園ステージ	八王子祭囃子連合会 ~粋で鯉背な夏の音~	八王子祭囃子連合会	お囃子の演奏(4団体)	①200 ②112
9月10日(日) ①12:30~13:30 ②15:00~16:00	横山町公園ステージ	八王子車人形 ~流るる時の川~	八王子車人形、説経節の会、TAKUYA	一部TAKUYA&DANCERS「予感」 二部 車人形「三番叟」meets TAKUYA's street ~人形とひとが紡ぐ「時のダンス」~ 三部 「日高川入相花王」~雨田堤より渡し場の段~	①603 ②483
9月10日(日) ①13:30~14:00 ②14:30~15:00	三崎町公園ステージ	箏と尺八~日本の心、魂の歌~	木藤 青山(尺八) 酒井 高子(箏)	アンサンブルによる、日本古曲からポピュラー曲の演奏。箏 二つの変奏曲(さくらさくら・荒城の月) 尺八 アメーzingグレース 尺八・箏合奏 風の歌	①97 ②64
9月10日(日) 15:30~16:00	中町公園ステージ	聴いてみよう! MJのお箏を ~武蔵野女子学院中学校・高等学校 箏曲演奏~	武蔵野女子学院中学校・高等学校 箏曲部	千本桜 渡辺泰子 編曲 ことうた ~わらべ唄~ 水野利彦作曲 こと絵巻~荒城の月~ 水野利明 作曲 虹色の風 大嶽和久 作曲	60

開催日時	会場	プログラム名	アーティスト	内容	来場者(人)
9月9日(土) ①10:00~17:00 10日(日) ②10:00~17:00	三崎町~中町	江戸小紋 型紙展示 ~究極の職人業~		【江戸小紋】 型紙展示	①820 ②820
9月9日(土) ①10:00~②10:30~ ③16:00~④16:30 10日(日) ⑤10:00~⑥10:30~ ⑦16:00~⑧16:30	西放射線ユーロード、黒塚通り ほか	人力車~昭和の面影を探す街めぐり~	人力屋 坂福、人力車岡崎屋惣次郎	岡崎屋惣次郎の協力のもと6台の人力車が集まり、黒塚通りなど八王子の文化の説明を織り交ぜつつ運行した。	①10②8 ③11④7 ⑤8⑥12 ⑦8⑧11
9月9日(土) ①11:30~②12:30~ ③13:30~④14:30~ ⑤15:30~⑥16:30~ 10日(日) ⑦11:30~⑧12:30~ ⑨13:30~⑩14:30~ ⑪15:30~⑫16:30~	三崎町公園 ~中町公園	茶会~街なかで日本流おもてなし~	八王子茶道連盟 裏千家、江戸千家、表千家、表千家不白流、茶道宗偏流、大日本茶道学会の6流派から成る。	「立礼式」と呼ばれる椅子に座ったお茶席でお菓子とお抹茶によるおもてなし。	関係者10 ①14②14 ③15④13 ⑤15⑥13 ⑦15⑧13 ⑨15⑩13 ⑪12⑫14
9月10日(日) 11:00~16:30	横山町公園	紙漉き体験 ~多摩大学村山貞幸ゼミ 日本大好きプロジェクト~	多摩大学 村山貞幸ゼミ 日本大好きプロジェクトの学生	紙漉き体験	47
9月9日(土) ①10:30~②11:00~ ③11:30~④14:30~ ⑤15:00~ 9月10日(日) ⑥10:30~⑦11:00~ ⑧11:30~⑨14:30~ ⑩15:00~⑪15:30~ ⑫16:00~	網代園南側蔵の前	織物体験~昔と今が織りなす世界~	「伝統工芸士」の澤井伸	・コースター製作 ・織物体験	①11②10 ③10④12 ⑤12⑥9 ⑦9⑧9 ⑨9⑩9 ⑪9⑫7

【参加者の声】

- ・とても楽しかったです。日本の文化に触れる良い機会でした。(20代・女性)
- ・昨年より華やかで内容が充実していると感じた。(20代・女性)
- ・若い出演者が育っているようで、とても元気が出た。(50代・女性)
- ・伝統を気軽に目にする機会が増えるのは嬉しい。(20代・男性)
- ・普段乗れない人力車に乗れて良かった。伝統的な雰囲気を味わえた。(30代・男性)
- ・昔ながらのイベントは、なかなか知らなかったり体験できなかったりするので参加して良かった。(20代・男性)
- ・芸妓さんが麗しくてとにかく素敵で癒された。人力車でのお練りというものを初めて見たので興奮した。(20代・女性)

10

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2017

【事業概要】

開催日	平成29(2017)年11月11日(土)・12日(日)
会場	神楽坂界限
主催	アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人 粋なまちづくり倶楽部
助成・協力	東京都
後援	新宿区、一般社団法人 新宿観光振興協会
協力	東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺、若宮町自治会、法政大学、東京理科大学経営学部 大西研究室、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 神楽坂支店、日本出版クラブ、スターバックス コーヒー 神楽坂下店、ちかけん
来場者数	延べ40,030人

【事業趣旨(目的)】

伝統と現代が融合する神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用し、伝統芸能に馴染みのない人々、若年層、外国人(観光客、在住者)にも気軽に参加してもらえる伝統芸能の屋外型フェスティバルの開催を通じて、日本の伝統芸能や文化に親しむ機会を提供することを目的として実施。

【開催状況】

<前夜祭> 11月11日(土)

開催日	会場	プログラム名	出演者等	料金(円)	参加者(人)
11/11	縁香園、離島キッチン、THE GLEE、神楽坂モノガタリ	店めぐり・古典芸能ライブ	尻流複写二(シリル・コピーニ)×松山うめ吉(落語・俗曲)、神田鯉栄(講談)、春日とよ徳花(小唄)、若獅子会(邦楽囃子)、岡村慎太郎(地唄・箏曲)	無料	295
	神楽坂界限(所望:出版クラブ、ベルパツソ、鳥茶屋、琴乃富士、メゾン・ド・ラ・ブルゴーニュ)	神楽坂路上界限	新内流し:鶴賀若狭一門(鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢幸、鶴賀伊勢四郎 ほか) 城端曳山祭(庵唄):宝槌会(ほうてつかい)	無料	1,500

<本祭> 11月12日(日)

開催日	会場	プログラム名	出演者等	料金(円)	参加者(人)
11/12	毘沙門天善國寺境内 特設ステージ	神楽坂楽座~講釈場	玉川奈々福×沢村美舟(浪曲)、長須与佳(薩摩琵琶)、田辺銀治×こと(講談・笛)、竹本京之助×鶴澤賀寿(義太夫節)	無料	4,800
	神楽坂界限	神楽坂芸能めぐり 街角ライブ	ブルース・ヒューバナー×マクイーン時田 深山(尺八・箏)、花舞鳥歌風遊月響雅楽団(雅楽)、セ三味ストリート(津軽三味線パフォーマー)、丸一仙翁社中(江戸太神楽)、大多和正樹(和太鼓)×岩田卓也(尺八)×小林真由子(箏)、こと(笛)×輝&輝(津軽三味線)、望月晴美連中(邦楽囃子)、藤山大樹(手妻)、木場大輔×岡戸朋子×奥田かな(胡弓)	無料	19,700
	神楽坂界限	神楽坂路上界限	新内流し:鶴賀若狭一門(鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢幸、鶴賀伊勢四郎 ほか) 城端曳山祭(庵唄):宝槌会(ほうてつかい)	無料	780
	東京神楽坂組合 見番	覗いてみようお座敷遊び	神楽坂芸者衆 立方:千佳、英子、福子 地方:眞由美(唄)、夏栄・櫻子(三味線)、由み糸(鳴物)	2,500	76
	赤城神社 神楽殿	赤城神社 夕暮れライブ	鳥羽屋里夕連中(長唄三味線)×望月晴美連中(邦楽囃子)、丸一仙翁社中(江戸太神楽)、ブルース・ヒューバナー(尺八)、司会:シリル・コピーニ	無料	810
	神楽坂エリア内7か所、歴史スポット8か所	神楽坂タイムスリップ スタンプラリー/歴史ガイド	渋谷画劇団(紙芝居)、上條充(江戸糸あやつり人形)	無料	12,069

【参加者の声】

- ・スタッフの皆さんもとても親切で、良い体験ができました。来年も楽しみにしています。
- ・神楽坂は何度か来ていますが、スタンプラリーがあることで今まで立ち寄りなかった場所に行くきっかけになりました。
- ・色々な場所で日本の文化に触れられて良かった。昼間の神楽坂も好きになりました。

11

東京大茶会2017

【事業概要】

開催日	平成29（2017）年10月7日（土）・8日（日）、10月21日（土）・22日（日）
会場	江戸東京たてもの園、浜離宮恩賜庭園
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
共催	公益財団法人東京都公園協会（浜離宮恩賜庭園開催のみ）
後援	中央区（浜離宮恩賜庭園開催のみ） 小金井市、小金井市商工会（江戸東京たてもの園開催のみ）
特別協力	東京都華道茶道連盟、東京都高等学校文化連盟茶道部門（浜離宮恩賜庭園開催のみ） 東京都茶道会、江戸東京たてもの園（江戸東京たてもの園開催のみ）
来場者数	約12,000人

【事業趣旨（目的）】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語で解説をする野点、日本の伝統文化を楽しめるステージイベントやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を区部・多摩地域それぞれで開催することにより、伝統あるお茶の文化を広く都民に普及させるとともに、東京を訪れる観光客や外国人等にも江戸・東京が育んできた文化を紹介・発信することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	体験者（人）	参加料（円）	イベント	出店	来場者（人）	
10/7、8	江戸東京たてもの園	茶席	高橋是清邸	410	武道パフォーマンス、なわとびパフォーマンス、フोटスポット	小金井市商工会	
		茶席	西川家別邸	408			
		茶席	川野商店	284			
		野点		1,049			300
		茶道はじめて体験		400			300
		WELCOME！英語で楽しむ茶席		241			700
10/21、22	浜離宮恩賜庭園	茶席	中島の御茶屋	473	三味線演奏、紙切り、能楽ステージ、ゲストによるトークショー、町駕籠乗車体験	茶菓子、抹茶、伝統小物、お弁当販売等	
		茶席	芳梅亭	415			700
		野点		508			300
		WELCOME！英語で楽しむ野点		—※			300
		高校生野点		184			300
		茶道はじめて体験		344			300
		計	4,813		計	約12,000	

※荒天のため実施せず

【参加者の声】

●江戸東京たてもの園

- ・美しい建物の中でのお茶会でとても心が落ち着きました。秋らしいしつらえでお話もお点前も素敵でした。（30代・女性）
- ・本日はアメリカからのゲストを連れて来ました。とても良いイベントで、日本文化を紹介するのに助かりました。（40代・男性）
- ・心づくしのおもてなし、趣のあるお茶席でした。お菓子、お茶とも美味しくいただきました。（50代・女性）

●浜離宮恩賜庭園

- ・親切にお茶の点て方を教えて頂きました。ありがとうございました。（20代・男性）
- ・初心者ではなかなか気軽には体験できない、茶道の作法を見学できる良い機会となりました。（20代・女性）
- ・あいにくの雨でしたが、日本文化の良さを伝える素晴らしいイベントでした。解説もとても楽しかった。（50代・女性）

12 プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年6月4日（日）～平成30（2018）年3月14日（水）
 会場 都内13地域
 主催 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 入場者数 6,979人

【事業趣旨（目的）】

本格的なクラシック演奏に親しむ機会が少ない多摩・島しょ地域の各所において、クラシック音楽に気軽に触れられる環境を作るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を文化の祭典としても盛り上げる気運の醸成を目的に、“首都東京の音楽大使”である東京都交響楽団により実施。

【開催状況】

東京の音楽文化の発信に寄与することを目的として、多摩地域での11公演（オーケストラ7公演、アンサンブル4公演）、島しょ地域では大島、新島・式根島2町村でアンサンブル4公演を入場無料で実施。オーケストラ公演では、開演前にヴァイオリン、チェロの楽器体験企画や、指揮体験企画を実施した。

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者（人）
6/4	瑞穂町公演 瑞穂ビューパーク・スカイホール 小ホール 共催：瑞穂町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 & ソプラノ ヴァイオリン：海和伸子、田中雅子 ヴィオラ：南山華央倫 チェロ：清水詩織 ソプラノ：馬原裕子☆の曲に出演	モーツァルト：ディヴェルティメント第1番 二長調 K.136 より 第1楽章 チャイコフスキー：バレエ『くるみ割り人形』より「小序曲」、「行進曲」、「トレバック」、「花のワルツ」 ヘンデル：歌劇『リナルド』より「涙の流れるままに」☆ メンデルスゾーン：歌の翼に☆ 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 星野源：ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』主題歌「恋」 アラン・メンケン：ディズニー映画『美女と野獣』主題歌「美女と野獣」 桜井和寿：NHK連続テレビ小説『べっぴんさん』主題歌「ヒカリノアトリエ」 北原白秋（作詞）、山田耕筰（作曲）：からたちの花☆ （アンコール）ブッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」☆ 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと☆	170
6/17	奥多摩町公演 奥多摩文化会館 共催：奥多摩町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 & ソプラノ ヴァイオリン：海和伸子、田中雅子 ヴィオラ：南山華央倫 チェロ：清水詩織 ソプラノ：今野沙知恵☆の曲に出演	モーツァルト：ディヴェルティメント第1番 二長調 K.136 より 第1楽章 チャイコフスキー：バレエ『くるみ割り人形』より「小序曲」、「行進曲」、「トレバック」、「花のワルツ」 ヘンデル：歌劇『リナルド』より「涙の流れるままに」☆ J.シュトラウス2世：喜劇『こもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」☆ 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 星野源：ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』主題歌「恋」 アラン・メンケン：映画『美女と野獣』主題歌「美女と野獣」 桜井和寿：NHK連続テレビ小説『べっぴんさん』主題歌「ヒカリノアトリエ」 北原白秋（作詞）、山田耕筰（作曲）：からたちの花☆ （アンコール）メンデルスゾーン：歌の翼に☆ 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと☆	99
7/29	小平公演 ルネこだいら（小平市民文化会館）大ホール 共催：公益財団法人小平市文化振興財団 協力：仙台国際音楽コンクール事務局	指揮：山下一史 ソリスト：チャン・ユジン（ヴァイオリン） 司会：山田美也子	古関裕而：オリンピック・マーチ（1964） メンデルスゾーン：劇音楽『真夏の夜の夢』序曲 op.21 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64 リスト：ハンガリー狂詩曲 第2番 （アンコール）ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人）	1,159
8/26	福生公演 福生市民会館大ホール（もくせいホール） 共催：福生市民会館	指揮：キンボー・イシイ 司会：朝岡聡	古関裕而：オリンピック・マーチ（1964） プロコフィエフ：「ピーターと狼」【語り：朝岡聡】 シベリウス：「カレリア」組曲 （アンコール）J.シュトラウス2世：ポルカ「雷鳴と稲妻」 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人）	703
8/27	多摩公演 バルテノン多摩 大ホール 共催：公益財団法人多摩市文化振興財団	指揮：キンボー・イシイ 司会：朝岡聡	古関裕而：オリンピック・マーチ（1964） プロコフィエフ：「ピーターと狼」【語り：朝岡聡】 シベリウス：「カレリア」組曲 （アンコール）J.シュトラウス2世：ポルカ「雷鳴と稲妻」 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人）	1,038
9/24	日野公演 ひの煉瓦ホール（日野市民会館）大ホール	指揮：梅田俊明 ソリスト：バク・ヘユン（ヴァイオリン） 司会：江原陽子	古関裕而：オリンピック・マーチ（1964） サラサーテ：カルメン幻想曲 ビゼー：歌劇「カルメン」前奏曲（指揮体験） ビゼー：「アルルの女」第2組曲 （アンコール）ビゼー：小組曲「子供の遊び」op.22よりNo.5ギャロップ 【参加体験企画】 指揮体験（3人）	874

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
10/8	秋川公演 秋川キララホール	指揮：ロッセン・ゲル ゴフ 司会：江原陽子	古関裕而：オリンピックマーチ (1964) グリーンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 ドヴォルザーク：交響曲第9番 水短調「新世界より」 (アンコール) ドヴォルザーク：スラブ舞曲7-2 【参加体験企画】 楽器体験 (ヴァイオリン 45人、チェロ 15人)	639
10/8	新島公演 住民センター2階 集 会室 協力：新島村教育委員 会	東京都交響楽団メン バーによる弦楽四重奏 &ソプラノ ヴァイオリン：遠藤香 奈子、大和加奈 ヴィオラ：南山華央倫 チェロ：清水詩織 ソプラノ：今野沙知恵 ☆の曲に出演	モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークト長調より 第1楽章 ヘンデル：歌劇「リナルド」より「涙の流れるままに」☆ J.シュトラウス2世：喜歌劇「こつもり」より「侯爵様、あなたのようなお 方は」☆ ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長調より第1楽章、第2楽章 キッズソング：アンパンマンのマーチ、勇気100% アラン・メンケン：ディズニー映画『美女と野獣』主題歌「美女と野獣」 阿久悠(作詞)、浜圭介(作曲)：舟唄 北原白秋(作詞)、山田耕筰(作曲)：からたちの花☆ (アンコール) 服部正：ラジオ体操第一 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之(作詞)、岡野貞一(作曲)：ふるさと☆	120
10/9	式根島公演 式根島開発総合セン ター集會室 協力：新島村教育委員 会	東京都交響楽団メン バーによる弦楽四重奏 &ソプラノ ヴァイオリン：遠藤香 奈子、大和加奈 ヴィオラ：南山華央倫 チェロ：清水詩織 ソプラノ：今野沙知恵 ☆の曲に出演	モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークト長調より 第1楽章 ヘンデル：歌劇「リナルド」より「涙の流れるままに」☆ J.シュトラウス2世：喜歌劇「こつもり」より「侯爵様、あなたのようなお 方は」☆ ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長調 より 第1楽章、第2楽章 キッズソング：アンパンマンのマーチ、勇気100% アラン・メンケン：ディズニー映画『美女と野獣』主題歌「美女と野獣」 阿久悠(作詞)、浜圭介(作曲)：舟唄 北原白秋(作詞)、山田耕筰(作曲)：からたちの花☆ (アンコール) 服部正：ラジオ体操第一 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之(作詞)、岡野貞一(作曲)：ふるさと☆	80
11/18	東大和公演 東大和市民会館ハミン グホール 大ホール 共催：東大和市民会館 ハミングホール指定管 理者	指揮：梅田俊明 司会：朝岡聡	古関裕而：オリンピックマーチ (1964) ワーグナー：歌劇「タンホイザー」序曲 ワルトトイフェル：スケーターズ・ワルツ J.シュトラウス2世：皇帝円舞曲 スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」 (アンコール) ラデツキー行進曲 【参加体験企画】 楽器体験 (ヴァイオリン 45人、チェロ 15人)	588
11/25	檜原村公演 檜原村やすらぎの里 3階多目的ホール 共催：檜原村、檜原村 教育委員会	東京都交響楽団メン バーによる木管五重奏 フルート：宮崎由美香 オーボエ：南方総子 クラリネット：糸井裕 美子 ファゴット：岡本正之 ホルン：西條貴人 特別出演 オカリナ：檜原村長坂 本義次☆の曲に出演	イペール：3つの小品より ファルカシュ：17世紀の古いハンガリー舞曲集 松任谷由実：春よ、来い☆ 木村弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 久石譲：『となりのトトロ』より「となりのトトロ」 美空ひばりメドレー (内田祥子 編曲) ロジャース：サウンド・オブ・ミュージック メドレー 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之(作詞)、岡野貞一(作曲)：ふるさと	72
12/2	日の出町公演 日の出町やまびこホー ル 共催：日の出町、日の 出町教育委員会	東京都交響楽団メン バーによるアンサンブル ヴァイオリン：海和伸 子、山本翔平 ヴィオラ：南山華央倫 チェロ：松岡陽平 ソプラノ：今野沙知恵 ☆の曲に出演 特別出演 大久野中学校音楽部有 志◇	チャイコフスキー：バレエ『くるみ割り人形』より 「小序曲」「行進曲」「トレバック」「花のワルツ」 ヘンデル：歌劇「リナルド」より「涙の流れるままに」☆ J.シュトラウス2世：喜歌劇「こつもり」より「侯爵様、あなたのようなお 方は」☆ 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 星野源：ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』主題歌「恋」 アラン・メンケン：映画『美女と野獣』主題歌「美女と野獣」 北原白秋(作詞)、山田耕筰(作曲)：からたちの花☆ 山上路夫(作詞)、村井邦彦(作曲)：翼をください◇ 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之(作詞)、岡野貞一(作曲)：ふるさと☆◇	170
2/4	立川公演 立川市市民会館(たま しんRISURUホール) 大ホール 共催：立川市	指揮：梅田俊明 司会：江原陽子	古関裕而：オリンピックマーチ (1964) シベリウス：交響詩「フィンランディア」op.26 グリーク：劇音楽「ペール・ギュント」より(語り：江原陽子) ①前奏曲 ②イングリットの嘆き ③山の魔王の宮殿にて ④オーゼの死 ⑤朝 ⑥アラビアの踊り ⑦アントラの踊り ⑧ペール・ギュントの帰郷 ⑨ソルヴェイグの歌 (アンコール) グリーク：組曲「ホルベアの時代」より<前奏曲> 【参加体験企画】 楽器体験 (ヴァイオリン 45人、チェロ 15人)	1,089
3/13	大島公演 大島町開発総合セン ター大集會室 後援：大島町、大島町 教育委員会	東京都交響楽団メン バーによる弦楽四重奏 ヴァイオリン：海和伸 子、小関郁 ヴィオラ：林康夫 チェロ：大島純	J.シュトラウス2世：ワルツ「春の声」 モーツァルト：ディヴェルティメント第3番 へ長調 K.138 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番 へ長調 op.96「アメリカ」より 第 1楽章 古関裕而：オリンピックマーチ (1964) 木村弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 久石譲：『ハウルの動く城』メドレー 小椋佳：愛燦々 中山晋平/篠原敬介 編曲：童謡メドレー しゃぼん玉～背くらべ～宛のダンス～砂山～てるてる坊主～ 雨降りお月さん～黄金虫～あの町この町 Swing Jazz メドレー シング・シング・シング～A列車で行こう～イン・ ザ・ムード (アンコール) 葉加瀬太郎：情熱大陸 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之(作詞)、岡野貞一(作曲)：ふるさと	84

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
3/14	大島公演 北ノ山保育園 後援：大島町、大島町 教育委員会	東京都交響楽団メン バーによる弦楽四重奏 ヴァイオリン：海和伸 子、小関郁 ヴィオラ：林康夫 チェロ：大島純	モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調より 第1楽章 楽器のお話し 木村弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 ポツケリーニ：メヌエット リチャード&ロバート・シャーマン：小さな世界 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 久石譲：『となりのトトロ』より「ねこバス～さんぽ」 ワグネル：大きな古時計 メンケン：ディズニー映画『美女と野獣』主題歌「美女と野獣」 三木たかし：『アンパンマンのマーチ』 馬飼野康二：『忍たま乱太郎』主題歌「勇気100%」 Swing Jazz メドレー シング・シング・シング～A列車で行こう～イン ザ・ムード (アンコール) 久石譲：『となりのトトロ』 【体験事業】 馬飼野康二：『忍たま乱太郎』主題歌「勇気100%」	94

【参加者の声】

●オーケストラ公演

- ・いろいろな人(スタッフ)があいさつしてくれて、音楽も素敵でした。また聞きたいです。(福生公演)
- ・アンコールがあつてびっくり！大変お得でした。いつもはアマオケしか聞いてないので、プロの都響がいかに素晴らしいかわかりました。(小平公演)
- ・これからクラシックコンサートに行きたいと思うきっかけになりました。ありがとうございました。(多摩公演)
- ・いつも思うのですが、平均年齢の高さにびっくりします(観客の)。20代、10代の方に優先的にしてもらえるコンサートなどがあつてもいいかと思います。年寄りの道楽ではもったいないです。(日野公演)
- ・都響の定期公演など聴く機会がないので、住居近くで聴けるのは嬉しいです。(秋川公演)
- ・感動しました。なめらかですごく上手です。私は学校で吹奏楽をやっているので参考になりました。また聞きたいです。すご～く楽しい時間を過ごせました。ありがとうございます！(秋川公演)
- ・音楽の授業でやるモルダウが聞きたくて来ました。友達が弾いていたピアノと全然違ったのでびっくりした。(東大和公演)
- ・50年前のオリンピックの行進の姿が浮かんできました。シベリウスは学生の時のことを思い出しました。(立川公演)
- ・パールギュントの語りと音楽がこの季節にピッタリだった。タイムリーな企画を期待しています。(立川公演)

●アンサンブル公演

- ・優雅なゆったりとしたひと時が過ごせました。生の音を聞くことが少ないので心にしみました。素敵でした。多摩西部地域でのこのようなコンサートが開催されることに感謝します。(瑞穂町公演)
- ・とても良かったです。今年はwebでのお知らせが遅かったかな？と思いました。今年はないのかなと心配になりましたが、あつて良かったです。これからもずっと続けていただけたらと願っています。様々な年齢の方が知っている曲ばかりでとても楽しめました。(瑞穂町公演)
- ・私が吹奏楽部に所属しています。担当はトランペットです。木管五重奏なのでトランペットではないのですが強弱のつけかたやブレスの仕方などとても勉強になりました。(檜原村公演)
- ・今日みたいな会場をぜひ来年も見たいと思ったし、本格的な合奏だったのでもっといろいろな人に見てもらわないと思いましたので、ぼくも参加人数が増えるように協力またはボランティアをしたいとあらためて思いました。(奥多摩町公演)
- ・島ではこのようなコンサートの機会が得にくいので大変嬉しいです。(新島公演)
- ・とても良かったです！感動！こんな近くで聴ける機会はないので良かったです。歌もとても素敵でした。また楽しみにしています！(新島公演)
- ・今までの中で一番楽しいコンサートでした。ソプラノ(歌)があつたのと、トークが皆さんステキでした。最後のラジオ体操が最高。聴くだけでなく参加できますと、とても楽しくなりますね。(式根島公演)
- ・非日常的な出来事に参加出来、素晴らしい演奏、歌を聞いて嬉しかったです(奥多摩町公演)
- ・クラシックの定番、オリンピックマーチ、アニメのテーマ、日本の昭和歌謡など幅広い選曲で超一流の奏者による生演奏を堪能できました。(大島公演)

13

Music Program TOKYO

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年5月12日（金）～平成30（2018）年3月25日（日）
 会場 東京文化会館 ほか
 主催 東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 入場者数 延べ32,927人

【事業趣旨（目的）】

世界的な芸術文化都市東京として、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な音楽プログラムを年間を通して一体的に展開。クラシック音楽を基軸に様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与えとともに、世界に向け発信することを目的に実施。

【開催状況】

1. Enjoy Concerts!

(1) 小曽根真&ピーター・アースキン “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

開催日	会場	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
10/14	東京文化会館 大ホール	ピアノ：小曽根真 パーカッション：ピーター・アースキン	<第一部> バーンスタイン：「キャンディード」序曲、 交響曲第2番「不安の時代」	S席：5,000 A席：4,000 B席：3,000	1,724
10/15	オリンパスホール 八王子	ベース：ダレク・オレス ※2 指揮：リオ・クオクマン ※1 管弦楽：東京都交響楽団 ※1	<第二部> ジャズ・セッション	25歳以下： 1,000	908
				計	2,632

※1 第一部のみ出演
 ※2 第二部のみ出演

(2) プラチナ・シリーズ

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
6/24	東京文化会館小ホール	第1回 アルディッ ティ弦楽四重奏団	ヴァイオリン：アーヴィン・アル ディッティ、アショット・サルキ シャン ヴィオラ：ラルフ・エーラーズ チェロ：ルーカス・フェルス	ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長 調 西村朗：弦楽四重奏曲第6番（世 界初演） 細川俊夫：沈黙の花 ほか	[5回セット券] S席：22,500 A席：18,000 [1回券] S席：5,000 A席：4,000 B席：2,500	522
9/22		第2回 御喜美江 &大田智美	アコーディオン：御喜美江、大田 智美	林光（野田雅巳編曲）：裸の島 J.S.バッハ（御喜美江編曲）： 幻想曲とフーガ ト短調 BWV542 ほか		406
11/21		第3回 アントニ オ・メネセス	チェロ：アントニオ・メネセス ピアノ：田村響	ベートーヴェン：ヘンデルの「ユ ダス・マカベウス」の「見よ、 勇者は帰る」の主題による12 の変奏曲 ト長調 WoO 45 ショパン：チェロ・ソナタ ほか		517
12/22		第4回 北村英治 カルテット	クラリネット：北村英治 ピアノ・ヴォーカル：高浜和英 ベース：山口雄三 ドラム：八城邦義	りんごの木の下で ウィンター・ワンダーランド ザ・クリスマス・ソング メモリーズ・オブ・ユー シング・シング・シング ほか		605
1/22		第5回 イザベル・ ファウスト	ヴァイオリン：イザベル・ファウ スト	J.S.バッハ： 無伴奏ヴァイオリンのためのバ ルティータ第3番 ホ長調 BWV1006、無伴奏ヴァイオ リンのためのソナタ第3番 ハ 長調 BWV1005 ほか		393
				計	2,443	

(3) シャイニング・シリーズ

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
10/28	東京文化会館 小ホール	Vol.1 レクチャー・コン サート「漱石の体 験した洋楽～室内 楽と喜歌劇《ボツ カチオ》」	ヴァイオリン：小川響子 ピアノ：富永愛子 テノール：宮里直樹 ソプラノ：清水理恵 バリトン：大久保光哉 企画・ナビゲーター：瀧井敬子 ほか	ガーデ：ピアノ・トリオより 第1楽章 ドヴォルザーク：ピアノ五重奏 曲第2番 イ長調より 第1・3・ 4楽章 スッペ：オペレッタ「ボッカチ オ」～大正4年の帝国劇場日本 初演版に基づくコンサート形式 によるダイジェスト版	3,000 25歳以下： 1,000	516

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
2/4	東京文化会館 小ホール	Vol.2 藤木大地 カウン ターテナー・リサ イタル	カウンターテナー：藤木大地 ピアノ：松本和将	滝廉太郎：花 小林秀雄：落葉松 別宮貞雄：さくら横ちよう 中田喜直：ゆく春 武満徹：死んだ男の残したもの ほか	3,000 25歳以下： 1,000	611
計						1,127

(4) まちなかコンサート

①まちなかコンサート 芸術の秋、音楽さんぽ

開催日	会場	編成	公演数	料金(円)	鑑賞者(人)
9/24	下町風俗資料館 付設展示場 旧吉田屋酒店	金管三重奏	2	無料	229
9/30	東京文化会館 キャンピ	金管五重奏	2		679
10/1		トランペット三重奏	2		675
10/4	旧岩崎邸庭園 洋館内	弦楽四重奏	1		106
10/5	共催：公益財団法人東京都公園協会 ※1	ソプラノ&メゾソプラノ	1		102
10/7	江戸東京たてもの園 子宝湯 ※2	弦楽三重奏	2		162
		クラリネット三重奏	2		292
10/8		木管四重奏	2		367
		トランペット四重奏	2		505
10/13	国立西洋美術館 本館1階ロビー	ソプラノ&テノール	2		167
10/28	東京国立博物館 本館大階段 ※1	弦楽四重奏	2		819
10/29	国立国会図書館 国際子ども図書館 共催：国立国会図書館	弦楽四重奏	2		280
11/2	東京都美術館	木管五重奏	2		245
11/3	佐藤慶太郎記念 アートラウンジ	カウンターテナー&フルート&チェンバロ、ピアノ(キーボード)	2		360
11/5	国立科学博物館 日本館1階中央ホール ※1	弦楽四重奏	2	749	
計					5,737

※1 施設への入館料/入園料が必要

※2 まちなかコンサートの一環として「東京大茶会2017」と連携

②まちなかコンサート×ドリーム夜さらい祭り

開催日	会場	編成	出演者	料金(円)	鑑賞者(人)
11/3	ドリーム夜さらい祭り お台場 自由の女神会場	金管八重奏	トランペット：多田将太郎 トロンボーン：上田智美、東川暁洋 ほか	無料	358

③まちなかコンサート×Station LIVE in 山手線 Special Train

ステーションライブ主催：東日本旅客鉄道株式会社

開催日	会場	編成	出演者	料金(円)	鑑賞者(人)
11/11	JR東日本30周年記念 山手線 ラッピングトレイン団体貸切 列車内	フルート&ピアノ クラリネット&弦楽アンサンブル トロンボーン四重奏 ソプラノ&テノール サクソフォン四重奏 声楽アンサンブル	フルート：上野由恵 ほか クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン ほか トロンボーン：今村岳志 ほか ソプラノ：清水理恵 ほか テナーサクソフォン：松井宏幸 ほか 東京オペラシンガーズ	無料	300

(5) 3歳からの楽しいクラシック

開催日	会場	編成	出演者	料金(円)	鑑賞者(人)
10/21	東京文化会館 小ホール	未就学児(3~6歳)と保護者お よびその家族	ピアノ：白石光隆 バリトン：ヴィタリ・ユシュマノフ	500	440

2. Workshop! Workshop!

(1) 国際連携企画

①ワークショップ・リーダー育成プログラム

共 催：文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)

協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

助 成：一般財団法人地域創造

開催期間	会場	講師	対象	料金(円)	参加者(人)
7/13~ 3/25	東京文化会館、東京芸術 劇場、文京シビックセン ター	ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・ アラウージョ、ブルーノ・エステイマ、 ジョルジュ・ケイジョ、パウロ・ネー ト	18歳以上 アーティスト、教職員、学生、音楽ワー クショップ・リーダーの活動に興味があ る方	受講：10,000 聴講/ 全日コース：6,000 各日コース：2,000	延べ1,895 受講：17 聴講：12

研修用カーザ・ダ・ムジカ アウトリーチ

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
7/13	台東区立大正幼稚園	おとぎの国へLet's Go!	たかせみお、ジョアナ・アラウー ジョ、パウロ・ネート	3歳	無料	27
				4歳		27
				5歳		24

②東京文化会館ミュージック・ワークショップ

協 力：上野学園大学

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

助 成：一般財団法人地域創造

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
5/21		あけてみよう！海のふしぎな宝箱	野口綾子、桜井しおり	6~18か月	500	51
				19~35か月		49
				3~4歳		38
6/25	東京文化会館 リハーサル室	タネまき、タネまき、大きなあれ！	高田有香子、吉澤延隆	19~35か月	500	45
		GO！ワイルド！	たかせみお、野口綾子	3~4歳		38
				小学生~大人		28
8/6	東京文化会館 小ホール	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり	3~4歳	500	43
				5~6歳		38
		はじめましてクラシック ~ヴァイオリン&ピアノ~	たかせみお ヴァイオリン：瀧村依里 ほか	6~35か月		70
9/23	東京文化会館 小ホール	はじめましてクラシック ~弦楽四重奏~	野口綾子 トランペット：野呂紀之 ほか	3~6歳とその 家族	500	304
		One Day セッション	磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆、 渡辺明子	小学生~大人		26
1/14	東京文化会館 リハーサル室	はじめましてクラシック ~弦楽四重奏~	坂本夏樹 ヴァイオリン：岸本萌乃加ほか	6~18か月	500	50
		旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	19~35か月		53
				5~6歳		40
3/4	東京文化会館 リハーサル室	森の王様のフェスタ	磯野恵美、野口綾子	19~35か月	500	37
				3~4歳		38
				5~6歳		38
2/18	大島町野増セン ター体育館	動物たんてい	高田有香子、渡辺明子	6~18か月	500	48
		ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	19~35か月		37
				小学生~大人		18
2/19	大島町野増セン ター体育館	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、桜井しおりほか	小学生~大人	500	8
		旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	3~6歳		8
		めざせ！おんがく忍者	たかせみお、野口綾子	3歳児 4~5歳		17 27
2/20	大島町 差木地保 育園、波浮保 育園	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	3~5歳	無料	34
		めざせ！おんがく忍者	たかせみお、野口綾子	3歳児 4~5歳		47 40
		旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	2~3歳 4~5歳		30 35
2/21	大島町 元町保 育園	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	6か月~2歳	無料	34
2/27	大島町 北ノ山保 育園	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	6か月~2歳	無料	34
2/27	カーザ・ダ・ム ジカ	チーズを探せ！くいしんぼうネス ミ！	ポルトガル研修生	4~5歳	無料	20
3/23	台東区 子ども家 庭支援センター	マタニティ・ワークショップ	高田有香子、渡辺明子	妊娠中の方とそ の家族	無料	10
計						1,399

③東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 多摩

主 催：公益財団法人多摩市文化振興財団

助 成：一般財団法人地域創造

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
7/29	バルテノン多摩 リハーサル室	とびだせ！おんがくたんけん隊！	桜井しおり、たかせみお、野口綾 子	6~18か月	500	43
			桜井しおり、たかせみお、野口綾 子	19~35か月		32
7/30		ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり	3~4歳	500	34
			磯野恵美、桜井しおり	5~6歳		12
計						121

④東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 立川

主 催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
1/27		森の王様のフェスタ	高田有香子、渡辺明子	6～18か月	300	34
			高田有香子、渡辺明子	4～6歳		14
		GO！ワイルド！	たかせみお、野口綾子	小学生～大人		11
1/28	たましんRISURUホール	森の王様のフェスタ	たかせみお、野口綾子	19か月～3歳	300	38
		はじめましてクラシック～ヴァイオリン&ピアノ～	たかせみお、ヴァイオリン：瀧村依里 ほか	6～18か月		35
			たかせみお、ヴァイオリン：瀧村依里 ほか	19か月～3歳		39
		ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、野口綾子	4～6歳		24
計						195

⑤ミュージック・ワークショップ・フェスタ<夏>

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助 成：一般財団法人地域創造

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
7/13		はじめましてクラシック～金管五重奏～	野口綾子	19～35か月	500※	20
			トランペット：野呂紀之 ほか	6～18か月		37
7/14		咲かせよう！音楽の花	磯野恵美、渡辺明子、Sunny	6～18か月	500※	36
		リズムカル・キッチン	パウロ・ネート、ジョルジュ・ケイジ	19～35か月		26
			ジョルジュ・ブレンドラス、ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・エステイマ	小学生～大人		26
		One Day コーラス	小学生～大人	39		
7/15	東京芸術劇場リハーサルルーム	コオロギの大冒険	ブルーノ・エステイマ、パウロ・ネート	19～35か月	500※	51
		森の王様のフェスタ	磯野恵美、野口綾子	6～18か月		37
			磯野恵美、野口綾子	5～6歳		14
7/16		旅するヨーロッパ	桜井しおり、野口綾子	6～18か月	500※	10
		ボディ・ビート	ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケイジ	3～4歳		35
			小学生～大人	26		
7/17		おとぎの国へLet's go!	ジョアナ・アラウージョ、パウロ・ネート	5～6歳	500※	29
		動物たんてい～かかれているのは、だあれだ？～	磯野恵美、桜井しおり	3～4歳		34
			磯野恵美、桜井しおり	19～35か月		32
計						515

※ リズムカル・キッチン、One Day コーラスは65歳以上の方を事前募集にて無料招待

⑥ミュージック・ワークショップフェスタ<冬>

共 催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

協 力：上野学園大学、株式会社ヤマハミュージックジャパン

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

開催日	会場	プログラム名	出演	対象	料金(円)	入場者(人)
11/29		咲かせよう！音楽の花	磯野恵美、渡辺明子、Sunny	19～35か月	500※	35
				6～18か月		37
11/30	文京シビックセンター	おとぎの国へLet's go!	たかせみお ほか	6～18か月	500※	41
			たかせみお ほか	19～35か月		40
		One Day セッション～音楽で描く日本の風景～	磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆	3～4歳		39
			小学生～大人	22		
12/1	東京文化会館	動物たんてい～かかれているのは、だあれだ？～	磯野恵美、桜井しおり	6～18か月	500※	29
			磯野恵美、桜井しおり	19～35か月		34
	ボディ・ビート	ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・エステイマ	小学生～大人	28		
	東京文化会館オリジナル・ワークショップA（新制作）「チーズを探せ！くいしんぼうネスミ！」	ワークショップ・リーダー育成プログラム受講生	6～18か月	25		
	東京文化会館	東京文化会館オリジナル・ワークショップB（新制作）「ミュージック・レター」	ワークショップ・リーダー育成プログラム受講生	19～35か月		24

開催日	会場	プログラム名	出演	対象	料金 (円)	入場者 (人)	
12/2	文京シビックセンター	旅するヨーロッパ	桜井しおり、野口綾子	3~4歳	500 ※	38	
		リズムカル・キッチン	桜井しおり、たかせみお	5~6歳		38	
	東京文化会館	ライオン・ビート	坂本夏樹	小学生~大人		23	
		One Day コーラス	ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・エステイマ	6~18か月		37	
				19~35か月		39	
12/3	文京シビックセンター	はじめましてクラシック〜ヴァイオリン&ピアノ〜	たかせみお	19~35か月		500 ※	52
				6~18か月			58
	東京文化会館	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	19~35か月			36
				3~4歳			30
				クラシックであそぼう!			磯野恵美、たかせみお、野口綾子
計							1,263

※ One Day セッション、ボディ・ビート、One Day コーラスは65歳以上の方を事前募集にて無料招待

(2) 社会包摂

①特別支援学校におけるオーケストラ公演

主 催：東京オーケストラ事業協同組合

開催日	会場	出演	プログラム	入場者 (人)
12/6	東京都立王子特別支援学校 協力：東京都立王子特別支援学校	指揮：三ツ橋敬子 司会&ボディパーカッション：山本愛香 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団	ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より「スイス軍の行進」ほか	253
12/19	東京都立城東特別支援学校 協力：東京都立城東特別支援学校	指揮・司会：海老原光 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団	ピアポント：ジングルベル モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より 第1楽章 ほか	340
1/25	東京都立鹿本学園 協力：東京都立鹿本学園	指揮・お話：永峰大輔 コンサートマスター：グレブ・ニキティン 管弦楽：東京交響楽団	<小学部> チャイコフスキー：バレエ『くるみ割り人形』より「花のワルツ」ほか <中学部・高等部> ベートーヴェン：交響曲第5番より第1楽章 ほか	630
2/20	東京都立小平特別支援学校 協力：東京都立小平特別支援学校	指揮：海老原光 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団	ハチャトゥリアン：組曲『仮面舞踏会』より「ワルツ」ほか	330
計				1,553

②特別支援学校・高齢者施設等での実施

助 成：一般財団法人地域創造

開催日	会場	プログラム	ワークショップ・リーダー	対象	入場者 (人)
7/6	東京都立大塚ろう学校 城東分教室	とびだせ! おんがくたんけん隊	坂本夏樹、桜井しおり、たかせみお	幼稚部	24
		カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、桜井しおり、たかせみお	小学部	29
7/18	東京都立八王子特別支援学校	カーザ・ダ・ムジカ 特別プログラム	ジョルジュ・ブレンダス ほか	高校生	73
カラダ・オト・ウタウ		磯野恵美、たかせみお、野口綾子	小学生	35	
カラダ・オト・ウタウ		磯野恵美、たかせみお、野口綾子	小学生	32	
カラダ・オト・ウタウ		磯野恵美、たかせみお、野口綾子	小学生	25	
10/3	東京都立清瀬特別支援学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、たかせみお、野口綾子	小学3年生	28
10/24	東京都立八王子特別支援学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、たかせみお、野口綾子	小学4年生	27
		リズムカル・キッチン	磯野恵美、たかせみお、野口綾子	中学生	37
		リズムカル・キッチン	磯野恵美、たかせみお、野口綾子	中学生	26
12/7	東京都立 久我山青光学園	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、たかせみお、野口綾子	小学生	37
12/21	とびだせ! おんがくたんけん隊	坂本夏樹、たかせみお、野口綾子	幼稚部	24	
12/4	台東区老人福祉センター	ポルトガルの音楽家と歌おう	ジョルジュ・ブレンダス ほか	50歳以上	21
	ケアハウス松が谷	ポルトガルの音楽家と歌おう	ジョルジュ・ブレンダス ほか	高齢者(デイケア利用者)	42
2/8	有料老人ホームリブイン	高齢者ワークショップ	磯野恵美、坂本夏樹、桜井しおり ほか	高齢者(入居者)	16
	特別養護老人ホームさくら	高齢者ワークショップ	磯野恵美、坂本夏樹、桜井しおり ほか	高齢者および障害者(デイケア利用者)	36
3/19	くらまえ高齢者在宅サービスセンター	高齢者ワークショップ	坂本夏樹、桜井しおり、高田有香子 ほか	高齢者(デイケア利用者)	35
3/24	あさくさ高齢者在宅サービスセンター	高齢者ワークショップ	磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆 ほか	高齢者(デイケア利用者)	30
計					612

(3) 音楽がヒラク未来

助 成：一般財団法人地域創造、平成29年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

開催日	会場	プログラム	料金 (円)	参加者 (人)
5/12、13	東京文化会館 小ホール	東京フォーラム 連携と人財育成がつなぐ未来	無料	458
9/21	東京文化会館 応接室	首都圏文化施設における教育普及プログラム担当者のための意見交換会		8
11/10	調布市グリーンホール 大ホール	0～3才児のためのはじめてのステージ～クラリネットってなあに？		80
3/2	東京文化会館 大会議室 ほか	実施報告会		62
計				608

(4) コハーン・イシュトヴァーン&中野翔太 デュオ・コンサート

開催日	会場	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者 (人)
3/2	東京文化会館 小ホール	クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン ピアノ：中野翔太	J.S.バッハ：G線上のアリア サティ：ジムノペディ ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー ほか	500円 (全席自由)	653

3. Music Education Program

(1) Talk&Lesson 小曾根真ワークショップ「自分で見つける音楽」Vol.5

開催日	会場	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者 (人)
10/11	東京文化会館 小ホール	小曾根真	デュカス：“ラ・ペリ”よりファンファーレ メンデス：“メキシコ組曲”よりCHIAPANECAS、 MEXICAN HAT ANCE ほか	一般：1,500 25歳以下： 1,000 (全席自由)	598

(2) オペラをつくろう！

特別共催：公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

開催日※	会場	プログラム	対象	料金 (円)	参加者 (人)
7/24～11/4 (22)	東京文化会館 ほか	オペラの登場人物になる！ 合唱・演技／ダンス	小学1年生～高校3年生	2,000	延べ494
7/22、23 (4) 11/3 (ゲネプロ鑑賞)	東京文化会館 (7/22)、 赤坂区民センター (7/23)、 東京文化会館 (11/3)	オペラに登場するものづくり！ 《工作》	小学校1～6年生	500	延べ183
計					延べ677

※ () 内は実施回数

(3) アウトリーチ・コンサート

開催日	学校名	会場	編成・出演者 (代表者)	鑑賞者 (人) ※
5/17	練馬区立小竹小学校	体育館	金管五重奏・多田将太郎 (トランペット) ほか	98
5/22	大田区立松仙小学校	体育館	金管五重奏・井上康一 (トロンボーン) ほか	840
6/1	町田市立町田第三小学校	体育館	弦楽四重奏・小川響子 (ヴァイオリン) ほか	502
6/8	江東区立大島南中央小学校	体育館	木管五重奏・梶川真歩 (フルート) ほか	248
6/9	台東区立坂本保育園	ホール	バイオリン&ピアノ・小川響子 (ヴァイオリン) ほか	75
6/16	八王子市立上柚木小学校	体育館	弦楽四重奏・鈴木大樹 (ヴィオラ) ほか	469
6/22	江戸川区立下鎌田東小学校	体育館	木管五重奏・柿沼麻美 (ファゴット) ほか	460
6/30	葛飾区立堀切中学校	体育館	ソプラノ&テノール・清水理恵 (ソプラノ) ほか	276
11/6	八王子市立上巻分方小学校	音楽室	木管五重奏・梶川真歩 (フルート) ほか	184
11/7	新宿区立落合第五小学校	体育館	金管五重奏・井上康一 (トロンボーン) ほか	214
11/9	西東京市立谷戸小学校	体育館	ソプラノ&バリトン・清水理恵 (ソプラノ) ほか	379
11/13	東村山市立秋津小学校	体育館	金管五重奏・井上康一 (トロンボーン) ほか	366
11/14	八王子市立由井第一小学校	体育館	木管五重奏・篠原拓也 (オーボエ) ほか	557
11/17	台東区立柏葉中学校	体育館	木管五重奏・柿沼麻美 (ファゴット) ほか	144
11/17	北区立王子第二小学校	体育館	金管五重奏・井上康一 (トロンボーン) ほか	210
11/18	小平市立小平第九小学校	体育館	弦楽四重奏・小川響子 (ヴァイオリン) ほか	581
11/22	台東区立根岸小学校	体育館	弦楽四重奏・鈴木大樹 (ヴィオラ) ほか	627
12/4	江東区立つばめ幼稚園	パルシティ江東内レクホール	弦楽四重奏・瀧村依里 (ヴァイオリン) ほか	174
12/5	江東区立浅間賢川小学校	体育館	金管五重奏・井上康一 (トロンボーン) ほか	179
12/19	台東区立浅草橋保育園	園内ホール	チェロ&ピアノ・加藤文枝 (チェロ) ほか	77
12/21	荒川区立東日暮里幼稚園	遊戯室	トランペット&ピアノ・多田将太郎 (トランペット) ほか	92
2/2	福生市立福生第二小学校	体育館	ソプラノ&バリトン・清水理恵 (ソプラノ) ほか	449
3/5	台東区立忍岡小学校	体育館	木管五重奏・梶川真歩 (フルート) ほか	265
計				7,466

※鑑賞者には見学者 (保護者) の数を含む

(4) アウトリーチワークショップ、クリニック

開催日	学校名	プログラム	出演者/指導者	参加者(人)
5/22	東村山市立大岱小学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、たかせみお	98
5/30	八王子市立上川口小学校	Music Clock	坂本夏樹、桜井しおり	67
6/1	墨田区立言問小学校	箏ワークショップ	坂本夏樹、吉澤延隆	46
6/13	文京区立後楽幼稚園	動物たんてい〜かくれているのは、だあれだ?〜	磯野恵美、桜井しおり	41
6/21	台東区立上野小学校	One Day セッション	磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆	50
7/1、7/8、7/27、7/29	羽村市立羽村西小学校	クリニック	多田将太郎 ほか	318
7/3	八王子市立由木西小学校	カラダ・オト・ウタウ	桜井しおり、野口綾子	28
7/4	八王子市立恩方第一小学校	Music Clock	坂本夏樹、桜井しおり	46
7/7	台東区立金曾木小学校	はじめましてクラシック〜金管五重奏〜	野口綾子、野呂紀之(トランペット) ほか	73
7/12	台東区立台東保育園	はじめましてクラシック〜ヴァイオリン&ピアノ〜	たかせみお、瀧村依里(ヴァイオリン) ほか	98
7/20	台東区立松が谷保育園	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	65
9/20	八王子市立第六小学校	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり	15
10/10	台東区立千束保育園	チーズを探せ!くいしんぼうネズミ!/ミュージック・レター	ワークショップ・リーダー育成プログラム 受講生	50
10/11	足立区立鹿浜西小学校	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	65
10/17	新宿区立西新宿小学校	カラダ・オト・ウタウ	たかせみお、野口綾子	31
10/21	台東区立浅草小学校	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり	63
10/27	葛飾区立北住吉幼稚園	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	53
11/7	台東区立玉姫保育園	めざせ!おんがく忍者!	たかせみお、野口綾子	33
11/10	小金井市立小金井第一中学校	リズムカル・キッチン	桜井しおり、たかせみお	7
11/13	千代田区立番町幼稚園	とびだせ!おんがくたんけん隊	桜井しおり、たかせみお、野口綾子	86
11/15	台東区立石浜橋場こども園	動物たんてい〜かくれているのは、だあれだ?〜	高田有香子、渡辺明子	34
11/24	多摩市立青陵中学校	カラダ・オト・ウタウ	桜井しおり、たかせみお	18
12/9	北区立柳田小学校	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、坂本夏樹、たかせみお	169
12/15	稲城市立南山小学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、桜井しおり、野口綾子	144
12/19	日の出町立大久野中学校	One Day セッション	磯野恵美、野口綾子	130
12/20	台東区立待乳保育園	スペース・トラベル	高田有香子、吉澤延隆	64
1/19	文京区立湯島幼稚園	めざせ!おんがく忍者!	たかせみお、野口綾子	44
1/25	小金井市立緑小学校	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、坂本夏樹	92
2/9	墨田区立押上小学校	Music Clock	坂本夏樹、野口綾子	78
2/15	文京区立第一幼稚園	咲かせよう!音楽の花	磯野恵美、渡辺明子、大野晴香	46
3/8	昭島市立多摩辺中学校	クリニック	吉澤延隆	105
計				2,257

【参加者の声】

- ・とても素晴らしい演奏をありがとうございました。児童だけでなく教員も心がいやされる音楽でした。
- ・演奏が、派手で現代的な曲で、かつ色々な奏法があり、子供たちには「本物」の音を聴かせることができ貴重な体験となりました。また指導も丁寧で分かりやすく、50分間があっという間でした。

14

アンサンブルズ東京

【事業概要】

開催日	平成29(2017)年10月15日(日) ※事前にプレイベント、ワークショップを実施
会場	東京タワー
主催	アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、アンサンブルズ東京実行委員会【ピースリーマネジメント有限公司、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、株式会社文化放送】
助成・協力	東京都
後援	港区
協力	株式会社三陽商会、公益財団法人日本デザイン振興会、東京タワー、レッドブル・スタジオ東京
大風呂敷制作協力	ブラザー販売株式会社
来場・参加者数	累計約9,000人

【事業目的】

誰もが参加できる参加型音楽フェスティバルとして、音楽家・大友良英のディレクションの下、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手でフェスティバルを作り上げ、地域の新たな魅力を発見するとともに、東京ならではの場所で、東京の独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	出演者等	料金(円)	参加者(人)	
9/5	GOOD DESIGN Marunouchi	プレイベント in 丸の内 大友良英トーク&ライブ	大友良英 山岸清之進	無料	56	
9/30 10/14	レッドブル・スタジオ東京	ワークショップ	「声を楽器にしてみよう!ワークショップ」	坂本美雨とCANTUS	2,500、学生1,500、 60歳以上・小中学生1,000 /2日分の料金 未就学児無料	38
10/13、 14			「リズム・アンサンブル・ワークショップ」	芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!	2,000、学生1,000、 60歳以上・小中学生500 /1日分の料金 未就学児無料	64
10/14			「ボイス・ワークショップ~ 声をだす、声をきく~」	UA+稲葉俊郎	2,500、学生1,500、 60歳以上・中学生1,000	24
10/14			「楽器何でもビッグバンド ワークショップ」	大友良英スペシャルビッグ バンド	2,000、学生1,000、 60歳以上・小中学生500 未就学児無料	92
9/16、 17、23、 24、 10/7、8			三陽商会 九段ファーストプレイスビル	大風呂敷ワークショップ	プロジェクトFUKUSHIMA!	無料
9/27、28	GOOD DESIGN Marunouchi					
10/15	東京タワー	アンサンブルズ東京	大友良英、UA+稲葉俊郎、 芳垣安洋とOrquesta Nudge!Nudge!、坂本美雨 とCANTUS、プロジェクト FUKUSHIMA!、ワーク ショップ参加者	無料	累計約 9,000	

【参加者の声】

- ・参加型で素晴らしいアーティストの方達と共演できることは、夢や希望があって、どんどんやっていただきたい企画だと思いました。(30代・女性)
- ・本当に充実した2日間となりました。参加された皆さんのパワーに感動しました。主体的に表現に関われる場。祭り。祈り。このような場が増えると、今、問題、事件になるようなことが未然に防がれていくのでしょうか。ワークショップからの参加でしたが、貴重な体験が出来ました。未来への心構えも出来ました。ほんとにほんとにありがとうございます!!(40代・女性)
- ・雨が降ってしまってもこんなに楽しくできて、音楽はすごいと思いました。(40代・女性)
- ・ワークショップと本番と、充実した内容でした。音楽内容的にも満足いくレベルのパフォーマンスだったと思います。後日、公式アーカイブとしてパフォーマンス映像が見れると嬉しいです。今回は東京タワーという場所も良かったです。屋外は天候の影響を受けますが、オープンスペースのほうが気持ちも上がりますね。ぜひ来年も参加したいです。(50代・男性)

15

上野「文化の杜」新構想

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年4月1日～平成30（2018）年3月31日
会場 上野恩賜公園および周辺文化施設、谷中エリア
主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、上野文化の杜新構想実行委員会

【事業趣旨（目的）】

平成25年12月に、上野「文化の杜」新構想推進会議が発足した。
 同会議では、年間3,000万人の集客を可能とするために必要なハード・ソフト両面にわたる整備方策が検討され、平成27年7月に、2020年に向けた国際発信戦略として、上野「文化の杜」新構想が取りまとめられた。
 博物館、美術館、音楽ホールや動物園等の関係機関による実行委員会を中心とした推進体制の下、上野公園周辺を舞台に、「文化の杜」として各機関・団体が相互に連携・協力し、文化芸術発信力を高める活動を展開する。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	アーティスト	内容	料金（円）	入場者（人）
4/1～9/30 (前期)、 10/1～3/31 (後期)	—	UENO WELCOME PASSPORT	—	上野地区の文化施設を網羅した 共通入場券	2,000 (常設展のみ)、 3,000 (常設展、特別 展)	19,010 (常設展) 3,283 (特別展)
5/12、19、 6/2、16、30	上野の森美術館、東京 都美術館から東京藝術 大学までの通路	「バベルの塔」展と連 携した夜間イベント	千住明、東京藝術大学 チーム「モンテヴェル ディ」	東京藝術大学COI拠点が制作 した「バベルの塔」の3DCG 映像を上野の森美術館屋外壁面 にプロジェクション投影すると ともに、バーチャルコンサート を開催した。	—	1,809
10/16、 11/13、14	東京国立博物館	第2回「照明探偵団」 in 上野公園	面出薫（照明デザイ ナー）	面出薫を団長とする「照明探偵 団」による、上野公園の照明に 関するフィールドワークを行い、 東京国立博物館を舞台に、新た なライトアップの可能性を検討 するワークショップを開催した。	—	95
11/10～19	上野恩賜公園（不忍池 一帯、噴水前広場）、 東京国立博物館、東京 都美術館、東京文化会 館、谷中地域 ほか	TOKYO 数寄フェス 2017	大巻伸嗣、日比野克彦、 海部陽介、石川仁、鈴 木太郎、橋本和幸、ほ か（順不同）	近代日本美術の発展に大きな功 績を残した岡倉天心が、茶の湯 を通して日本の文化芸術の精神 を紹介した『茶の本』の中で語っ た《数寄》ということばを軸に、 様々な文化施設を舞台に、ア ート作品の展示やワークショップ を展開。	—	774,354
11/10、 12/21、1/23	東京都美術館、東京文 化会館、東京藝術大学	上野公園スタディーズ レクチャー	住友文彦、小沢剛、港 千尋、田瀬理夫、木村 直恵	各方面の専門家や上野エリアに 長年携わる人を招き、上野や谷 中・根津エリアに関する歴史や 文化について調査し、講座とし て一般公開した。	—	167
1/26	東京国立博物館、国立 科学博物館、国立西洋 美術館、東京都美術館、 JR上野駅	夜の音めぐり「東京・ 初春・音楽祭」	若手音楽家（器楽、声 楽）	「東京・春・音楽祭」と連携し、 文化施設の展示内容に合わせた 若手音楽家によるコンサートを 開催し、夜間開館の集客と若手 音楽家の育成を狙う。	企画展入場券	958
11/3、 10～12、 14～19	東京国立博物館、東京 都美術館	文化施設の魅力発信事 業	—	文化施設のアクセシビリティ向 上を目的とし、障害のある方、未 就学児をお持ちの保護者等をは じめ、美術館に何らかの理由で アクセスし難い方が、よりアクセ スし易くなるようなワークショッ プおよびツアーを実施した。	企画展入場料	62

【その他】

《上野文化の杜 建築ガイドブック》編集発行事業 平成30年3月 《上野文化の杜 デジタルマップ》機能改善事業 平成30年3月
 《上野文化の杜 ポータルサイト》状況分析事業 平成30年3月 《上野文化の杜 ドキュメント》制作 平成30年3月

【参加者の声】

- ・アート、科学、冒険の組合せが大変面白かった。自然と文化が融合している点、藝大・国立科学博物館の共同プロジェクトは、上野だからこそ出来ることだと思います。
- ・共通パスポートのおかげで、「いつかは行きたい」と思いつつも、のびのびになっていたいくつかの施設を訪ねるよい機会となりました

16

六本木アートナイト2017

【事業概要】

テーマ	『未来ノマツリ』
開催日	平成29（2017）年9月30日（土）・10月1日（日）
開催場所	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】
助成	平成29年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
特別助成	台湾文化部
後援	観光庁、台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター、今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、六本木ヒルズ自治会、六本木“Art&Designの街”推進会議、テレビ朝日、J-WAVE
エリア協賛	サントリーウイスキー響、株式会社そごう・西武
メディア協賛	グランド ハイアット 東京
協賛	飯田電気工業株式会社、株式会社クオラス、株式会社電通、株式会社東京タカラ商会、アットホーム株式会社、株式会社コングレ、TSP太陽株式会社、中村展設株式会社、ピーディーシー株式会社、株式会社アルタイル、株式会社イースト、株式会社オリコム、株式会社共立、株式会社クラフト、株式会社ジールアソシエイツ、笑遊堂、シンテイ警備株式会社、大成株式会社、株式会社つむら工藝、トライセブン ロッポンギ、株式会社トランジットジェネラルオフィス、株式会社バーニーズ ジャパン、富士急グループ 株式会社フジエクスプレス、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社ブランコ、株式会社フロンティアインターナショナル、ペンブローク リアルエステート ジャパン、Moleskine、株式会社モンタージュ、郵船トラベル株式会社
パフォーマー	beachwalkers.、イフイング株式会社 Dr.Jr.
運営協力	六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ
協力	ブラジル大使館、アツデン株式会社、アマンド六本木店、WIND、おつな寿司、株式会社京都西川、Kunito Miyasaka 財団、GOLD STAR ROPPONGI、株式会社シネ・フォーカス、芝の家、大黒屋六本木店、立原金物店、タリーズコーヒー六本木店、天祖神社 龍土神明宮、株式会社中川ケミカル、ハードロックカフェ ROCK SHOP、FUTURE LIFE FACTORY（パナソニック株式会社）、フォトショップ 銀嶺、ブルーボトルコーヒー 六本木カフェ、もなかジェラート庵、Moleskine、横浜美術大学、リュネット・ジュラ ミヤコヤ 六本木、ロア六本木 六本木共同ビル株式会社、ワイモバイル六本木 Internet Park
協力ホテル	グランド ハイアット 東京
入場料	無料（但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料）
鑑賞者数	2日間にわたる全作品の延べ鑑賞者総数 74万人

【事業趣旨（目的）】

様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を創出することで、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、アートとまちが一体化することにより、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出することを目的に実施する「一夜限りのアートの饗宴」。

【開催状況】

【広域プログラム】

- (1) オープニングセレモニー（六本木ヒルズアリーナ）
- (2) メインプログラム
 - ・ 蜷川実花『Tokyo Followers 1』（六本木ヒルズアリーナ、国立新美術館 前庭、東京ミッドタウン キャノピー・スクエア）
- (3) 東南アジア・プロジェクト
 - ・ ナウイン・ラワンチャイクン『OKのまつり』（六本木西公園）
 - ・ ネオ・アンゴノ・アーティスト・コレクティブ『巨人と歩く：彼らは私たちと同じ（六本木ヒルズプロジェクト）』（六本木ヒルズ ウェストウォーク2F、六本木ヒルズ 毛利庭園、東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、国立新美術館、天祖神社、ラピロス六本木、六本木西公園）
 - ・ 国立奥多摩美術館『国立奥多摩美術館 24時間人間時計～アジア編～』（六本木ヒルズ ノースタワー前）
- (4) 街なかインスタレーション
 - ・ 蜷川実花『NINAGAWA ALMOND』（アマンド六本木店）
 - ・ 山本洋子（バルーンランド）『アジアの花』（六本木交差点）
 - ・ ゾロ・フィーグル『フラ』（第一レーヌビル）
 - ・ リム・ソクチャンリナ、ナット・スワディー他『アジア映像集』（芋洗坂の駐車場）
 - ・ 石井七歩『How to build the IDEAL WORLD』[オープンコール・プロジェクト]（ラピロス六本木）
 - ・ 鄭弘敬『「台北無聊風景」シリーズ』（六本木通り地下通路）
 - ・ CALAR.inc『During the Night - よるのあいまに - 』[オープンコール・プロジェクト]（六本木けやき坂通り1F特設会場）
 - ・ ryo kishi『dis:play (bias)』[オープンコール・プロジェクト]（六本木ヒルズ ウェストウォーク2F）
 - ・ 江頭誠『suit』[オープンコール・プロジェクト]（六本木ヒルズ ウェストウォーク2F）
 - ・ 安藤北斗・林登志也 / we+（ウィープラス）『ROPPONGI ART NIGHT CAFÉ supported by Seibu & Sogo featuring we+』（六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース）
- (5) 街なかパフォーマンス
 - ・ 蜷川実花 他『TOKYO道中』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 康本雅子×ASA-CHANG&巡礼『まほう』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 黒田育代『IKUYO KURODA/BATIK in ART NIGHT』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 北村明子・兼古昭彦『跑（だく）-Cross Transitからのスピニアウト企画！-』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 柳本雅寛と愉快的仲間達『roppongi+81』（東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 山本裕『「六本木To the sky」×「六本木Deep sea」』[オープンコール・プロジェクト]（東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、六本木ヒルズ 66プラザ、六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ ジンタラムータ『ジンタラムータ ストリートライブ』（東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、六本木ヒルズ ノースタワー前）
 - ・ ジンタラムータ『ファイナルライブ with ジンタラムータ』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ スイッチ総研『六本木アートナイトスイッチ2017』（六本木商店街、六本木ヒルズ）
 - ・ FUKAIPRODUCE羽衣『ハゴロップンギナイト♪』[オープンコール・プロジェクト]（六本木五丁目特設会場）
 - ・ On7（オンナナ）『宴★UTAGE~Newspaper Ladies』[オープンコール・プロジェクト]（ロアビル、天祖神社、東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、六本木ヒルズ メトロハット前）
 - ・ atrn『SOUND & VISUAL LIVE #1』（六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース）
 - ・ koeosaeme『SOUND & VISUAL LIVE #2』（六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース）
- (6) 街なかミーティング
 - ・ 蜷川実花×南條史生『テーマトーク』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 近藤良平とその仲間たち『六本木夜舞場（ろくほんもくやまいば）Vol.5（真夜中の盆踊り）』（東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 日本フィルハーモニー交響楽団×インビジブル『クラシックなラジオ体操』（六本木ヒルズアリーナ）
 - ・ 『六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー』（ツアー開始場所：ラピロス六本木）
 - ・ 木村崇人（『木もれ陽プロジェクト ①こもれびを食べる動物になろう!(昼) ②もしも太陽が星の形をしていたら(夜)』（三河台公園）
 - ・ 幸田千依『絵画の冒険 ①歩く絵の冒険 ②冒険する二つの目(参加型作品) ③絵に成る光景』（三河台公園）
 - ・ 岡本憲昭『見る/見るを見る リミックスツアー』（三河台公園）

- ・森と魚デザイン舎、キラク座『にゅーKEN-KEN-PA!で六本木ジャック』[オープンコール・プロジェクト] (東京ミッドタウン キャノピー・スクエア、六本木ヒルズ 66プラザ、トライセブンロッポンギ ブルーボトルコーヒー前、六本木ヒルズアリーナ)
- ・we+ and FUTURE LIFE FACTORY『we+とFUTURE LIFE FACTORYの“Talk a lot”』(六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース)

【六本木ヒルズプログラム】

- ・エネス『ソニック・ライト・バブル』(六本木ヒルズ 66プラザ)
- ・フェリックス・バコロール『荒れそうな空模様』(六本木ヒルズ 毛利庭園)
- ・スーザン・ドラメン『新作インスタレーション』(六本木ヒルズ けやき坂コンプレックスB1F)
- ・dot architects (六本木ヒルズ 毛利庭園横)
- ・とんぼせんせい『とんぼせんせいのお面ワークショップ』(六本木ヒルズ 毛利庭園横)
- ・ファジャー・アバディ・RDP『気分はどう?』(六本木ヒルズ 毛利庭園横)
- ・まちと美術館のプログラム『サンシャワー展×船越雅代 グリーンアジアで舌つづみ!“Sacred Food 聖なる食” 六本木アートナイトVersion』(グリーンアジア [六本木ヒルズ ヒルサイド B1F])
- ・橋本忠樹(観世流能楽師)『お能ワークショップ舞囃子“高砂”とこしえの祭祀(まつり) から未来ノマツリへ』(六本木ヒルズアリーナ)
- ・『サントリーウイスキー「響」ART OF BLENDING』(六本木ヒルズ 大屋根プラザ)
- ・企画展『創刊50周年記念 週刊少年ジャンプ展VOL.1 創刊~1980年代、伝説のはじまり』(森アーツセンター ギャラリー)
- ・『六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー オールナイト開館』(六本木ヒルズ森タワー52階 東京シティビュー)

【森美術館プログラム】

- ・企画展『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現代まで』(森美術館)
- ・レクチャー『比較の難しさ：東南アジア地域をキュレーションするための調査、テーマ、その他の方法』(森美術館 オーディトリウム)
- ・『MAMコレクション005：リサイクル&ビルド』『MAMスクリーン006：カミュー・アンロ』『MAMリサーチ005：中国現代写真の現場 - 三影堂撮影芸術中心』(森美術館)

【東京ミッドタウンプログラム】

- ・アニッシュ・カプーア/磯崎新『ルツェルン・フェスティバル アーク・ノヴァ 2017 in 東京ミッドタウン』(東京ミッドタウン 芝生広場)
- ・磯崎新『ルツェルン・フェスティバル アーク・ノヴァ2017 in 東京ミッドタウン スペシャルトーク』(東京ミッドタウン 芝生広場)
- ・後藤宙『Street Art Performances“MATSURI”構造/表象』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・大塚功季『Street Art Performances“MATSURI”Growing, Making and Creating』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・山口正樹『Street Art Performances“MATSURI”「遠くの山のそのまた向こう」』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・齋藤詩織『Street Art Performances“MATSURI”「スーベニア感謝祭」』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・副島しのぶ『Street Art Performances“MATSURI”「蝉は再び空をとぶ」』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・FUKUPOLY『Street Art Performances“MATSURI”「GECKO」』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・『TMA2017アートコンペ作品展示・最終審査会』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・nor (ノア)『dyebirth』(東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー)
- ・津村耕佑/武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ『夢夢神社』(東京ミッドタウン 外苑東通り沿い ガレリアゲート前)
- ・1980YEN『館内アナウンスGIG』(東京ミッドタウン プラザB1F)
- ・※『真夜中のミッドタウン』(東京ミッドタウン ガレリア1F)
- ・六本木未来会議『森の学校』(東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン)

【サントリー美術館プログラム】

- ・企画展『六本木開館10周年記念展 天下を治めた絵師 狩野元信』（サントリー美術館）
- ・坂本頼光/伊藤ケイスケ『活弁で！酒伝童子絵巻』（サントリー美術館 6Fホール）
- ・鹿沼のすごい木エプロジェクト『アートやたい』（サントリー美術館 1F レクチャールーム）
- ・『フレンドリートーク』（サントリー美術館 6Fホール）

【21_21 DESIGN SIGHT】

- ・企画展『「そこまでやるか」 壮大なプロジェクト展』（21_21 DESIGN SIGHT）
- ・『展覧会ディレクター 青野尚子によるギャラリーツアー』（21_21 DESIGN SIGHT）

【国立新美術館】

- ・企画展『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現代まで』（国立新美術館 企画展示室 2E）
- ・企画展『国立新美術館開館10周年 安藤忠雄展 - 挑戦 - 』（国立新美術館 企画展示室 1E+野外展示場）
- ・高木正勝『国立新美術館開館10周年 高木正勝VIDEO WORKS』（国立新美術館 1階ロビー 正面入口付近）
- ・吉本直子『「日々の亡霊」 インスタレーション』（国立新美術館 1階ロビー 正面入口付近）
- ・吉本直子『「日々の亡霊」 ワークショップ』（国立新美術館 別館3階多目的ルーム他）
- ・TOKYO_ANIMA！ 2017『おと〜きょ〜あにま！』（国立新美術館 3階 講堂）
- ・『国立新美術館開館10周年特別プログラムスタンプラリー』（国立新美術館 1階中央インフォメーション横）

【六本木商店街プログラム】

- ・『Roppongi Art Night Photo Spot』（ラピロス六本木）

【同時開催プログラム】

- ・国際交流基金アジアセンター『ASEANウィークエンド！』（六本木ヒルズ 毛利庭園横）

【その他】

- 参加施設・ギャラリー 16施設・ギャラリー
開廊時間延長や特別プログラムなど
- 参加店舗 64店舗
営業時間延長や特典など
- 無料シャトルバス
六本木と渋谷、新宿・池袋、吉祥寺・国分寺・立川を結ぶ無料シャトルバスを運行

【参加者の声】

- ・普段の生活において、何種類ものアート系のワークショップに一度に参加する機会はほぼなかったので、自分にとってのアートとの向き合い方が大きく変わった。
- ・東京の六本木にとどまらないアジア的なものとの交差や、美術館展示などはすごく良かった。良い意味で六本木的ではない土着さ、手仕事感、猥雑さなどは良い雰囲気を出していた。
- ・車いすや障害を持った人たちに発信できるような試みをやって欲しいと思いました。
- ・美術館巡りは好きです。こういう夜通しのイベント自体お祭り感があるし、祝祭という言葉に込められた意図を感じなくても、お祭りは、普段美術館に行かない人も楽しめるし、気楽な気持ちでアートを観られるし、とっても良いと思います。

17 MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景

【事業概要】

開催期間	平成29(2017)年10月7日(土)～11月12日(日) 23日間 ※木、金、土、日曜日と祝日開催
会場	清澄白河駅周辺エリア、東京藝術大学アーツ・アンド・サイエンス・ラボ
主催	東京都、東京都現代美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
後援	江東区
特別協力	深川資料館通り商店街協同組合、グランチェスター・ハウス、カディスト・アート・ファウンデーション、東京藝術大学社会連携センター、東京藝術大学芸術情報センター、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科、東京藝術大学 古川研究室、東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室
助成	アンスティチュ・フランセ、モンドリアン財団
協賛	株式会社 資生堂、公益財団法人 クマ財団、大日本印刷株式会社
協力	東京大学地震研究所、デル株式会社、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社、大阪大学大学院情報科学研究科、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科、錯視ブロックワークショップグループ、ケイ・インターナショナルスクール東京、一般社団法人 江東区観光協会、法政大学大学院 地域創造システム研究所、江東区文化観光ガイドの会、株式会社 中川ケミカル、株式会社 森木ペーパー、江東区深川江戸資料館、江東区立深川図書館、Coci la elle、smokebooks、オールプレス エスプレッソ、三河屋精米店、大久保クリーニング、ナンディニ、御菓子司 双葉、株式会社 スタートライン
来場者数	10,140人 (MOTスペース+案内所の合計数)
関連プログラム参加人数	806人

【事業趣旨(目的)】

MOTサテライトは、改修工事により休館する現代美術館が、その活動を館の外に拡張し、外部組織とのネットワークを構築するとともに、展示、パフォーマンス、トークなど多彩なプログラムを地域で展開することを目的として実施。なお、現代美術館の改修休館中に開催される第1回から3回目は清澄白河エリアの地域活性化と拠点形成を、リニューアル後は現代美術館での展示と地域での活動・展開を連動させる予定。

【開催状況】

第2回となる「MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景」は、第1回に引き続き、清澄白河エリアを中心とした近隣地域の住民や施設の協力を得ながらアーティストとともに、工場跡地や空きスペース、文化施設、店舗の一部などを用いて、展示やワークショップを展開した。また、新たに上野の東京藝術大学内にも拠点を広げ、フランスのカディスト・アート・ファウンデーションとの連携を図り、異なる地域で活躍する作家を紹介するとともに新たな創造を担う世代の育成を目指して実施した。

(1) MOTスペース

清澄白河エリアの工場跡地や地域拠点などを活用し作品を展示。東京藝術大学内のスペースも会場となった。

開催日	会場	参加作家等	入場者(人)
10/7～11/12	深川資料館通り商店街協同組合事務所1F	下道基行	1,118
	グランチェスター・ハウス2F	東京大学廣瀬・谷川・鳴海研究室 東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト	1,276
	旧喫茶店	のらもじ発見プロジェクト(下浜臨太郎、西村齊輝、若岡伸也)	973
	三好の旧製本所	鎌田友介	1,076
	三好の旧建具屋	Atsuko Nakamura	1,046
	平野の旧印刷所	守章	905
	東京藝術大学 アーツ・アンド・サイエンス・ラボ	エリック・ボードレール、ユリアス・コラー、ミリアム・レフコウィツ、ウェンデルリン・ファン・オルデンボルフ、富井大裕	2,293
	計	8,687	

(2) MOTスポット

商店街等を利用した小規模展示を9か所で行った。

開催日	会場	参加作家等
10/7～11/12	オールプレス エスプレッソ、ナンディニ、大久保クリーニング、smokebooks、御菓子司 双葉、株式会社 スタートライン、Coci la elle(コシラエル本店)、三河屋さんの米置き場、江東区立深川図書館	石塚まこ

※ 各スポットにより定休日は異なる。

(3) 関連プログラム

開催日	プログラム名	会場	入場者(人)
8/28	キックオフ・ミーティング	清澄庭園大正記念館	75
10/7	レセプション	清澄庭園大正記念館	150
9/2	下道基行「見えない風景/深川編」ワークショップ	清澄白河エリア	11
10/8	石塚まこ公開制作	MOTスポット	80
10/14	ミリアム・レフコウィッツによる参加型パフォーマンス	清澄白河エリア	7
10/14	参加作家によるアーティストトーク	三好地区集会所	30
10/15	ミリアム・レフコウィッツによる参加型パフォーマンス	清澄白河エリア	9
10/22	Atsuko Nakamuraによるワークショップ「水のプリントに挑戦してみよう！」	前田建具新倉庫	30
10/28	ウェンデルリン・ファン・オルデンボルフによる上映会&トーク	アーツ・アンド・サイエンス・ラボ 球形ホール	25
10/31	ウェンデルリン・ファン・オルデンボルフによるワークショップ	東京藝術大学上野キャンパス 美術学部中央棟第7講義室	18
11/3	ARまちあるきツアー 清澄白河/MOTサテライトをめぐる	清澄白河エリア	14
11/3	錯視ブロックワークショップグループ 「サッカク・ブロック・ワークショップ」	江東区立白河こどもとしょかん	48
11/4	錯視ブロックワークショップグループ 「サッカク・ブロック・ワークショップ」	江東区立白河こどもとしょかん	22
11/4	富井大裕によるイベント「時間の彫刻」	アーツ・アンド・サイエンス・ラボおよびその周辺	40
11/5	パフォーマンス 古川聖・藤井晴行・濱野峻行・小林祐貴 「Architecture dreams Music/建築が夢見る音楽」	龍徳山 光厳教寺 雲光院	43
11/11	下道基行「見えない風景/深川編」ワークショップ	清澄白河エリア	11
10/14~11/12	トーク&まち歩きクルーズ「ガイドとめぐる清澄白河」	清澄白河エリア	193
計			806

【参加者の声】

- ・お散歩しながらスタンプラリーが出来た。更にアートにふれることが出来て楽しかったです。
- ・大変面白い展示をたくさん見ることが出来ました。御案内の方もゆっくり私たちに合わせて説明案内してくださいました。
- ・ガイドさんの説明が分かりやすかった。アートだけではなく、お店にも入ってみたいくなった。
- ・これからどうなるか見てみたい気がするので継続してみたい。まちなかに美術館が出てきた感じは春からあまり変わっていないが（少し変わった？）徐々にまちと美術館が溶け合うようなものが見られたら楽しみになる。
- ・地域との絆を深め、区民に愛される美術館であってください。

18

第10回恵比寿映像祭

【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年2月9日（金）～25日（日）[15日間／13日（火）、19日（月）休館]
主催	東京都、東京都写真美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、日本経済新聞社
共催	サッポロ不動産開発株式会社、公益財団法人日仏会館
後援	オーストラリア大使館、オランダ王国大使館、カナダ大使館、タイ王国大使館、ミャンマー連邦共和国大使館、TBS、J-WAVE 81.3FM
協賛	全日本空輸株式会社、ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター、サッポロビール株式会社、東京都写真美術館支援会員
協力	アンスティチュ・フランセ日本一ヴァイラ九条山、ぴあ株式会社、ドゥービー・カンパニー株式会社、株式会社ロボット
入場者数	77,246人

【事業主旨（目的）】

東京都写真美術館を中心とする恵比寿周辺エリアで、展示、上映、ライブ、シンポジウム、トーク・セッションなど多彩なプログラムによる映像のフェスティバルを開催することにより、映像分野における創造活動の活性化と映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として実施。

【開催状況】

東京都写真美術館をメイン会場に、恵比寿ガーデンプレイス内の施設や日仏会館など複数の会場で、展示・上映・オフサイト展示・ライブイベント・シンポジウム・地域連携プログラム・ガイドツアーなど、多彩なプログラムを展開した。総勢94組のアーティスト・ゲストを25の国と地域から迎え、映像を中心に多様な表現と視点を提示するフェスティバルとなった。

【事業構成】

●展示

開催日	出品作家	会場	料金（円）	入場者（人）
2/9～25	ラファエル・ローゼンダール [オランダ/アメリカ]、ポール・シャリッツ [アメリカ]、ガブリエル・エレラ・トレス [メキシコ/ポーランド]、永田康祐 [日本]、mamoru [日本]、コティングリー・妖精写真および関連資料 [イギリス]、出光真子 [日本]、清野寛子 [日本]、ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエタ [アメリカ/ドイツ、日本/ドイツ]、青柳菜摘 [日本]、ジェームス・リチャーズ [イギリス/ドイツ]、高嶋晋一+中川周 [日本]、横溝静 [日本/イギリス]、ナターシャ・ニジック&墓丸謙 [フランス、日本]、マルティヌ・シムズ [アメリカ]、スッティラット・スパバリヤ [タイ]、エルカン・オズケン [トルコ]	東京都写真美術館 3F, 2F, 1F 展示室	無料	27,961
	SHIMURAbros [日本/ドイツ]	日仏会館ギャラリー		
2/9～18	《つくるということ》（企画制作：関西テレビ放送） [日本]	日仏会館ギャラリー前		

●上映

開催日	プログラム名	会場	料金（円）	入場者（人）
2/9～25	透かしみる 1——ピクセルの裏側	東京都写真美術館 1F ホール	前売：500 当日：1,000	1,617
	透かしみる 2——舞台裏			
	ザ・インヴィジブル・ハンズ——アラブの春とアラン・ビショップ、そしてまた歌が始まる			
	ミディ・ジーが描くミャンマーの労働者			
	不可視であるなら、私が。 出光真子おんなのざくひん			
	ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエタ 関連プログラム			
	レヴ・カルマン&ウィットニー・ホーン 《L for Leisure》			
	ミャンマー・インディ映画の新しい波——ワッタン映画祭セレクション			
	頭の中の声——見えないものとのランデヴー			
	ランデヴー・ウイス・マッドネス映画祭セレクション			
	DigiCon6 ASIA ——ショートムービーから見えてくるアジア			
	岡部道男特集——アンダーグラウンドとキャンプ [16ミリフィルム上映]			
岡部道男特集 上映+スペシャルトーク [16ミリフィルム上映]				
《略称・連続射殺魔》 [35ミリフィルム上映]				

●オフサイト展示

開催日	作品名	出品作家	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/9~25	《予言》	invisible designs lab.	恵比寿ガーデンプレイス センター広場	無料	40,693

●ラウンジトーク

開催日	出品作家	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/9 13:45~14:45	マルティーン・シムズ	東京都写真美術館 2Fロビー	無料	918
2/9 17:15~18:15	ナターシャ・ニジック&葦丸謙			
2/11 13:45~14:45	SHIMURAbros			
2/11 17:15~18:15	ステティラット・スババリンヤ			
2/12 17:15~18:15	ラファエル・ローゼンダール			
2/17 13:45~14:45	【コティングリー妖精写真および関連資料】 井村君江/浜野志保			
2/18 13:45~14:45	永田康祐			
2/18 17:15~18:15	高嶋晋一+中川周			
2/21 17:15~18:15	【地域連携プログラム MA2 Gallery】 松原健/飯沢耕太郎			
2/24 13:45~14:45	青柳菜摘			
2/25 13:45~14:45	invisible designs lab./木ノ下智恵子			

●シンポジウム

開催日	プログラム	パネリスト	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/10	国際シンポジウム 不可視性について	ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ (出品作家、アーティスト)、清恵子 (ゲストプログラマー、キュレーター)、白石嘉治 (フランス文学者) モデレーター: 田坂博子 (恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員)	東京都写真美術館 1Fホール	前売: 350 当日: 600	222
2/10	【コラボラティブ・カタロギング・ジャパン (CCJ) 共催企画】 国際連携シンポジウム タイムベースド・メディアの収集保存—— ニューヨーク近代美術館、アンソロジー・フィルム・アーカイヴス、東京都写真美術館の事例から	ジョン・クラックスマン (アンソロジー・フィルム・アーカイヴス・アーキヴィスト)、ピーター・オレクシク (ニューヨーク近代美術館アソシエイト・メディアコンサバター)、田中信至 (映像音響技術者) 司会: 足立アン (コラボラティブ・カタロギング・ジャパン・ディレクター) モデレーター: 田坂博子 (恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員)			
2/15	【日仏会館共催企画】 映像のヴィジブル/インヴィジブル——8K映像の可能性	落合淳 (NHK制作局8K制作事務局チーフ・プロデューサー)、三浦篤 (東京大学教授、日仏会館学術委員)、矢野数馬 (関西テレビ制作技術局制作技術センター専任部次長)、原田大三郎 (映像作家、多摩美術大学情報デザイン学科教授) 司会: 遠藤みゆき (恵比寿映像祭アシスタント・キュレーター、東京都写真美術館学芸員)	日仏会館ホール		

●ライブ・イベント

開催日	プログラム	出演	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/23	mamoru ライヴ・パフォーマンス: あり得た (る) かもしれないその歴史を聴き取ろうとし続けるある種の長い旅路、特に日本人やオランダ人その他もろもろに関して	mamoru, So Oishi, 河合真人、チュン・チーイー (鍾繼儀)	ザ・ガーデンルーム	前売: 1,500 当日: 2,000	289
2/24	エクスパンデッド・シネマ・パフォーマンス: Beyond the Frame	ポール・シャリッツ、宮井陸郎、大城真、平沢剛			

●地域発信プロジェクト

開催日	プログラム	出演	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/14	「YEBIZO MEETS」Ⅰ 特別セッション：東京から発信する映画・映像祭の「今」	市山尚三（東京フィルメックスプログラム・ディレクター [東京]）、荒木啓子（PFF/びあフィルムフェスティバル ディレクター [東京]）、東野正剛（ショートショート フィルムフェスティバル & アジア フェスティバル・ディレクター [東京]）	東京都写真美術館1Fスタジオ	無料	94
2/15	「YEBIZO MEETS」Ⅱ 地域発信トーク：NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ 視覚の果て：アーティストが見えない世界をどう描いてきたか	ロジャー・マクドナルド（MAD (Making Art Different) プログラム・ディレクター/AIT 副ディレクター [東京・代官山]）			
2/21	「YEBIZO MEETS」Ⅲ リンクセッション：東京から発信するグラスルーツアートプロジェクトを検証——オルタナティブ・スペースstatements/アサクサの事例から	兼平彦太郎（キュレーター [東京・恵比寿]）、大坂紘一郎（アサクサ代表 [東京]）	東京都写真美術館全フロア	無料	94
2/18、24	「YEBIZO MEETS」Ⅳ 地域連携発信 特別イベント 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ in 恵比寿映像祭	制作：第10回恵比寿映像祭、特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]、視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ			

●地域連携プログラム

開催日	参加施設	会場	入場者 (人)
2/9~25	日仏会館、YEBISU GARDEN CINEMA、伊東建築塾、MA2 Gallery、CAGE GALLERY、Gallery 工房 親、MuCuL、NADiff a/p/a/r/t、G/P gallery、MEM、Galerie LIBRAIRIE 6、AL、AIT、LOKO GALLERY	恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど（14施設）	5,395

●ガイドツアー

開催日	プログラム	会場	料金 (円)	入場者 (人)
2/12、18	フェスティバルの全体像を掴もうツアー	東京都写真美術館全フロア→センター広場→日仏会館ギャラリー	無料	57
2/12、25	Full Festival Tour	東京都写真美術館全フロア→センター広場→日仏会館ギャラリー		
2/21	TOPメイン会場ツアー	東京都写真美術館全フロア		
2/22	TOP Museum Tour: English Version	東京都写真美術館全フロア		

【参加者の声】

- ・アートを見たりシンポジウムで話を聞くことは見えないものを見ようとする行為で楽しかったです。(30代・女性)
- ・ガイドツアーのお陰で映像祭に対する敷居がなくなりました。ありがとうございます。無料イベントも充実していて、これから毎年参加したいと思います。(60代・男性)
- ・アーティストと直接話せるのはすごく勉強になるし、楽しかったです。(30代・男性)
- ・映像作家が他のアーティストとコラボレーションして普段と異なる形でパフォーマンスするのは面白いと思います。(50代・男性)

19

東京芸術祭2017

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年9月22日（金）～12月4日（月）
開催場所	東京芸術劇場、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、池袋西口公園、南池袋公園（ほか）
主催	東京芸術祭組織委員会[アーツカウンシル東京・東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、アジア舞台芸術祭実行委員会]
参加事業	ブリッジ・プログラム、フェスティバル/トーキョー17、東京芸術劇場（芸劇オータムセレクション）、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、APAF-アジア舞台芸術人材育成部門
来場者数	107,770人

- ブリッジ・プログラム 3,036人
- フェスティバル/トーキョー17 49,623人（うち主催プログラム14演目 26,783人）
- 芸劇オータムセレクション 20,268人
- としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム 34,438人
- APAF-アジア舞台芸術人材育成部門 405人

【事業趣旨（目的）】

東京の多彩な文化的特色をもった地域に着目し、それぞれの地域の文化的拠点の活動を支援することによって、芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図る芸術文化拠点形成支援事業として、豊島区池袋を中心として幅広い層のアーティスト、クリエイター、芸術団体が参画、また幅広い層の観客に向けた舞台芸術祭として、〈フェスティバル/トーキョー〉、〈芸劇オータムセレクション〉、〈としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム〉、〈APAF-アジア舞台芸術人材育成部門〉を東京芸術祭として実施する。

【開催状況（主な上演演目）】

フェスティバル/トーキョー17

開催日	会場	プログラム名	作・出演者等
9/30、10/1	南池袋公園	『Toky Toki Saru』	コンセプト・演出：ピチエ・クランチェン
10/7～15	東京芸術劇場シアターイースト、シアターウエスト	『わたしが悲しくないのはあなたが遠いから』	作・演出：柴幸男
10/7～15	シアターグリーン BASE THEATER	『福島を上演する』	作・演出：マレビトの会
10/14～16	池袋HUMAXシネマズ	《十字軍芝居—三部作—》	監督：ワエル・シャウキー
10/27～29	あうるすぽっと	『パレスチナ、イヤーゼロ』	作・演出：イナト・ヴァイツマン
11/3～5	あうるすぽっと	『実験と対話の劇場—新しい人/出来事の演劇—』	参加アーティスト：演劇計画・ふらっと、シラカン、関田育子、玉城大祐 キュレーション：松田正隆
〈アジアシリーズ vol.4 中国特集〉			
10/28、29	スーパー・デラックス	『恋の骨折り損—空愛①場—』	作・演出：スン・シャオシン
11/3、4	スーパー・デラックス	『秋音之夜』	出演：リー・ダイグオ、シャオ・イエンベン、ワン・モン、ノヴァハート
11/10、11	あうるすぽっと	『初利天』	構成・演出・美術：チェン・ティエンジュオ
〈まちなかパフォーマンスシリーズ〉			
10/6～9	PARADISE AIR、FANCLUB	『半七半八（はんしちきどり）』	作・演出：中野成樹 ドラマトウルク：長島確
10/14～11	東京芸術劇場アトリウエスト、あうるすぽっとホワイエ	『アドベンチャーBINGO!!!』	作・演出・出演：福田毅
10/26～29	ゲーテ・インスティテュート東京ドイツ文化センター	『アイ・アム・ノット・フェミニスト!』	作・演出・出演：遠藤麻衣
11/3～12	池袋西口公園、あうるすぽっと会議室B	『Family Regained : The Picnic』	構成・演出・出演：森栄喜
11/12	池袋西口公園	『GORILLA～人間とは何か～』	演出：北川陽子

芸劇オータムセレクション

開催日	会場	プログラム名	作・出演者等
10/17~30	東京芸術劇場プレイハウス	『リチャード三世』	作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：上演台本：シルヴィウ・ブルカレーテ 出演：佐々木蔵之介 ほか
10/20~22	東京芸術劇場シアターウエスト	芸劇dance 『肩書ジャンクション』	振付・演出：井手茂太
10/29~11/19	東京芸術劇場シアターウエスト	『表に出るいっ!』 English version "One Green Bottle"』	脚本・演出・出演：野田秀樹 出演：キャサリン・ハンター、グリーン・ブリチャード
11/3~5	東京芸術劇場プレイハウス	『オセロー』	作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：イヴォ・ヴァン・ホーヴェ 出演：トネールグループ・アムステルダム

としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム

開催日	会場	プログラム名	作・出演者等
9/1~30	池袋近隣16会場	第29回 『池袋演劇祭』	参加：55劇団
9/22~24	あうるすぽっと	『Double Exposure~ダブル・エクスポージャー~』	コンセプト・演出：アン・ソンス、ヴィッレ・ヴァロ 振付：アン・ソンス
10/6~12	あうるすぽっと	『季節が僕たちを連れ去ったあとに』	構成・演出：広田淳一 出演：松島庄汰、石田明 (NON STYLE) ほか
10/22	豊島区役所1階としまセンタースクエア	『大田楽 いけぶくろ絵巻』	構成・演出：野村万蔵 出演：野村万蔵、稲葉明德 ほか

APAFーアジア舞台芸術人材育成部門

開催日	会場	プログラム名	作・出演者等
12/1、2	東京芸術劇場シアターウエスト	国際共同制作ワークショップ上演会（3作品）	脚本・演出：西悟志、チェンクエイ・チャン、ユスティアンシヤ・ルスmana
12/1、3	東京芸術劇場シアターウエスト	『Kiss Kiss Bang Bang 2.0』	演出：ワン・チョン
12/4	東京芸術劇場シンフォニースペース	APAFアートキャンプ・ラップアップ	司会：多田淳之介 登壇：ワークショップ参加者

20

Shibuya StreetDance Week 2017

【事業概要】

開催日	平成29（2017）年 12月3日（日）
会場	代々木公園（野外ステージ・イベント広場・けやき並木）
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） Shibuya StreetDance Week 実行委員会
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	公益財団法人東京都公園協会、一般財団法人渋谷区観光協会、東京商工会議所渋谷支部、商店街振興組合原宿表参道櫓会
協力	国際交流基金アジアセンター、東京急行電鉄株式会社、株式会社ティービーエム、東京ダンス&アクターズ専門学校、En Dance Studio、Studio Mission
企画・制作	株式会社パルコ、ファイブメディット株式会社
制作協力	株式会社アノマリー、株式会社LAST TRAIN GETTER、株式会社ライジングプロダクション
総来場者数	延べ約14,000人

【事業趣旨（目的）】

若者を中心としたクリエイティブな感性や多彩な文化資源が集積する、ストリートダンスの聖地・渋谷のまちを舞台に、ストリートダンスの多様なプログラムを展開することを通じて、ストリートダンスの文化的価値の向上を図るとともに、東京に新たな文化創造拠点を形成することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者（人）
12/3	代々木公園野外ステージ	BLUE STAGE	<ゲストパフォーマー>梅棒、GANMI、東京ポポボーイ <参加団体> 東京ディスコstep倶楽部、昭和30's、プレミア・ケア四谷店、山葉学園～平成10年開校～、音ら鎮-ONLINE-、FOREVER M AND、PRIMA DONNA、東京ダンス&アクターズ専門学校、NPO法人 wa-shoi 親子DEダンス、エンジェライズ <MC> IMAGINE	ストリートダンスを通じて社会活動を行う様々な団体に加え、ストリートダンサーの聖地「SHIBUYA」を拠点として活動するダンサーによる特別ダンスショーケース。	約14,000
	代々木公園野外ステージ	SSDW CONTEST	<出場校> 三田国際学園、神奈川県立大師高等学校、埼玉県立杉戸高等学校、上野学園高等学校、神奈川県立横須賀明光高等学校、東京都立飛鳥高等学校、目黒学院高等学校、東京都立北園高等学校、二松学舎大学付属高等学校、東野高等学校、東京都立光ヶ丘高等学校、東京都立葛飾商業高等学校、北九州市立高等学校、東京都立東村山西高等学校、高木学園女子高等学校、トキワ松学園高等学校、東京都立葛飾総合高等学校、東京都立杉並高等学校、群馬県立安中総合学園高等学校 <審査員> SUN-CHANG 【GANMI】 Miyu 【ONPARADE/Alaventa】 くるみ 【KikiRara】 <MC> IMAGINE	高校生を対象に、柔軟な発想と共同作業が必須となるチーム型のストリートダンスコンテストを通じて、次世代のルーキーの育成・発掘を目的としたSSDW CONTEST（高校生対抗ストリートダンス選手権）。	
	代々木公園イベント広場	BATTLE PARK	<参加者> HIP HOP 56人/POP 15人/LOCK 17人/FREESTYLE 26人 <審査員> 【HIP HOP】 YOSHIO/Takuya 【LOCK】 HANA/Hinoken 【POP】 BROTHER BOMB/yu-ki. ☆ 【FREESTYLE】 SHUHO/KAZANE <MC> まーくん <DJ> HIROKING/satOru/TATSUKI	ジャンル別ソロオーディションを勝ち抜いたダンサーが、4ジャンルからの選抜による当日即席のチームを結成し勝者を決めるSSDWオリジナルルールのダンスバトル。	

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者(人)
12/3	代々木公園イベント広場	LECTURE SPOT	<参加者> JAZZ 80人/HIP HOP 84人/HOUSE & FREESTYLE 100人 <講師> 【JAZZ】 MAIKO/NANAKO 【HIP HOP】 UNO/AKANEN 【HOUSE & FREESTYLE】 TATSUO/YOSHIE	プロダンサーによるダンスレッスンを誰でも無料で受けることができるワークショップ。	約14,000
	代々木公園野外ステージ	DANCE WITH music	<テーマソング> We can't stop the music (DA PUMP) <出演> KENZO LECTURE SPOT参加者 BATTLE PARK 優勝チーム「アルプス」(RUNA、RUA、ひまわり、流唯) SSDW CONTEST 優勝校 (二松学舎大学付属高等学校) <MC> IMAGINE	DANCE DIRECTORのKENZOを中心にSSDWテーマソングの楽曲と振付を考案しオフィシャルサイトおよびSNSにてレクチャー動画を配信。フィナーレを飾る本プログラムは、SSDW CONTESTの優勝校やLECTURE SPOT参加者、BATTLE PARKの優勝者が踊るパートも作り、来場者と一緒に踊るオープンプログラム。	

【参加者の声】

- ・年齢や性別など色々な方々か楽しそうにダンスをしているのを見て、子供の私でもすごく面白かったです。(20歳未満)
- ・高校生の大会が楽しかった。(20歳未満)
- ・無料で誰でも参加でき、とても良いイベントだと思います！(30代・女性)
- ・とても楽しかったです。ダンス初心者やダンスをやったことのない人にも、ダンスを身近に感じられるイベントで良かったです。(30代・女性)
- ・とても明るくアットホームで素敵でした。今後さらに期待。(60代)

21

芸術セレクション

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年5月2日（火）～平成30（2018）年3月6日（火）
会場 東京芸術劇場
主催 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
入場者数 22,147人（受講生を含む）

【事業目的】

若手の人材育成と国際・創造発信を目的として、東京芸術劇場のセレクションにより、若手を中心とした公演や海外の上質な作品を紹介する公演、企画性に富んだプロデュース公演等、様々な舞台芸術作品を上演する。

【開催状況】

公演日（回数）	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金（円）	入場者・参加者（人）
5/2、3（2）	東京芸術劇場 プレイハウス	ローザス『ファーズ-Fase』	振付：アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケル 出演：アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケル、ターレ・ドルヴェン 音楽：スティヴ・ライヒ（録音）	S席：5,500 A席：4,500 高校生割引：1,000 25歳以下（A席）： 3,000	1,654
5/5～7（3）	東京芸術劇場 プレイハウス	ローザス&イクトウス 『時の渦-Vortex Temporum （ヴォルテックス・テンポラム）』	振付：アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケル 出演：ローザス・ダンサーズ 音楽：ジェラルド・グリゼー 演奏：アンサンブル・イクトウス（生演奏）	65歳以上（S席）： 5,000 2作品セット券（S席）： 10,000	1,965
7/21～30（10）	東京芸術劇場 シアターイースト	『気づかいルーシー』	原作：松尾スズキ 脚本・演出：ノゾエ征爾 出演：岸井ゆきの、栗原類 ほか	大人：4,000 高校生以下：1,000 25歳以下：2,000 65歳以上：3,000 子どもセット券（大人1枚、小学生以下のお子様1枚）： 4,000	2,124
7/29、30（2）	東京芸術劇場 プレイハウス	マルタン・ズィメルマン 『Hallo』	コンセプト・演出・デザイン・振付・出演： マルタン・ズィメルマン	一般：4,000 親子セット券（高校生以下対象）：4,500 65歳以上：3,500 25歳以下：2,500 高校生以下：1,000	1,241
8/4～6（3）	東京芸術劇場 シアターウエスト	芸術＋トーク 朗読「東京」第五回	演出：長部聡介 出演：手塚とおる、今井朋彦、志賀廣太郎、高田聖子、渡辺いつけい、中村まこと	一般：3,000 高校生割引：1,000 25歳以下：2,000 65歳以上：2,500	515
12/23～1/14（25）	東京芸術劇場 シアターウエスト	『池袋ウエストゲートパーク SONG & DANCE』	原作：石田衣良（『池袋ウエストゲートパーク』文春文庫刊） 脚本：柴幸男 演出：美術：杉原邦生 振付：北尾亘 作詞：柴幸男、杉原邦生、森翼、RYUICHI（OOPARTZ） 作曲：JUVENILE（OOPARTZ）湯浅篤、齋藤優輝、兼松衆 出演：大野拓朗、矢部昌暉（DISH//）ほか	プレミアムシート： 8,500 一般：7,500 25歳以下：5,000 高校生以下：1,000	6,247
1/7（1）	東京芸術劇場 シアターウエスト	『池袋ウエストゲートパーク SONG & DANCE』スピン オフ企画 芸術＋トーク 異世代作家 リーディング 『自作自演』 <第15回>	出演：石田衣良（作家）、辻村深月（作家） トーク聞き手：徳永京子（演劇ジャーナリスト）	一般：3,000 高校生以下：1,000 25歳以下：2,000 65歳以上：2,500	133
1/13～2/4（26）	東京芸術劇場 シアターイースト	RooTS Vol.05 『秘密の花園』	作：唐十郎 演出：福原充則 出演：寺島しのぶ、柄本佑 ほか	一般：6,500 65歳以上：5,500 25歳以下：3,000 高校生以下：1,000	5,338

公演日(回数)	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金(円)	入場者・参加者(人)
5/30~7/27 (15)	東京芸術劇場 リハーサルルーム ほか	ストリートアーティスト・アカデミー2017	【夏期】 監修：橋本隆雄 講師：ちゅうサン、サンキュー手塚、村松卓矢、我妻恵美子	無料	受講生：23 観覧者：1,505
1/18~3/6 (14)			【冬期】 監修：橋本隆雄 講師：サンキュー手塚、村松卓矢、我妻恵美子、ダメじゃん小出		受講生：23 観覧者：1,321
10/24、25 (2)	東京芸術劇場 リハーサルルームL	特別ワークショップ	講師： ピーター・ポスト&橋本隆雄(10/24)、 ベルナルド・マスイー(10/25)	受講料 10/24：1,000 10/25：2,000	58
合計					22,147人

【参加者の声】

●ローザス『ファーズ-Fase』

・Faseをずっと生で観たかったのでありがとうございます。素晴らしかったです。(30代・女性)

●ローザス&イクトゥス『時の渦-Vortex Temporum (ヴォルテックス・テンポラム)』

・音楽もダンスも素晴らしい！こういう大人のパフォーマンスはとていい。(50代・女性)

●『気づかいルーシー』

・とても楽しかった。大人も子供も楽しめる舞台でした。また観たいです。(40代・女性)

・すごく楽しい劇でした!! ありがとうございます!! 劇中の気づかいが面白かったです。(10代・女性)

●『Hallo』

・こんなパフォーマンスは初めて、ひといきで観てしまいました。楽しかった。(50代・女性)

・あまり演劇に精通していない私でも大満足出来ました。鑑賞者側への気配りもあり、とても面白かったです。(10代・女性)

●『池袋ウエストゲートパーク SONG & DANCE』

・役者さんとの距離が近くて良かった。歌・ダンスが本当にかっこ良かった。(20代・女性)

・会場を上手に使った演出が良く、又ダンスバトルが対立している様子を伝えるのにとても効果的でした。舞台が近くて演者がよく観えて一体感のようなものを感じました。(40代・女性)

●『秘密の花園』

・伝説的作品の福原演出ということで見逃せないと思ってまいりました。結果、大大大収穫でした!!! 良い企画をありがとうございました!! (40代・女性)

・すごい感動しました。もっとずっと見ていたくなるほど吸い込まれました。見に来られて良かったです。ありがとうございました。(10代・女性)

22

TACT/FESTIVAL 2017

【事業概要】

開催期間 平成 29 (2017) 年 5 月 4 日 (木・祝) ~ 7 日 (日)
 会場 東京芸術劇場
 主催 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
 東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
 入場者数 2,676 人

【事業目的】

子供の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の劇団を招聘し、親子で楽しむことのできる上質な舞台公演やパフォーマンスを上演する。

【開催状況】

公演日 (回数)	会場	公演名	料金 (円)	入場者・参加者 (人)
5/4~7 (4)	東京芸術劇場 シアターイースト	シルコ・アエレオ『ピアニスト』	大人：2,000 子供 (高校生以下)：1,000 未就学児：500	749
5/4~7 (4)	東京芸術劇場 シアターウエスト	バリ島の仮面舞踊と影絵芝居 『月と太陽—Eclipse—』	2演目セット券 大人：3,500 子供 (高校生以下)：1,500	727
5/5~7 (3)	東京芸術劇場 ロワー広場	劇団コープス 『祝・20thひつじ増量計画』	無料	1,200
5/4~7	東京芸術劇場 アトリエウエスト	木づかいの国とっとり 『木育広場』	無料	1,200
合計				2,676

【参加者の声】

- 『ピアニスト』
 - ・大変満足で来年も楽しみにしております。(20代・女性)
 - ・子供が大うけでした。(30代・女性)
- 『月と太陽—Eclipse—』
 - ・目の前で演奏を観ることができダンス影絵も大迫力で大変満足できました。日本語でのセリフやワークショップなどサービスもたくさんでとても楽しめました。ありがとうございました。(50代・女性)
 - ・こういうのを初めて観たのですがすごく楽しかったです。影ってかっこいい。見たことない楽器をこんなに間近で見られてすごい経験になりました！私も影で何かしたいな…。(10代・女性)

23

キッズ伝統芸能体験

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年9月24日（日）（開講式：国立能楽堂）～平成30（2018）年3月29日（木）
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]
企画制作・運営	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
制作協力	公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、一般社団法人長唄協会
共催	公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センター）、東村山市教育委員会、（短期プログラムのみ）福生市民会館
協賛	独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	新宿区、（短期プログラムのみ）福生市教育委員会
協力	公益財団法人梅若会、公益社団法人宝生会、公益財団法人日本伝統文化振興財団
参加申込者数	1,220人（長期プログラム1,166人、短期プログラム54人）
参加費	長期プログラム 15,000円（全18回／稽古16回、リハーサル1回、発表会1回） ユースプログラム 15,000円（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回） 短期プログラム 5,000円（稽古6回、リハーサル・発表会1回）
参加者数	399人（長期プログラム273人、ユースプログラム44人、短期プログラム32人、短期プログラム楽器体験コーナー来場50人）
観覧者数	1,685人（発表会 長期プログラム・ユースプログラム1,594人、短期プログラム91人）

【事業趣旨（目的）】

能楽や日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家が、伝統芸能の稽古にふさわしい場で子供たちに直接、定期的継続的に指導し、最後にその成果を舞台上で発表することを通して、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法や厳しさなどの文化環境を学ぶ機会を提供するとともに、子供たちの伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施。

【開催状況】

能楽、日本舞踊、三曲（箏曲・尺八）、長唄（三味線、囃子）の四つの領域で、一流の実演家が数か月にわたり小学生・中学生・高校生の子供たちを直接指導し、その成果をひのき舞台上で発表するとともに、プロである講師による舞台の鑑賞会を実施した。また、より多くの子供たちに機会を提供するため、今年度も引き続き中学生・高校生のみを対象を特化したユースプログラムを実施し、また、地域に密着した夏休み期間中の短期プログラムを実施した。

1. 長期プログラム

4つのジャンル10コースで年齢層に合わせきめ細かいお稽古を16回と、最後にその成果を発表する発表会を実施。

内容	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)	発表会場	発表日	鑑賞者(人)
能楽	謡・仕舞	梅若能楽学院会館	武田宗和、藤波重彦、清水義也、武田文志、坂井音晴、高梨万里	20	宝生能楽堂	3/18	363
	狂言			20			
長唄	三味線(東村山)	東村山市立中央公民館	11/12、19、12/3、10、17、1/14、21、28、2/4、11、18、25、3/4、11、18、25	21	日本橋公会堂	3/28	483
	三味線(渋谷)	杵家会館		49			
	囃子(小鼓・太鼓)		11/5、19、12/3、10、17、1/14、21、28、2/4、11、18、25、3/4、11、18、25	24			
	囃子(篠笛)			16			
三曲	箏曲	新宿文化センター	11/12、26、12/3、10、17、24、1/14、21、28、2/4、11、18、25、3/11、18、25	57	3/29	748	
	尺八	芸能花伝舎		12			
日本舞踊	日本舞踊(女子)		11/19、26、12/3、10、17、24、1/14、21、28、2/4、11、25、3/4、11、18、25	榎口景山、田嶋謙一	42	44	発表会鑑賞者計
	日本舞踊(男子)	12					
計				273	発表会鑑賞者計		※1,594

※発表会は長期プログラムとユースプログラムが同時開催のため鑑賞者数は両プログラムを合わせた数

2. ユースプログラム「伝統芸能☆ミカタ計画」

3コース10回のお稽古で、短期間でも深い理解を目指す中高生向けの特別カリキュラムを実施

内容	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)	発表会場	発表日	鑑賞者(人)
長唄	三味線(ユース)	杵家会館	1/14、21、28、2/4、11、18、3/4、11、18、25	14	日本橋公会堂	3/28	483
三曲	箏曲(ユース)	新宿文化センター	1/14、21、28、2/4、11、18、25、3/11、18、25	14			
日本舞踊	日本舞踊(ユース)	芸能花伝舎	1/14、21、28、2/4、11、25、3/4、11、18、25	16	3/29	748	
計				44	発表会鑑賞者計		※1,594

※発表会は長期プログラムとユースプログラムが同時開催のため鑑賞者数は両プログラムを合わせた数

3. 短期プログラム

長期間・定期の稽古参加が困難な子供たちに向けて、短期プログラムを多摩地域にて実施。

夏休み期間中の約1週間余りで集中的に稽古を受け、最終日に発表会を行うプログラム。発表会当日には、来場者が楽器に触れることのできる「ミニ楽器体験コーナー」を設置した。

【おけいこサマーキャンプ in 福生】

内容		稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)	発表会場	発表日	鑑賞者(人)
お箏コース	箏曲	福生市民会館	7/29~8/4	中小路奈都子、中地麻紀、幸野浩子	20	福生市民会館	8/5	91 (楽器体験コーナー50)
三味線コース	三味線			杵家弥七、今藤政音、今藤美知央、杵家弥七東生、杵屋五三吉都、杵屋五章、吉住小十秀、東音守屋沙弥香、東音横山沙永子	12			

【参加者の声】

●お稽古に参加した子供の声

- ・6日間の短い間だったけど、先生たちのおかげで上手にできた。先生のおけいこが受けられなくなって、とても寂しいです。(短期)
- ・また、こういう機会があれば、必ずやりたいです。(短期)
- ・正座はとても大変だったけど、日本の文化の良さ、素晴らしさを知ることができて、とても良かったです(長期/三味線 女子)
- ・今回の体験をとおして、先生方のすごいところを見せてもらったり、伝統を知ったり、お着物を着せてもらったりして、伝統ってすごくて面白いんだなと思うことができました。(長期/日本舞踊 [ユース] 女子)

●保護者の声

- ・初めて見ましたが、生演奏を聞けるのは良かったです。娘が箏を演奏できて、良い体験をさせてもらいました。(短期)
- ・邦楽の入門編として、バランス良くまとまっていたと思います。ありがとうございました。(短期)
- ・子供たちの発表会を見た後、本物を見せていただいて、迫力があってすごいと思いました。子供の能でも後ろの謡が手を抜いていないところなど、気合が伝わってきました。(長期発表会/宝生能楽堂)
- ・とても子供たちとは思えないほど、素晴らしいものが見られました。子供たちの様々な個性や可能性が見られ、嬉しく思いました。(長期発表会/宝生能楽堂)
- ・短期間でここまで完成できる子供たちに驚くと共に、大変感動致しました。このプログラムに参加させていただいたことは、大人になり社会に出ても「1つの柱」として子供たちの魂の支えになるに違いないなと思いました。先生方に感謝したいです。(長期発表会/日本橋公会堂)
- ・伝統芸能を習う体験、発表できる機会が得られることはやはり素晴らしいと実感しました。また子供に別な芸能を体験させたいと思いました。(長期発表会/日本橋公会堂)

24

パフォーマンスキッズ・トーキョー

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年5月31日（水）～平成30（2018）年3月4日（日）
会場	ホール5か所（世田谷区民会館、東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ、光が丘・IMAホール、調布市せんがわ劇場、武蔵村山市民会館（さくらホール）、公立小中学校14校、児童養護施設2か所、障害児入所施設1か所
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、株式会社世田谷サービス公社（世田谷区民会館開催のみ）
共催	公益財団法人北区文化振興財団（ココキタ開催のみ）、IMAホール（IMAホール開催のみ）、調布市（調布市せんがわ劇場次世代を担う子どもたち育成事業）（調布市せんがわ劇場開催のみ）、武蔵村山市民会館、武蔵村山市教育委員会（武蔵村山市民会館開催のみ）
助成・協力	東京都
後援	世田谷区、世田谷区教育委員会（世田谷区民会館開催のみ）、北区教育委員会（ココキタ開催のみ）
参加費	無料（参加、公演観覧）
参加者数	1,034人
観賞者数	5,987人

【事業趣旨（目的）】

学校や公立ホールへプロのアーティストを派遣し、アートワークショップを展開するとともに、小中学校の子供たちが主役のオリジナル舞台作品の創作を通じて、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を向上させるなどのキャリア教育を図ること、併せて各地域のホールを拠点としたコースも実施することで、地域活性化にも資することを目的に実施。

【開催状況】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロの現代アーティストを、都内の小中学校やホール・文化施設、児童養護施設に派遣。10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくりあげる。最後に発表公演を行い、地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。平成29年度は、5ホール、14小中学校（特別支援学級、島しょ部含む）、2児童養護施設、1障害児入所施設にて開催した。

広報活動の一環として、学校向け事業に関する広報用パンフレットを都内全公立小中学校・特別支援学校1,960校ほか、各教育委員会等へ広く配布した。

平成29年度 パフォーマンスキッズ・トーキョー実績一覧

会場名	所在地	アーティスト	開催日	日数	参加者 (人)	発表公演タイトル	発表日	鑑賞者 (人)
学校	墨田区立 隅田小学校	墨田区 新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト)	6/5、11/9、 12/15、1/15、 2/1、5、7	7	74	『からだのパフォーマンス！5年生発表会』	2/7	85
	江東区立 有明小学校	江東区 片岡祐介 (打楽器奏者・即興演奏家)	9/22、10/24、 11/9、21、12/5、 19、1/11、16、 25、28	10	9	『PKTうた』	1/28	15
	豊島区立 朝日小学校	豊島区 田上豊 (劇作家・演出家・田上バル 主宰)	9/5、20、26、 10/5、17、24、 31、11/6、8、9	10	27	『「新」桃太郎』	11/10、 11	590
	板橋区立 板橋第七小学 校	板橋区 梶原竜也 (振付家・ダンサー)	9/12、19、28、 10/3、17、24、 11/6、14、16、 17、18 ※9/14他学年体験 WS	11 1	31 151	『やんすけとやんすけとや んすけと』	11/17、 18	750
	江戸川区立 平井西小学校	江戸川区 上村なおか (振付家・ダンサー)	9/5、12、19、 10/3、24、31、 11/14、21、24、 25	10	56	『いのちのかたち』	11/24、 25	1,020
	八王子市立 元八王子東小 学校	八王子市 村本すみれ (振付家・演出家・ダンサー)	9/21、10/2、6、 12、19、26、 11/2、8、9、10、 11	11	54	『命のかたち、身体の展示、 世界の色。』	11/10、 11	325

会場名	所在地	アーティスト	開催日	日数	参加者 (人)	発表公演タイトル	発表日	鑑賞者 (人)	
学校	府中市立 府中第三小学校	府中市	楠原竜也 (振付家・ダンサー)	11/30、12/1、 19、22、1/15、 16、22、2/3	8	128	『The Dance Museum ~ 128のこころと身体とア イデア』	2/3	250
	小平市立 小平第五小学校	小平市	田畑真希 (振付家・ダンサー)	12/15、1/10、 17、31、2/15、 19、27、28、3/1	9	104	『ランウェイ!!』	3/1	290
	東村山市立 大岱小学校	東村山市	東山佳永 (踊り手・美術家)	10/11、11/2、 30、12/14、21、 1/10、18、30、 2/8、14	10	9	『詩人たち』	2/14	180
	東村山市立 富士見小学校	東村山市	かえるP (ダンスユニット)	5/31、6/8、15、 21、22、28、 7/5、6	8	68	『スカイとブルーの大冒険』	7/6	50
	練馬区立 旭丘中学校	練馬区	渡辺麻依 (俳優)	9/6、12、19、 26、10/2、10、 17、19、25、27、 28、11/1、16、 17	14	15	『西遊記』	10/28、 11/17	530
	葛飾区立 一之台中学校	葛飾区	青木尚哉 (振付家・ダンサー)	6/21、26、7/3、 10、14、18	6	82	『地球会議～僕らの身体を 使って～』	7/18	50
学校/ 島しょ 部	八丈町立 三原小学校	八丈島	川合ロン (ダンサー)	11/28、1/16、 17、22、23、31、 2/1、6、7、8、9、 11	12	10	『エルコスの祈り』	2/11	350
	三宅村立 三宅中学校	三宅島	長井江里奈 (「山猫団」主宰・演出家・ ダンサー)	6/27、9/6、7、8、 20、21、27、28、 29、10/3、4、5、 6、8	14	31	『時代を踊る』	10/8	300
ホール	世田谷区民会 館	世田谷区	青木尚哉 (振付家・ダンサー)	7/28、29、30、 31、8/4、6、8、9、 10、11	10	48	『木目調/デジタル』	8/11	348
	東京都北区文 化芸術活動拠 点 ココキタ	北区	入手杏奈 (振付家・ダンサー)	8/23、25、27、 29、30、9/2、3、 8、9、10	10	9	『命の夢』	9/9、10	116
	光が丘・IMA ホール	練馬区	伊藤千枝 (振付家・ダンサー)	8/7、8、9、12、 13、14、17、18、 19	9	39	『ナルのね物語』	8/19	235
	調布市せんが わ劇場	調布市	前嶋のの (劇作家・演出家・女優)	7/24、25、26、 27、31、8/1、2、 3、4、5	10	20	『つくって、演じて、動いて、 歌って』	8/4、5	176
	武蔵村山市民 会館 (さくらホー ル)	武蔵村山 市	石坂亥士 (神楽太鼓演奏家・踊るパー カッションニスト)	1/27、2/3、10、 17、18、24、25、 3/3、4	9	19	『からだ喜ぶ Rhythm ツアー!!! ~自分のリス ムを探す旅 ~』	3/4	127
児童養 護施設 等	星美ホーム	北区	新井英夫 (体奏家・ダンスアーティス ト)	10/8、11/5、 12/26、1/6、14、 2/11、24、25	8	15	『ワクワクたのしいドキド キふあひびい!? えーっと… ワークショップの発表 会!』	2/25	20
	東京サレジオ 学園	小平市	森下真樹 (振付家・ダンサー)	9/4、5、11、12、 19、25、10/2、 23、24、11/6、 11	11	17	『サレジオの森のアカデミ ア』	11/11	150
	友愛学園児童 部	青梅市	新井英夫 (体奏家・ダンスアーティス ト)	7/30、8/24、 10/15、11/12、 12/10、1/8、 2/4、12	8	18	『からだを奏でることから 2018』	2/12	30
合計					216	1,034		5,987	

*板橋第七小学校は、9/14に3~6年生と特別支援学級を対象に体験WSを1日実施した。

【参加者の声】

●ホール

・保護者（世田谷区民会館／世田谷区）

帰ってくるといつも大興奮で、やったことを家でやって見せてくれました。普段は、振付を短時間で覚えることがダンスという感じで踊っていた2人は、自分で考えてルールの中で自由に身体を動かすことを楽しんでいました。

・子供（IMAホール／練馬区）

トンネル、動物や物になりきったり、自分で振付を考えてステージで踊ったり歌ったり。みんなと仲良くできて嬉しかったし、一人で家でダンスをやっていたのも楽しかった。初めてばかりだったけど、良い経験したなと思いました。

・観客（調布市せんがわ劇場／調布市）

子供たちの言葉を中心に、世界観が広がり、現実も交差しながらの展開で、温かく面白い舞台でした。

●学校

- ・先生（有明小学校／江東区）

人との関わりや、自分を表現することに大きな課題のあった児童が、音楽の授業の時に、自分から進んで木琴をやりたいと言って鳴らしていたとのこと。（音楽専科の先生から報告を受けた）。彼にとってはとても大きな進歩。ワークショップの成果かなと思う。

- ・子供（朝日小学校／豊島区）

学芸会の練習を教えていただき、ありがとうございました。私は、演劇をやり、思ったことがあります。一つは、チームワークです。チームワークが悪ければ、面白い劇はできないと思いました。厳しく、やさしく教えてくれてありがとうございました。

- ・保護者（板橋第七小学校／板橋区）

素晴らしい発表会だった。生のドラムの演奏にも支えていただいて、子供たちのお芝居やダンスが輝いていた。

●島しょ

- ・先生（三原小学校／八丈島）

あらためて、今回の学芸会の素晴らしい時間（59分55秒）を思い出しています。彼らの持つポテンシャルを120%引き出させていただきました。情けない話ではありますが、2年間一緒にいながら、彼らのもつ未知の力を見せられた気がします。本当に彼らにとって、今回の作品づくりは人生の中の大事な時間になったことと思います。担任としては、ラスト1分半、10人全員の姿を舞台上で見られたことが、この2年間のハイライトです。

- ・子供（三宅中学校／三宅島）

3つのグループに分かれてそれぞれ自由に踊りをつくることは難しかった。みんなで意見を出しながら作品が出来上がっていくのは面白いと思った。

- ・保護者（三宅中学校／三宅島）

昔の校歌がアレンジされてパフォーマンスに使われているのに驚いたのと親しみを感じた。

●児童養護施設

- ・子供（東京サレジオ学園／小平市）

また来て欲しい。

- ・職員（友愛学園児童部／青梅市）

特に重度グループ数人については、何が起るかわからないといった見通しの不安や慣れていない環境や活動で不安になる子がいたのも事実です。しかしそれも回数を重ねるうちにその場にすら居られなかったものがスタッフ皆様の協力で一緒に時間を共有できるようになり、最終的には皆の輪に入り活動できたことなど、私たちは目の当たりにしました。一般的に見れば本当に小さなことかも知れませんが本人の経緯と多様な体験から生まれてくる、まさに芸術家と子どもたちさんがモットーとされている＜子供の潜在能力発揮と伸ばす機会＞の一面を見ることができました。

- ・観客（星美ホーム／北区）

相手の表現をしっかり見ている、間がすごいあって待っている時間もすごいと思った。最後花びらが降ってきて楽しかったです。

25

Museum Start あいうえの

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月1日～平成30（2018）年3月31日
場 所	上野公園内の集積する9つのミュージアム
主 催	東京都、東京都美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学
共 催	上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化開館（五十音順）
参加者数	延べ3,421人 ※学び合いカフェ523人 視察者77人を含む

【事業趣旨（目的）】

「Museum Start あいうえの」は、ミュージアム、大学、行政、市民が手を携え、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業（ラーニング・デザイン・プロジェクト）。さらに、アートを介してコミュニティを育む事業、東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連動させながら、子供と大人がフラットに学び合える環境を創造することを目指して実施。

【開催状況】

1. 【あいうえの学校（学校向けプログラム）】

- ① スペシャル・マンデー・コース：東京都美術館の展覧会会場を、休室日（月曜日）に特別に開室し、授業を行うプログラム。

開催日	展覧会	参加校	参加者（人）
9/11	ポストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクション	江東区立大島第三小学校(小学校6年生)	98
		足立区立足立入谷小学校(小学校5年生)	35
		私立日本聾話学校(中学校1～3年生)	22
9/25		足立区立梅島第一小学校(小学校1年生)	43
		足立区立興本小学校(小学校5年生)	77
		私立明晴学園(年長～小学校6年生)	45
11/13	ゴッホ展 巡りゆく日本の夢	板橋区立板橋第五中学校(中学校1年生)	38
		台東区立松葉小学校(小学校4,5年生+特別支援学級)	56
		足立区立扇小学校(小学校5年生)	53
2/13	ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜	江東区立深川一丁目保育園(年長)	21
		足立区立東加平小学校(小学校3年生)	87
		江戸川区立南小岩第二小学校(小学校3年生)	84
		計 ※	659

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ191人がプログラムに参加

- ② 平日開館コース：東京都美術館の平日開館日に鑑賞授業を行うプログラム。

開催日	参加校	参加者（人）
8/1	足立区立扇中学校(美術部)	15
8/2	都立浅草高等学校、都立足立西高等学校、都立荒川工業高等学校、私立岩倉高等学校(高校1～3年生)	34
8/28	埼玉県吉見町立吉見中学校(美術部)	※1 ー
12/11	文京区立第三中学校(特別支援級)	20
12/19	品川女子学院(美術部)	14
1/30	私立安田学園(美術部)	19
1/31	北区立稲田小学校(小学校6年生)	19
2/1	西東京市立ひばりヶ丘中学校(中学校2年生)	203
3/6	埼玉県立伊奈学園中学校(中学校1年生)	83
	計	※2 407

※1 実施予定だったが、学校の都合によりキャンセル

※2 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ47人がプログラムに参加

- ③ ティーチャーズ・カフェ（先生のための特別研修会）：美術館での授業を検討されている学校の先生を対象にしたプログラム。

開催日	対象	会場	参加者（人）
3/28	美術館での授業を検討されている学校の先生	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム ほか	※ 15

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ17人がプログラムに参加

2. 【あいうえのファミリー（子供と家族向けプログラム）】

① うえの！ふしぎ発見：上野公園のミュージアムを楽しむプログラム。

開催日	プログラム名	会場	参加者（人）
8/10	けんちく部	東京都美術館、国立西洋美術館、東京文化会館	32
9/3	アート&アニマル部	東京都美術館、恩賜上野動物園	36
10/29	アート&サイエンス部	東京都美術館、国立科学博物館、東京藝術大学	19
11/3	ゴッホ部	東京都美術館、東京国立博物館	23
12/17	アーティスト部	東京都美術館、国立国会図書館国際こども図書館	29
3/22	コレクター部	上野の森美術館	17
計			※ 156

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ83人がプログラムに参加

② あいうえの日和：上野公園の9つのミュージアムを楽しく冒険するコツを伝授するファミリー向けプログラム。

開催日	会場	参加者（人）
8/19	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	117
8/20	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	116
11/18	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	96
11/19	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	198
3/17	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	103
3/18	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	103
計		※ 733

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ45人がプログラムに参加

③ インクルーシブ・プログラム ミュージアム・トリップ：上野公園のミュージアムを楽しむオーダーメイドのプログラム。アート・コミュニケータや学芸員、大学の教員が参加者に寄り添い、初めてでも安心してミュージアムを楽しめる。

開催日	参加団体・施設	会場	参加者（人）
7/27	NPO法人キッズドア	東京都美術館、東京藝術大学	16
7/29	NPO法人多文化共生センター東京	東京都美術館	8
8/17	東京恵明学園	東京都美術館、国立科学博物館	7
8/24	クリスマス・ヴィレッジ	東京都美術館、東京藝術大学、東京文化会館	4
10/21	NPO法人音まち計画	東京都美術館、国立西洋美術館、東京文化会館	13
3/25	NPO法人東京養育家庭の会	東京都美術館	8
計			※ 56

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ46人がプログラムに参加

④ あいうえのスペシャル：これまで「あいうえの」プログラムに参加した、子供たちとその家族がふたたび上野の冒険を楽しむ。

開催日	対象	会場	参加者（人）
8/5	あいうえのメンバー（これまで「Museum Start あいうえの」のいずれかのプログラムに参加後、メンバー登録をした小学生～高校生とその家族）	東京都美術館 交流棟2階 アートスタディールーム スタジオ	73
10/8			89
12/10			149
計			311

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ55人がプログラムに参加

【参加者の声】

- ・子供だけでなく親も一緒に楽しみ方を学びました。すべて観たり解説を読む必要はなく、1つ好きなものを見つれるという気持ちで、これからいろんなイベントに足を運びたいと思います。（あいうえの日和）
- ・子供だけで活動をしていたが、とびラーさんの指示にしたがって、活動に参加できていたようで良かったです。親もワークショップに参加し、子供と一緒に活動を行い、最後に作品を見せあうというのも面白い取組みだと思いました。（うえの！ふしぎ発見 アート&アニマル部）
- ・子供たちの発見について、言葉ではなかなか言い表しにくいことも、冒険ノートにまとめることから沢山吸収していることが大人側にもわかって大変良かった。（ミュージアム・トリップ）
- ・生徒が美術館に行くきっかけとなりました。資料集などで見るより迫力があつたという感想を聞き、直に作品を観ることは大切な、と感じました。（スペシャル・マンデー・コース）
- ・一度限りの参加形式ではなく、その後も上野公園や美術館等に足を運べるような仕組みになっており、継続した学習にすることができました。（平日開館コース）

26

子供のための伝統文化・芸能体験事業

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年6月～平成30（2018）年2月
会場	東京都内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校および特別支援学校
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
参加者人数	2,737人

【事業趣旨（目的）】

若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校教育と連携して実施することで、子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れる機会を提供し、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるようにすることを目的に実施。

【開催状況】

学校名	開催日	内容	実施団体（協力）	体験者（人）
江戸川区立鹿骨東小学校	6/7	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	71
足立区立花畑小学校	6/9	箏	公益社団法人日本三曲協会	55
豊島区立明豊中学校	6/13	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	120
東村山市立萩山小学校	6/17	三味線	公益社団法人日本小唄連盟	43
東京都立江東特別支援学校	6/19	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	102
大田区立洗足池小学校	6/22	三味線	一般社団法人長唄協会	36
大田区立馬込第二小学校	6/22	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	77
大田区立大森第一小学校	6/23	茶道	東京都華道茶道連盟	64
町田市立高ヶ坂小学校	6/29	伝統工芸（江戸木版画）	株式会社高橋工房	52
北区立赤羽台西小学校	7/5	箏	公益社団法人日本三曲協会	53
八王子市立恩方第一小学校	7/12	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	50
杉並区立済美養護学校	7/13	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	33
品川区立荏原平塚学園	7/14	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	57
立教女学院小学校	9/5	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	71
豊島区立池袋第三小学校	9/12	茶道	東京都華道茶道連盟	47
江東区立第五大島小学校	9/12	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	62
東京都立南大沢学園	9/13	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	100
中野区立鷺宮小学校	9/14	雅楽	一般社団法人伶楽舎	50
目黒区立下目黒小学校	9/15	雅楽	一般社団法人伶楽舎	53
練馬区立早宮小学校	9/28	伝統工芸（東京手描友禅）	東京都工芸染色協同組合	88
調布市立第一小学校	10/13	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	97
葛飾区立本田小学校	10/17	三味線	公益社団法人日本小唄連盟	52
八王子市立横川小学校	10/19	芸能（糸あやつり）	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	53
北区立第四岩淵小学校	10/19	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	50
板橋区立志村小学校	10/21	雅楽	一般社団法人伶楽舎	57
世田谷区立上北沢小学校	10/24	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	74
府中市立日新小学校	10/24	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	65
東久留米市立第三小学校	10/28	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	51
東村山市立東萩山小学校	11/11	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	103
東大和市立第一小学校	11/24	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	71
大島町立つばき小学校	12/8	三味線	一般社団法人長唄協会	19
世田谷区立芦花小学校	12/9	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	150
西東京市立谷戸小学校	12/21	雅楽	一般社団法人伶楽舎	42
葛飾区立保田しおさい学校	12/21	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	19
東京都立八王子特別支援学校	1/12	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	150
荒川区立大門小学校	1/15	雅楽	一般社団法人伶楽舎	52
国立市立国立第五小学校	1/20	箏	公益社団法人日本三曲協会	60
立川市立新生小学校	1/25	伝統工芸（東京染小紋）	東京都染色工業協同組合	77
八王子市立長沼小学校	1/27	芸能（八王子車人形）	西川古柳座	67
青梅市立河辺小学校	2/1	雅楽	一般社団法人伶楽舎	88
青梅市立友田小学校	2/22	箏	公益社団法人日本三曲協会	56

【参加者の声】

- ・落語は難しいイメージだったけれど、小話を自分でできたので、やろうと思えばできるのだと思いました。(高校生)
- ・堅苦しいイメージだったけれど、本当は面白いと思った。(高校生)
- ・生で音楽を聞けて、先生の踊りも見れたので満足です。(中学生)
- ・セリフが駄洒落のようですごく面白かったです。(高校生)
- ・能はあまり身近ではなかったが、鑑賞してみると今まで知らなかったことなどを知ることができた。(中学生)
- ・伝統芸能は難しいと思っていましたが、面白いと思うようになりました。(高校生)
- ・実際に能を実演して頂き、丁寧に型や言葉の意味を教えて下さったので、能楽についてとても良く知れた。(中学生)
- ・なかなか着る機会のない浴衣を着て、初めて日本舞踊についての勉強ができ、新鮮で楽しかったです。(中学生)

27 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年4月8日（土）～平成30（2018）年3月25日（日）
 会場 東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 助成・協力 東京都
 共催 台東区（日本舞踊プログラム、長唄三味線プログラムのみ）
 鑑賞・体験人数 延べ35,653人

【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信するため、観光拠点等において外国人が伝統文化・芸能を短時間で体験し、理解できる機会を提供することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	内容	実施団体（協力）	料金（円）	鑑賞者（人）※1
4/8～9/30 毎週土曜日計26日	東京都江戸東京博物館	演芸プログラム	演芸（曲芸・紙切り・和妻）の体験および実演の鑑賞	公益社団法人落語芸術協会	無料	12,517 [6,670]
4/9～3/25 毎週日曜日計34日 4/16、5/14、21、 6/18、7/9、16、 30、8/20、9/17、 10/15、11/19、 12/17、31、1/21、 2/18、25、3/18は 除く	浅草文化観光センター	日本舞踊プログラム	浴衣を着て日本舞踊の体験および「藤娘」実演の鑑賞	公益社団法人日本舞踊協会（東京支部城東ブロック）	無料	2,631 [1,671]
通年 月1回 年計12日 4/16、5/14、 6/18、7/16、 8/20、9/17、 10/15、11/19、 12/17 1/21、2/18、3/18		長唄三味線プログラム	長唄メドレー実演の鑑賞後、三味線演奏の体験	一般社団法人長唄協会		851 [505]
通年 月3回程度 年計32日 4/10、17、5/1、8、 15、6/5、12、19、 7/3、10、17、8/7、 21、28、9/4、11、 25、10/2、9、16、 11/6、13、20、 12/4、11、18、 1/8、15、2/5、19、 3/5、12	羽田空港国際線旅客ターミナル	演芸プログラム	演芸（獅子舞・和妻）の練り歩きを行い、5階お祭り広場にて曲芸・和妻の体験および実演の鑑賞	公益社団法人落語芸術協会	無料	18,309 [2,311]
10月～3月 月1回 計6日 10/14、11/10、 12/23、1/6、 2/10、3/3	東京シティアイ (KITTE地下1F)	箏曲プログラム	箏、三味線、尺八の演奏の鑑賞後、箏の演奏体験	公益社団法人日本三曲協会	無料	588 [348]
10/21、22	浜離宮恩賜庭園	華道プログラム※2	講師の見本を基に華道を体験	東京都華道茶道連盟	無料	67 [67]
		江戸指物プログラム	江戸指物の実演、箸づくりを体験	江戸指物協同組合	500	79 [79]
		着物着付けプログラム※3	着物を着て写真撮影	一般財団法人民族衣裳文化普及協会	無料	88 [88]
11/4、5	橋 楽亭(COREDO室町3 3F) harappa日本橋 福徳の森内特設ステージ	歌舞伎プログラム	歌舞伎の歴史の説明、所作の解説。見得・セリフの体験または隈取の実演鑑賞	松竹株式会社	無料	523 [523]
計						35,653 [12,193]

※1 [] 内は体験者数
 ※2 荒天により22日は午後より中止
 ※3 荒天により22日は全日中止

【参加者の声】

●演芸プログラム

- ・このイベントはとても教育的だし、日本文化について学ぶことができた。
- ・英訳があるのが良かった。演者がとても良く、特に子供達が喜んでいて。長すぎずちょうど良い公演時間だった。

●日本舞踊プログラム

- ・私は幸運にも、ここに来て偶然このイベントを見つけました。ただ見るのではなくやってみることで、この日本の親しみやすく楽しい踊りを心から楽しみました。

●長唄三味線プログラム

- ・短い間に三味線の体験ができてとても楽しかった。一緒に体験をした外国人の友人もとても喜んでいました。

●箏曲プログラム

- ・演奏も素晴らしかったですし、なかなか本物の箏に触れる機会もないので楽しかったです。
- ・とても面白いイベントでした！楽器を演奏し、学ぶことができるのはとても価値のある体験です。

●歌舞伎プログラム

- ・面白いイベントでした。私はすでに歌舞伎を見たことがあり、本も沢山読んでいますが、役者と触れ合えたことは私の中で最高の経験でした。ありがとう！
- ・良かった！このイベントを開催してくれてどうもありがとう！

●華道（大茶会）プログラム

- ・華道は通常花代だけでも500円はするのに、無料で体験させていただき、大変ありがたかったです。

●江戸指物（大茶会）プログラム

- ・箸作りは初めての体験でした。親切に教えてもらいMY HASHIができました。気軽に体験できて良い企画だと思います。

28 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

【事業概要】

開催日	平成29（2017）年12月20日（水）、平成30（2018）年1月27日（土）
会場	KFCホール（国際ファッションセンター 両国）、十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成・協力	東京都
参加者人数	延べ620人

【事業趣旨（目的）】

外国人に向けて日本の伝統芸能をわかりやすく鑑賞できる公演を開催するとともに、公演の内容や伝統芸能の理解をより深めることができるよう、芸能体験をセットで実施するなど、東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	公演名	曲目・演目等	体験内容	出演者	制作団体	料金（円）	参加者（人）
12/20	KFCホール（国際ファッションセンター 両国）	江戸糸あやつり人形×落語「人情噺 文七元結」～年の瀬に観る風物落語 ぞ江戸っ子の心意気～	「文七元結」	人形の繰り方の体験、ロビー展示	十二代目結城孫三郎、結城千恵 ほか	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	全席指定 一般2,800 学生1,200	322
1/27	十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）	能「翁」一神々との邂逅	能「翁」「絵馬」	神事体験、バックステージアー	塩津哲生、友枝雄人 ほか	公益財団法人十四世六平太記念財団	全席指定 一般3,000 学生1,500	298
計								620

【参加者の声】

●江戸糸あやつり人形×落語「人情噺 文七元結」

- ・人形を操りつつ、操り師自らもキャラクターを演じる器用さ、巧みさに感激いたしました。（20歳未満・男性）
- ・人形の細かい操り方と、声色に驚いた。このような歴史ある芸を絶やさずに広めていただきたい。（60代・女性）

●能「翁」一神々との邂逅

- ・装束を着た演者を間近で見られたのがとても嬉しかったです。すごくきれいでした。またこういったイベントがあればひ来たいです。ありがとうございました。（30代・女性）
- ・体験プログラムでの精進潔斎の体験、バックヤードの見学など、通常体験できないことが体験できて大変良かった。（60代・男性）
- ・楽しくてワクワクしました。能が600年以上の時間を超えて生き残ってきた意味を感じました。素晴らしい！感動しました。ありがとうございました。（60代・女性）

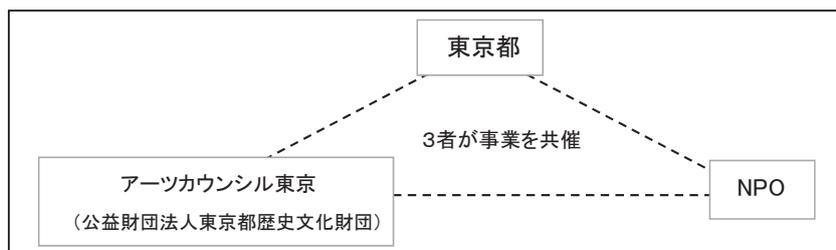
東京アートポイント計画 東京における文化創造拠点の形成

東京アートポイント計画は、地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す事業である。

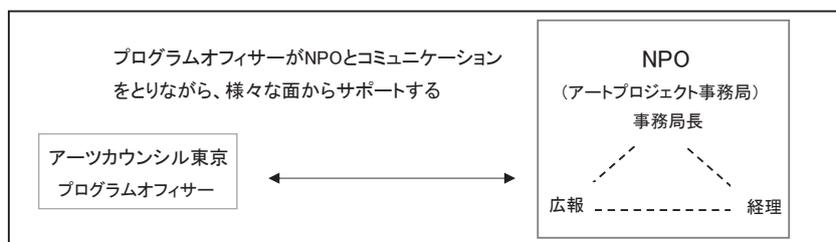
日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクト。東京アートポイント計画では、平成21年度から現在（平成30年3月）までに、NPOを中心に45団体と36件のプロジェクトを共催してきた。本事業で目指すのは、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につながっていくために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備も重視している。

東京アートポイント計画の各アートプロジェクトは、東京都およびアーツカウンシル東京とNPOとの「共催事業」として実施している。費用負担のみならず、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供する点が特徴である。

東京アートポイント計画「共催事業」の実施体制

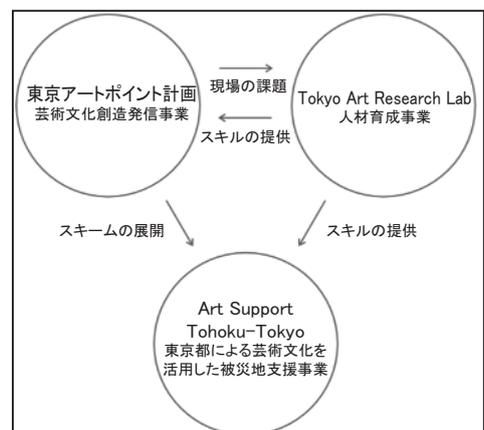


各アートプロジェクトの体制イメージ



東京アートポイント計画は、アーツカウンシル東京の人材育成事業「Tokyo Art Research Lab」と連携し、アートプロジェクトの運営を担う人材を育てる「思考と技術と対話の学校」や、記録や評価手法を研究・開発するプログラムと相互にフィードバックを行っている。また、平成23（2011）年より、「Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）」が始動し、東京アートポイント計画のスキームを東日本大震災の被災地域（岩手県、宮城県、福島県）で展開している。

アーツカウンシル東京におけるアートプロジェクト関連事業での連携



29

TERATOTERA

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	杉並区、武蔵野・多摩エリア
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人Ongoing、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団 [Really Really Free Market]
後援	三鷹市、武蔵野市 [TERATOTERA祭り2017 Neo-political ～わたしたちのまつりごと～] [シンポジウム「西を動かす」]
協力	株式会社リライト、株式会社JR中央ラインモール、HYM（ハモニカ横丁ミタカ）、株式会社まちづくり三鷹、UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）、武蔵野美術大学芸術文化学科
助成	公益財団法人 花王芸術・科学財団、杉並区
入場者数	7,237人

【事業趣旨（目的）】

古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野、多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するための様々なプログラムを展開する。

【開催状況】

（1）Really Really Free Market

モノだけでなく、スキルやエピソードなどを金銭を介さずに交換する1日限りのフリーマーケット。総勢25組の出店者が、武蔵野プレイス前の公園にブースを設け、来場者と、ものやスキルを交換して交流した。

開催日	7月22日
会場	境南ふれあい広場公園
アーティスト	ジェニファー・ティオ、Aokid
説明会参加者数	28人
入場者数	392人

① Really Really Free Market 関連企画

開催日	会場	プログラム名	内容	参加アーティスト	参加者（人）
7/13～30	武蔵野プレイス 1階ギャラリー（～7/28）、3階スペースE ほか	Aokid city meets Musashino Place	アーティストのAokidが、武蔵野プレイス来館者や武蔵野プレイスのスタッフから着想を得て制作した作品を展示した。	Aokid	2,421
7/13～30	武蔵野プレイス 3階スペースE	Tokyo Really Really Free Store	シンガポールでReally Really Free Marketを始動し、隔月で実施しているグループ「Post Museum」の展示を開催。また、Really Really Free Marketを体験出来るコーナーも設置した。	Post-Museum	-
7/17	境南ふれあい広場公園	Aokidの海びらき！～君はもう、泳いでいる～	ブルーシートを海に見立て、水着姿のアーティストが参加者と一緒に海を泳ぐパフォーマンスを屋外で実施。	Aokid	12
7/17	境南ふれあい広場公園	初夏、Aokidとタップリ踊るくと音符ちゃん、むさしのプレイスのうた！	Aokid、シンガーソングライターのよだまりえ、タップダンサーの米澤一平による、音楽ライブ&ダンスパフォーマンス。イベント終盤には、Aokidが制作した「むさしのプレイスのうた」を出演者と来場者が一緒に歌った。	Aokid、よだまりえ（シンガーソングライター）、米澤一平（タップダンサー）	183
7/22	武蔵野プレイス 4階フォーラム	トークショー「コミュニティを築くアートとは」	「Post-Museum」のメンバーであるジェニファー・ティオをゲストに招き、Really Really Free Marketを始めたきっかけやその意図、日本とシンガポールのReally Really Free Marketの違い等について聞くトークイベントを開催した。	ジェニファー・ティオ	60

（2）西荻映像祭2017 —不可分な労働と表現—

新進気鋭のアーティスト7組が西荻窪駅周辺の店舗を舞台に映像作品を発表。今回のテーマは「不可分な労働と表現」。店主独自の審美眼によりセレクトされた商品やサービスから成る空間に着想を得て、作品が展開された。

開催期間 8月23日～27日
 会場 信愛書店 en=gawa、旅の本屋のまど、HATOBA、ハンサム食堂、ピリヤード山崎、フジクリーニ
 ング、高架下空き店舗
 アーティスト 伊阪柊、奥田栄希、田中良佑、土屋萌児、橋本匠、林千歩、東野哲史
 入場者数 392人

(3) パフォーマンス・デー秋のカラダ収穫祭ー

JR東小金井駅高架下の広場にて、1日限りの演劇公演を実施。気鋭の劇団2組によるパフォーマンスで、若いカッ
 プルから親子連れ、お年寄りまで、あらゆる人々が劇中の世界に引き込まれ、会場には驚きと笑い声が響いた。

開催日 10月15日
 会場 コミュニティステーション東小金井
 出演 FAIFAI - 快快-、KPR/開幕ペナントレース
 入場者数 121人

(4) TERATOTERA祭り2017 Neo-political ～わたしたちのまつりごと～

「TERATOTERA 祭り」は、まちなかでのアート展をはじめ、音楽ライブやパフォーマンスなどを盛り込んだ大規
 模展覧会。11月10日～12日の3日間、三鷹駅周辺の空き店舗など8か所を舞台に開催した。今年度のテーマは
 「Neo-political ～わたしたちのまつりごと～」で、現代美術の分野で活躍するアーティストたちが、「政治」とは何か、
 「political」なアート作品とは何かを問いかける来場者参加型の作品を発表した。

開催日	プログラム名	内容	会場	参加アーティスト	参加者(人)
11/10～12	アート展示	三鷹駅周辺の空き店舗、駅周辺広場など8か所に、気鋭のアーティスト10人の作品を展示。テーマの「Neo-political ～わたしたちのまつりごと～」を受け、作家たちは参加型の作品を発表した。	三鷹駅周辺施設、空き店舗など8か所	有賀慎吾、うらあやか、江上賢一郎×Micheal Leung、off-Nibroll、中崎透、二藤建人、村上慧、山城知佳子、山本篤、和田昌宏	3191
11/12	パフォーマンス	三鷹駅北口交番横の広場にて、切腹ピストルズがパフォーマンスを行った。和太鼓、三味線、笛などの和楽器が駅前に響き渡り、来場者もリズムに合わせて体を揺らし、パフォーマンスを盛り上げた。	三鷹駅北口交番横	切腹ピストルズ	約300
11/12	トーク「政治と芸術」	TERATOTERA祭り最終日に開催されたトークイベントでは、参加作家たちがそれぞれの「政治と芸術」について語り合った。	三鷹中央ビル2階	有賀慎吾、うらあやか、江上賢一郎、Micheal Leung、off-Nibroll、二藤建人、村上慧、山城知佳子、山本篤、和田昌宏	36

(5) シンポジウム「西を動かす」

2020年大会およびそれ以降に、東京の西側でTERATOTERAには何ができるのか。「西を動かす」をタイトルに掲げ、TERATOTERAの活動地域以西を舞台に活躍するゲストを招き、トークイベントを行った。

開催日 12月1日
 会場 武蔵野美術大学 9号館5階515教室
 パネリスト 及川賢一 (NPO法人AKITEN代表/八王子市議会議員)、酒井博基 (株式会社モーフィング)、長島剛 (多摩信用金庫 地域連携支援部長)、宮下美穂 (NPO法人アートフル・アクション事務局)
 モデレーター 小川希 (TERATOTERAディレクター)
 入場者数 40人

(6) 人材育成プログラム

①TERAKKO (テラッコ) 屋

TERATOTERAの活動を推進する人材を1年間かけて育成するプログラム。平成29年4月に新たなボランティアスタッフ (TERAKKO) を募集した。月1回開催した『TERAKKO屋』では、プロジェクトに向けて、進捗状況の確認等を行った。記録チーム、広報チーム、Really Really Free Marketチーム、西荻映像祭チームに分かれ、各イベントにおける企画から実施までを実践した。

開催回数 9回
説明会参加者 33人
新規メンバー 10人
コアメンバー 約20人

②（座学編／実践編）「アートプロジェクトの0123（オイッチニーサン）」

「アートプロジェクトの0123」は多種多様なゲストが授業を行うゼミ型の連続講座。美術史を学ぶところからアートプロジェクトの現場の話、アーティストからの赤裸々なトークや美術評論の書き方まで、濃密な内容を学ぶ場となった。

開催期間 6月22日～2月22日 全17回
会場 アーツカウンシル東京 ROOM302
コーディネーター 小川希（TERATOTERAディレクター）
ゲスト いちむらみさこ（アーティスト）、小泉明郎（アーティスト）、山本篤（アーティスト）、ペピン 結構設計（演劇集団）、福住廉（美術評論家）、港千尋（NPO法人Art Bridge Institute代表理事）、窪田研二（インディペンデント・キュレーター）、Minatomachi Art Table, Nagoya（青田真也、野田智子、吉田有里）、相馬千秋（芸術公社代表理事）
受講料 30,000円（学生15,000円）
受講人数 28人

【参加者の声】

● Really Really Free Market

- ・ いろんな出店者やアーティストの方に会えてとても濃厚な一日でした。お金を使わなくても人と繋がれるし、素敵な体験もできる。自分の想像力がくすぐられるイベントでした。毎年開催してほしい。
- ・ シンガポールの実情やコミュニティアートの具体例が聞けて良かった。海外から来たアーティストの考えや企画に触れられるのは貴重。

● 西荻映像祭

- ・ 場所と作品の関係性がとても面白いと思いました。信愛書店のスペースがとても心地良いです。どんどんやってください。

● パフォーマンス・デイ

- ・ 電車の音がBGM、歩行者の人も巻き込むインスタレーション。鮮やか！寒い中素晴らしいパフォーマンスをありがとうございました！無料で見られてすごく助かります。

● TERATOTERA祭り

- ・ 子供と参加させていただきました。子供の創造性をくすぐる感じだったようです。ありがとうございます。在宅地域で現代アート、それも質の高いものを見ることができて、いつも嬉しく思っています。今年のテーマにもとても共感しています。

【発行物】

『TERATOTERA DOCUMENT 2017』

30

小金井アートフル・アクション！

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	小金井市
主催	東京都、小金井市、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人アートフル・アクション
助成	一般財団法人地域創造、文化庁
協賛	ポーランド広報文化センター [Hi-Blood Pressure展]
協力	アダム・ミツケヴィッチ・インスティトゥート [Hi-Blood Pressure展]、「武蔵野から」編集室 [小金井と私 秘かな表現 想起の遠足]、社会福祉法人雲柱社かがわ工房 [まちはみんなのミュージアム かがわ工房編]
入場者数	約1,347人

【事業趣旨（目的）】

市民がアートと出会うことから、日常生活の暮らしの中に新たな発見や自らの潜在能力に可能性を見出すことにより、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくりだすことを目指す。すべての事業を人材育成と位置づけ、市民が主体となった事業推進の体制づくりと創造的な文化政策の提言組織としての成長に向けた事業に取り組む。

【開催状況】

プログラム構成：

(1) 地域で芸術文化活動を行うための基盤整備

今年度は、小金井市立第四小学校、小金井市立緑小学校、小金井市立本町小学校において事業を行った。

開催日	会場	プログラム名	内容	講師、アーティスト	参加者（人）
10/30～11/9	小金井市立第四小学校	「見ないでおぼえましょう」Let's try and remember without looking	「散歩記憶」をテーマに創作しているアーサー・ファンを招き、普段無意識に頼っている「視覚」から離れ、「音」や「におい」や「色」を感じながら校庭を巡り、その記憶を色や形で表現するワークショップを行った。	アーサー・ファン	86
12/5～21	小金井市立緑小学校、浴恩館公園	森の中に風景をつくる	浴恩館公園の森をキャンパスに見たて、自分たちの新しい風景を作るプログラム。グループに分かれ、森の中で遊びながらイメージを膨らませて制作に入った。子供たちは想像を膨らませながら思いきり遊ぶ時間となった。	-	114
12/4～18	小金井市立本町小学校、および学校周辺	「想起の遠足」本町小学校編「なぞってたどって“通学路”」	同じ通学路で通学する子供たちが6年間通った道をたどり、大きな地図を作成した。自分が通ることのない友達の通学路を歩いてみると、普段は気が付かない通学路の表情がたくさん浮かびあがってきた。	アサダワタル	68

(2) 地域の資源を生かしながら、市民それぞれの表現につなげる

①Hi-Blood Pressure展

ポーランドの6人のアーティストが市民参加者とともに作り上げた作品を展示。展示会期中は、ワークショップの最終形の「作品」として置かれるのではなく、観衆と制作者との間のコラボレーションが生まれるように制作を進めた。子供からお年寄りまで、ワークショップへの参加と展示の経験によって、暮らしや日常への新しい眼差しが生み出されることを目指した。

開催期間	7月1日～17日
会場	小金井アートスポットシャトー2F、地下1F
キュレーター	カロール・カチョロフスキ
アーティスト	アンナ・ヨヒメック、アンナ・オルヨフスカ、マルティナ・シチピチョル、クバ・ドンブロフスキ、ドミニカ・オルショヴィ、マテウシュ・ホルプスキ
参加者数	約200人

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
5/27	小金井アートスポットシャトー2F	#Art#painting#polish #nailpolish	ポーランドと日本で集められたマニキュアを使って、シンプルな格子状の抽象的な絵画を描くワークショップ。マルティナは、「日常」や「女性」をテーマとし、幅広い素材を使用した絵画制作を行っている。	マルティナ・シチビ チヨル	30
6/18	小金井アートスポットシャトー2F	exercise for men /男性のための運動	この作品は、男性参加者のみによって制作された。アーティストは、性差について考察したいと考え、彼女が出す指示に基づいて男性参加者たちがプロジェクトを実現した。	ドミニカ・オルショ ヴィ	5
6/25	小金井アートスポットシャトー2F	「I WANNA BE YOUR BEGGAR 私はあなたの乞食に なりたい」	アーティストから集めてくるように指示された品々や、生まれた出来事、自分の中に起こった変化について、参加者で共有しながらインスタレーション作品をつくりあげていくワークショップ。	マテウシュ・ホルプス キ	15
6/28	小金井市立本町小学校	waxwork /蠟細工のワーク ショップ	アーティストが用意した写真の上に子供が着色された蠟を塗った。この素材は写真を歪める一種の珍しいフィルターとして使用される。写真が他の媒体と結びつけられることで伝統的な写真の概念に疑問を付している。	アンナ・オルマフスカ	60
5/20~7/17	小金井アートスポットシャトー2F	photography workshop /写 真を用いたワークショップ	ポーランドと日本のお年寄りを対象とした写真のプロジェクト。それぞれの国のお年寄りに同じトピックを表す写真を撮ってもらい、それにアーティストが分析を加えて展示を行った。	クバ・ドンブロフスキ	20
7/1	小金井アートスポットシャトー2F	Re-vitality. Performative workshops/空間プランニン グのパフォーマンスワーク ショップ	丹下健三の「東京計画」(1960)を参照し、ギャラリーにある窓の形と、丹下の理想的な都市の形の関係を見つめる。アーティストは、窓枠をアーティストティックな動きの空間的な基礎として捉えた。	アンナ・ヨヒメック	40
7/7	小金井アートスポットシャトー2F	鑑賞教室	-	-	60
7/9	小金井アートスポットシャトー2F	公開ミーティング	企画に参加した方やしていない方、参加アーティストなどが集い、今回の企画について感じたことや考えたことを共有する公開ミーティングを行った。	-	17

②小金井と私 秘かな表現 想起の遠足

アーティストのアサダワタルをディレクターに迎え、日常の暮らしの中の発見や気づきを大切に、市民の表現を育む試み。小金井市で生活する市民ひとりひとりの「私」が、暮らしのなかで育まれていったこのまちならではの「記憶」をもとに、市民が様々な「遠足企画」を開催。まちを舞台に様々な遠足を楽しみながら、参加者や観客が小金井のまちの新しい魅力を発見したり、自分の普段の生活をいつもと違う視点で見つめてみたり、自分の興味をもとにまちに染みだしていくアクションを起こすきっかけとなることを目指した。

実施期間 11月17日～19日
 主な会場 小金井市内各所
 参加者数 134人
 参加費 各日500円（3日間通し参加は1,000円）
 説明会参加者数 13人

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト、ゲスト	参加者(人)
11/17	想起のインフォメーションセンター(シャトー1F codolabo)	プレトーク&プレ遠足 「想起の夜遠足」	ハンセン病療養所での取組みを通じて、個人の人暮らしの営みと歴史が孕む力学のはざまを見つめ続けてきた「やさしい美術プロジェクト」ディレクターと本企画のディレクターによるトーク。トーク後は、夜の小金井に移動式屋台で繰り出した。	アサダワタル(文化活動家・アーティスト) 高橋伸行(アーティスト)、やさしい美術プロジェクトディレクター、名古屋造形大学教授)、阿部裕太郎(アートフル・アクションカフェマネージャー)	30
11/18	小金井市内各所	想起の大遠足 一思い出すために歩く小金井市内〇〇〇マイルー	「これまでずっと持ち続けている大切なもの」「なぜかずっと捨てられずに持っているもの」を一品持参し、それを手に語らいながら歩く。参加者同士で持ち物を交換したり、指定のスポットで市民の記憶を聞いたりしながら歩を進めた。	アサダワタル	35

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト、ゲスト	参加者(人)
11/19	想起のインフォメーションセンター、フェスティバルコート、上水会館、ぬくい湯、上之原会館、caféアン、美術の森、くじら山、はげの森カフェ、等	想起の遠足コレクション	小金井市内で様々な記憶の収集・編集にあたってきた市民有志による遠足企画と、市内外からの公募で集まった遠足企画を一堂に開催。数種類のコースに分かれ、遠足案内人とともに市内各地を巡る。	アサダワタル	69

(3) 活動の可視化

活動の意図や内容、成果が広く伝わるような広報活動や記録を作成し、事業への理解と参加を促進することを試みた。活動の可視化の一環として、活動について市民に広報する媒体としてニュースレター「まちはみんなのミュージアム」2号分を発行した。また、活動の成果を広く市民の方々に見てもらうため、今年度実施したプログラムをとりまとめた成果展示を年度末に実施した。

①ニュースレター「まちはみんなのミュージアムだより」の発行

発行日 第3号：2017年11月15日、第4号：2018年3月7日

内容 第3号：特集「小金井と私 秘かな表現 2017年度ツアープログラム 想起の遠足」アサダワタル×荒田詩乃ロングインタビュー

第4号：特集「2017年度学校連携事業」

発行部数 各1,200部

②平成29年度成果展「今まで気づけなかったまちの見えかた ……の地図をえがこう！」

今年度のまちの中で繰り広げられた様々な実践を、まちいっぱい広がる地図をイメージして展示した。いつもと違う発想や方法でまちを見つめ直し、今まで気づけなかった発見や人と人とのつながりが見えてくる展示形態を試みた。

開催期間 3月7日～12日

主な会場 小金井宮地楽器ホール（市民ギャラリー、マルチパーパススペースB）

来場者数 約350人

(4) 活動の成果とりまとめ

これまでの活動の成果のとりまとめとして、市の計画のビジョンに照らしながら、目標の設定の考え方、プログラムの作り方、運営の方法など特色を明快にすると同時に、小学校教諭、ゲストアーティスト、行政担当者、市民、スタッフなど多様な方々にインタビューを実施し、過去5年間の小学校のプロジェクトに関する取りまとめを行った。

(5) 人材育成プログラム

①まちはみんなのミュージアム かがわ工房編

人材育成プログラムの一環として、プログラムの企画、調整、運営など全てを市民スタッフが担い、実施した。表現する喜びや楽しさに、障害の有無はもちろん、年齢も性別も関係ないことを市民と共有することを目的に、市内の生活介護事業所「かがわ工房」のメンバーが作成した作品を、同じまちで暮らす市民が企画から展示までを行った。また、期間中は来場者が参加できる作品や、座談会等も行われた。

開催期間 1月17日～21日

主な会場 小金井アートスポットシャトー2F ギャラリー

来場者数 約120人

【プログラム名】アップデートミュージアム「かがわ工房のみんなとまちをつくろう！」

開催日 1月17日～21日

内容 かがわ工房のメンバーが描いた「まち」の絵に来場者が自由に「私のまち」の絵を描き加える。

会場 小金井アートスポットシャトー2F ギャラリー

【プログラム名】 座談会「まちが“みんなのミュージアム”」

開催日 1月20日

内容 「日々の暮らしの中でひとりひとりがより楽しく表現することが、もっと当たり前になったらいいな！」
ということをテーマに、参加者と座談会を実施した。

会場 小金井アートスポットシャトー2F ギャラリー

ゲスト 渡邊知樹（芸術家）

進行役 正木賢一（東京学芸大学）

参加者数 15人

【参加者の声】

●学校連携事業

・子供たちのアイデアがどんどん膨らんでいったので、僕も調子に乗って手を動かす方に意識が向きすぎていました。状況に応じて、手を止めてでも問いかけをする、一緒に考える時間を持つことが大切かも。大人も試行錯誤。（市民スタッフ）

●Hi-Blood Pressure展

・無造作に手を動かしている中でふっと全体や部分が何かに見えたりとか、時間がたつとまたイメージが変わったり、参加する時間、楽しい時間でした。（ワークショップ参加者）
・作品を見る前にミーティングに参加してしまい、勿体ないことをしてしまったと後悔したのですが、アーティストたちと参加者たちが感じたことを聞きながら見ることができ、理解が深まりました。今回ワークショップ形式でしたが、作品におけるアーティストの立場が、通常と違うのが興味深かったです。（公開ミーティング参加者）

●小金井と私 秘かな表現 想起の遠足

・これまで住んだいろんなまちのことを思い出しました。坂をのぼるまで手を振る母の姿。小学校の音楽室から見た夕日。自転車の練習でケガしただれかの家の塀の角。ザリガニ釣りした貯水池。

●まちはみんなのミュージアム かがわ工房編

・皆さんのいきいきした写真が素敵!! 今日利用者6人の方々に来てました。めったにお絵かきをしない人が大きな紙に絵を描いてくれて感動!!
・ひとつひとつのテーマに楽しく取り組んでるんだらうと思えるのはなんでなんだろう。アイデアあふれる展示、すごく勉強になりました。

31

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	足立区千住地域 ほか
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
協力	足立区立千寿第八小学校、足立区立西新井第二小学校 PTA、おかめひよっとこ元気連、ガーディアンシップ北千住、千住関屋町町会、千住仲町会、千寿リーグ、東京電機大学ロボット・メカトロニクス学科 [Memorial Rebirth]、カトリック梅田教会 [IMM「フィリピンからの、ひとりひとり マキララー知り、会い、踊るー」、タカラ湯、菜の花楽団、魚三商店、タコテ座、千住囃子連中、愛ちゃん、東武鉄道株式会社、仲町竹田、ミリオン通り商店街 [千住タウンレーベル「聴きめぐり千住！」]
協賛	東京藝大×クラウドファンディング「Memorial Rebirth 千住 2017、次世代を担う中学生を育てたい！」参加者 [Memorial Rebirth]
助成	平成29年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業
入場者数	5,776人

【事業趣旨（目的）】

足立区制80周年を契機に、「音」をテーマとした多様なアートプログラムによって、地域のコミュニティ形成を目指すプロジェクト。足立区や東京藝術大学、地域団体との連携で実施する。江戸四宿のひとつとして栄え、現在もその名残をとどめる下町情緒溢れるまちの地域資源と各地域の交流地としての文化の多様性を最大限に活かし、人と人、人と場所、人とアートの様々な「縁」を結び、足立区の魅力を創造発信する。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」

現代アートの手法を用いながら新住民と旧住民を「縁」でつなげるプラットフォームをつくることを目的として実施している「Memorial Rebirth 千住」。今年度も地域のバトンをつなぎ、「大巻電機 K.K」や「ティーンズ楽団」、「音まちビッグバンド」など、複数の「関わりしろ」を持つプログラムを展開した。多様な参加の枠組みを模索しながら、参加者の新しい「縁」を開発するとともに、既存の地域コミュニティを育てることや、地域住民と地域青少年の多世代間の交流の場となることを目指した。また、普段接する機会の少ないアーティストと協働することで、企画の次世代の担い手として、参加する青少年が自ら考え、行動する機会をつくりだすことを目指した。

開催日	会場	プログラム名	内容	出演	参加者（人）
8/27	足立区立西新井第二小学校 校庭	プレ企画 vol.1ふわり◎シャボン玉@西二祭り	Memorial Rebirthとして初めて千住地域を離れ、足立区内の新たな地域に遠征した。足立区立西新井第二小学校の西二祭り、同小学校PTAの主催イベント・宿泊防災訓練にて実施した。西二祭りでは、PTAと大巻電機K.Kのメンバーが協力して当日の運営を担った。	大巻電機 K.K（運営）	220
9/30		プレ企画 vol.2ふわり◎シャボン玉 @西新井第二小学校 宿泊防災訓練		大巻電機 K.K(運営)、音まちビッグバンド	339
9/23（説明会） 10/7 11/4、11	東京藝術大学 千住キャンパス スタジオA ほか	1日だけのティーンズ楽団ワークショップ	足立区内の10代を対象に公募で集った「ティーンズ楽団」。東京藝大の千住キャンパス出身でもある「くるくるチャーミー」を講師に迎え、楽器演奏を行う音楽コースと、パフォーマンスコースとに分かれ、ワークショップを実施した。	くるくるチャーミー [田中文久、富塚絵美、松岡美弥子]	延べ45
10/7、8	荒川河川敷 虹の広場	PRイベント in あだち区民まつり A-Festa 2017	千住地域内のイベントに少数のシャボン玉マシンとともに出張し、本番にむけたPR事業を実施した。		160
11/4	千住四丁目氷川神社	PRイベント in 第2回千住紙ものフェス		音まちビッグバンド	450
11/26	関屋公園	大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2017 関屋」	昼はシャボンおどりを実施。アーティストやティーンズ楽団、音まちビッグバンドが共演した。夜は光と音のパフォーマンス「Teens' Voice Park」を実施。フィールドレコーディングしたまちの音と、ワークショップ参加者の「声」などを素材とした音響作品が発表された。	大巻伸嗣、くるくるチャーミー [大西健太郎、田中文久、富塚絵美、松岡美弥子]、桔梗みずす、栗原荘平、音まちビッグバンド、ティーンズ楽団 ほか	3,211

(2) 野村誠 千住だじゃれ音楽祭

作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々とのコラボレーションを通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。今年度は、昨年度に引き続き、研究会の活動を共有して新たな参加者層の参加を促すプログラムと、タイやインドネシアなどアジア諸国との交流や、足立市場でのコンサート「千住の1010人」など、これまで行ってきた様々な体験のひとつの集大成となるプログラムを実施した。

開催日	会場	プログラム名	内容	出演	参加者(人)
6/3	東綾瀬公園	ワークショップ in しょうぶまつり		だじゃれ音楽研究会	450
8/20	ギャラクシティ 第3音楽室	子ども歌づくりワークショップ	小学生以上を対象にだじゃれ音楽の新曲をつくるワークショップ。イス取りゲームで負けた人がだじゃれを言い、そのだじゃれを使って歌詞をつくった。完成した歌詞にその場で野村が曲をつけ、新曲「ごちそうワクワク」が完成した。	野村誠、だじゃれ音楽研究会	7
8/26	東京藝術大学 千住キャンパス スタジオA ほか	第2回 だじゃれ音楽研究大会	学会の形式に則って、基調講演、分科会、シンポジウムを実施。分科会では、会場を「実践」「工作」「理論」の3つのテーマに分けて全17講座を展開した。また、コンサートや観客を交えた大合奏なども行った。	野村誠、だじゃれ音楽研究会、日本だじゃれ活用協会	42
2/4	東京藝術大学 千住キャンパス 第7ホール	第2回 定期演奏会「かげぎな影絵オペラ」	5年ぶりとなる定期演奏会を開催。第1部はゲストによる小品集、第2部は影絵とだじゃれ音楽メドレー（かげぎな影絵オペラ）、第3部は演奏者全員による大合奏を行った。	野村誠（千住だじゃれ音楽祭監修）、だじゃれ音楽研究会、梅津和時（サクソ&クラリネット）、神谷未穂（ヴァイオリン）、川村巨平斎（影絵）、竹澤悦子（地歌箏曲）、中原雅彦（テノール）	179

(3) イミグレーション・ミュージアム・東京

美術家の岩井成昭が監修を務める「イミグレーション・ミュージアム・東京（以下IMM）」は、地域に暮らす市民が中心となり、外国人の語る日本での経験や疑問を素材にした作品制作を行うことによって、地域における日本人と外国人、そして外国人同士のネットワークを育てていくプロジェクトである。

①「フィリピンからの、ひとりひとり マキララー知り、会い、踊るー」

演出家の阿部初美を招聘し、地域に暮らす外国人の暮らしや彼らの思いをアーティストの視点と手法で作品化した映像展示を、昨年度の反響を受け再演した。作品に関わった在日外国人コミュニティと来場者の間に交流を生み出すことを試みる「フィリパピポ!!」第2弾との2本立てで実施した。

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
5/27	仲町の家	スーパピポ募集説明会	フィリピンのパーティー文化に注目して開催される、様々な人々に開かれたパーティー「フィリパピポ!!」。その開催を支えるメンバーを募集した。		8
7/22~8/7 土日月・祝（全9日間）	仲町の家	映像展示： Their history, to be our story	フィリピンにルーツを持つ方9人がライフヒストリーを語るインタビュー映像を日本家屋の会場内に配した。インスタレーション型の演劇型作品。フィリピンの家庭へのインタビューをもとに作成したレシピブックや住まいの違いをまとめた冊子も展示した。	阿部初美（構成・演出）、富田了平（映像）、日本大学佐藤慎也研究室（会場構成）	178
7/29	東京藝術大学 千住キャンパス 第7ホール	パーティー： フィリパピポ!!	「真夏の海の夢 A Midsummer Ocean's Dream」をテーマに実施。来場者は、フィリピンの方に教わった料理とともに、舞台での音楽やダンスを楽しんだ。地元ミュージシャンやダンサーらによる発表や、中学生が企画したショーなどを行った。		144

②連続勉強会「多文化共生を考える」

多文化共生の考え方を学び直すことを目的に、企画開催と並行して連続勉強会を開催した。IMM参加メンバーたちが自身の疑問点からテーマを設定し、講師選びや交渉にあたり、参加者を募って実施につなげていくことを狙っていた。

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
12/8	仲町の家	イラク文化から見るイスラム教	講師がイスラム圏に滞在していた際の体験や、イスラム教の戒律・宗教、文化の特徴などについて語られた。日本社会でのイスラム教徒の生活や、共生の形についても考えを深めた。	樋口美作（日本ムスリム協会 理事/前会長）	19
12/15	仲町の家	イスラエル文化から見るユダヤ教とキリスト教	25年にわたるイスラエル在住の体験や、ユダヤ教とキリスト教の特徴などをひもといた。講師の子供や孫世代の国籍や宗教の選択肢など身近な例を織り交ぜて語られた。	箕川博一（元杏林大学教授）	15
1/14	仲町の家	チベットから見える仏教文化	チベットは社会的に大きな変化の中にありながら、人々には仏教の思想が根付いている。講師が現地に出逢った様々なエピソードとともに現代のチベットの様子が紹介された。日本とチベットの自然観と相違についても話が及んだ。	弓削田彰子（東洋大学文学部インド哲学科卒）	19

(4) 千住・縁レジデンス

若手アーティストを招聘して、千住ならではの「場」や「人」とのリアルなコミュニケーション（縁）を深めることを目的とした滞在制作プログラム。今年度は、コミュニケーションを作品の主題とする美術家・友政麻理子と、国内外のアートのスペースで音を紡ぐ4ピースバンド、表現（Hyogen）が、それぞれの得意とする手法で千住のまちを見つめた。

①友政麻理子

地域に根ざしたアートプロジェクトを展開する若手アーティストに活動の場を提供した。音まちの活動拠点「仲町の家」を中心とした地域の資源や魅力をリサーチするとともに、仲町の人々との関係を築き、アーティスト独自の視点から発信することを目指した。

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
4月～3月	仲町の家 ほか	アーティスト・イン・レジデンス	まちの人との交流などから地域の情報を収集し、日々の活動やエピソードなどを年間を通じて「仲町の家日記」として記録しSNSで発信した。リサーチから発想を得て「借りたままの本」にまつわる実験的な対話型の読書会も開催した。	友政麻理子	-
2/24	仲町の家	事業報告会 トーク：友政麻理子の見た千住	これまでの作品紹介をはじめ、生活者と滞在者の両面から見えた地域のあらゆる関係性を、記録していた写真などとともて発表した。場内では、友政が以前展示した地域に滞在中の美術作家と行った往復書簡も展示した。	友政麻理子	16

②表現（Hyogen）「茶MUSICA」

仲町の家^{チヤムジカ}の空間にはお茶が似合う、というメンバーのアイデアから、お茶と音楽が同居する場をつくりあげた。「演奏とお茶の時間」では、若手茶人の神崎悠輔を迎えてお茶を淹れてもらいながら、表現の4人がオリジナル楽曲に加え、その場で即興演奏し、点前の流れる仕草に合った音色やリズムから新しいモチーフがうまれた。日本茶の楽しみ方、使用茶器の特徴や窯の話など、音楽とお茶と器とを楽しめる「茶MUSICA」の会となった。

開催日 1月28日、2月10日、11日、17日（各日午前、午後の2回）
 会場 仲町の家
 アーティスト 表現（Hyogen）、神崎悠輔
 料金 1,000円（演奏とお茶の時間）
 入場者数 134人

③地域連携プログラム「表現（Hyogen）×松本一哉 ライブ」

千住で最も古い寺院のひとつ安養院で、千住・縁レジデンスの表現（Hyogen）「茶MUSICA」との連携企画として音楽家・打楽器奏者の松本一哉を迎えて出張ライブを行った。

開催日 2月14日
 会場 安養院
 アーティスト 表現（Hyogen）、松本一哉
 料金 1,500円
 入場者数 34人

(5) アサダワタル「千住タウンレーベル」

千住で生活してきた市井の人々の人生譚（記憶）、千住のまちならではの風景や人間模様につながるエピソード、千住に根つき息づく音楽など、これらすべてをテキスト（文字）だけではなく、「音楽」として編集し、まちなかの拠点を編集室（スタジオ）として、発信・アーカイブしていくプロジェクト。参加者とともに、地域に根ざしたローカルサウンドメディア『音盤千住』のリリースにむけて活動。千住のまちなかで収集された「音」と「記憶」を通して、新たなまちの捉え方を探求することで、地域における「ローカルメディア」の在り方や、CDやレコードといった「サウンドメディア」の可能性を探った。

①音盤千住 レコ発企画「聴きめぐり千住！」

公募で集まった数十人のタウンレコーダー（音の記者）とともにまちを取材し、ポツタを焼く音、市場に響くだみ声など千住地域の様々な音を全13トラック収録し、12インチのLPレコードと8Pの冊子が一体となった『音盤千住 Vol.1 —このまちなかのめいめいの記憶／記録—』（LPレコード／非売品）をリリースした。「聴きめぐり千住！」では、来場者が『音盤千住』を片手に各トラックが収録された場所に赴き、トラック（音作品）を聴き巡るツアー型レコードコンサートを実施。レコードの仕様を模して、SIDE1とSIDE2に収録された音源に合わせ、2回に分けて行った。

開催日 1月21日
 会場 千住地域各所
 アーティスト アサダワタル
 参加者数 106人

(6) 拠点形成事業

平成28年度から本事業で活用している「仲町の家」では、これまで千住・縁レジデンスにおけるアーティストの滞在制作や発表をはじめ、各事業における展示やトーク等の企画実施会場、また、アーティストやボランティアスタッフ、地域住民と事務局がともに活動の計画や作業、ミーティングを重ねるための場として活用してきた。今年度は、将来的な「協創」にむけて、地域内のパートナー団体等とのネットワーク構築に着手するための拠点としても活用を図り、「仲町の家」を活用したパイロットプログラムを年間で全8本実施。トークイベント、映画上映会のほか、茶・音楽・生け花の複合的なパフォーマンス企画、演劇公演など多種多様なプログラムを提案・展開した。

開催日	会場	プログラム名	内容	講師・主催
6/18	仲町の家	「小名木川物語」試写会	江戸以来の歴史が積み重なる深川（江東区の西側地域）を主な舞台とする、自主制作のオリジナル劇映画の上映会を実施。	主催：千住ヤッチャイ大学プロジェクト実行委員会
8/27	仲町の家	「鍵」プレ公演	谷崎潤一郎の小説『鍵』に触発された新しい音楽作品のプロジェクトのプレ公演を実施。昭和の日本を舞台に、妻、夫、娘、恋人という4人の登場人物の視点を、仲町の家の中の4つの部屋でそれぞれ表現した。	主催：フランチェスカ・レ・ロイ（作曲家）
11/23	仲町の家	「知らない路地の映画祭」説明会	平成28年度まで音まちの一環で展開していた「知らない路地の映画祭」の参加者が中心となり、自主的に継続しているプロジェクトのキックオフ。自主映画を制作するプロジェクトのメンバー募集を兼ねた説明会を実施した。	主催：「知らない路地の映画祭」チーム
12/9	仲町の家	お茶の忘年会	「茶MUSICA」にも参加した茶人・神崎悠輔が企画したプログラム。生け花や菓子の盛りつけのパフォーマンス、音楽ライブや茶道の点前など様々な表現が盛り込まれたお茶会を実施。	主催：神崎悠輔
2/12	仲町の家	「知らない路地の映画祭」ナカチョームービー大作戦	「知らない路地の映画祭」開催に向けて、テーマを決めてショートムービーを1日かけてつくるイベントを実施。	主催：「知らない路地の映画祭」チーム
2/13	仲町の家	SF映画「インターステラー」で学ぶ相対性理論超入門	最新の物理学の要素を取り入れたクリストファー・ノーラン監督のSF映画「インターステラー」の内容に沿って物理学の基礎を誰にでもわかりやすく解説する講座を実施。	講師：山崎詩郎（東京工業大学理学院物理学系助教） 主催：千住ヤッチャイ大学プロジェクト実行委員会
2/25	仲町の家	あの千住のポツタが帰ってきた！～影絵とトークで時間を超える～tsu-na-ga-ruのポツタ	音まちの「千住じゃれ音楽祭」や「千住タウンレーベル」に参加しているメンバーによる自主企画。千住の食文化「ポツタ」をテーマとした物語を影絵として上演した。	主催：東京藝術大学多様性をつなぐ「アートコミュニケーション・クリエイタ」育成事業 企画：Bon Numatta
3/27～31 全6回公演	仲町の家	rooms 2	東京藝術大学音楽環境創造科卒業生らによる企画。ノルウェーの劇作家ヨーン・フォッセによる『ひそかな暮らし』のテキストを題材にした2人の対話劇を実施した。	主催：伊藤優里

【参加者の声】

●大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2017 関屋」

- ・関屋町に来てくださったので参加できました。踊りもあり、娘と楽しめました。（「昼の部」来場者）
- ・前は中学生とともに演奏したが、今回はティーンズ楽団もできたし若い子たちと深く関わることができた。ティーンズがいたからリラックスして自由に演奏できたと思う。毎年参加するのが自分にとっての行事になっているのでまた次回も参加します。（音まちビッグバンド参加者／60代）

●野村誠 千住だじゃれ音楽祭 第2回定期演奏会「かげきな影絵オペラ」

- ・このように笑顔溢れる実験音楽を扱ったイベントは初めて観ました。ユートピアのように感じました。続いていくと良いと思いました。（30代／女性／都内）
- ・千住が表現したい人が表現できるまちで、それを見たい・聞きたい人々がいるまちで本当に良かったなと心から思いました。とっても楽しかったです。（30代／女性／足立区）

●イミグレーション・ミュージアム・東京

- ・異文化交流という身構えてしまうけれどそういうことがなかった。（「映像展示」来場者）
- ・映像展示の出演者の方が、パーティーにも参加されていて驚きました。シリアスな映像展示とは対称的に、パーティーはとてもアットホームで出演者の方々の明るく前向きな姿に感動しました。そして単純に楽しかったです。ベトナムの方のラップにも衝撃を受け、ほんの少しの時間でしたか、今まで知らなかった現実に触れることができ、貴重な時間でした。また、足立区が地域と連携して様々な取り組みをされていて、素晴らしいと思いました。（「フィリパピポ!!」来場者）

●千住・縁レジデンス 表現 (Hyogen)「茶MUSICA」

- ・お茶を飲む瞬間、音の力でお茶の味から空や大地や伸びる枝葉が連想されてとても心地良かったです。（40代／男性／都内）

●アサダワタル 千住タウンレーベル「聴きめぐり千住！」

- ・これから（千住に）引っ越す自分たちにとって、素晴らしいイベントでした。ありがとうございました。（20代／男性／都内）

32

トッピングイースト

【事業概要】

開催期間	平成29(2017)年4月～平成30(2018)年3月
会場	トッピングイースト、回向院、-両国-江戸NOREN、ギャラリーX(カイ)、すみだトリフォニーホール、摂社若宮牛嶋神社 社務所、さくら橋コミュニティセンター、外手児童館、東京ビッグサイト
主催	東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人トッピングイースト
後援	墨田区教育委員会、一般社団法人 墨田区観光協会
協力	陸奥部屋、すみだトリフォニーホール、株式会社ルネサンス、摂社若宮牛嶋神社、CINRA.NET、WISE OWL HOSTELS TOKYO、染谷商店、リトルエチオピアレストラン、ヴェジハーブサーガ、墨田区社会福祉会館、日本オープンバイブル教団墨田聖書教会、東京都慰霊堂
協賛	東京東信用金庫、回向院、J:COMすみだ・台東、-両国-江戸NOREN、国技館通り商店会
参加者数	2,978人

【事業趣旨(目的)】

多様な参加型音楽プログラムを用いて、墨田区を中心とした地域住民が交流できる場をうみだし、その活動を東京都全域へ広げていくことを目的としたプロジェクト。音楽を単に「鑑賞」するだけではなく、当事者として積極的に関わることでできる仕組みを検討し、実践していく。今年度は、主に3つのプログラムを展開し、様々な切り口から音楽に関わるプログラムを実施した。

【開催状況】

プログラム構成：

(1) ほくさい音楽博

世界に名を轟かせた葛飾北斎へ尊敬の念を込めて、彼の生誕地でもある墨田区周辺地域を拠点として、子供たちに世界中の響きの美しい楽器に触れてもらい、練習を重ね、発表会を行うプログラム。音楽を媒介に地域と子供との接点を生み出し、従来型の音楽教室とは異なる、地域が見守り、応援する、新しい音楽プログラムの在り方を提示した。

①練習会「ほくさい音楽博」

墨田区および東京都地域の小学生を対象に、各音楽プログラム参加者の事前公募を行い、発表会に向けた練習を実施した。

募集期間 10月1日～22日

練習期間 12月3日～2月12日

参加費 5,000円

会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
トッピングイースト、すみだトリフォニーホール練習室、摂社若宮牛嶋神社 社務所、さくら橋コミュニティセンター	プログラムA スティールパン	ドラム缶を逆さまにして音が鳴るようにした、カリブ海に浮かぶ島トリニダード・トバゴ共和国で生まれたドラム缶楽器。日本の第一人者ともいえる原田芳宏の指導の下、スティールパン・チームを結成。	原田芳宏	26
	プログラムB 義太夫	文楽や歌舞伎の音楽としても知られており、300年以上の歴史を持つ日本の伝統芸能「義太夫」を、女流義太夫の竹本京之助と鶴澤弥々が指導。発表会では義太夫特有の衣装を着て舞台に臨んだ。	竹本京之助(義太夫)、鶴澤弥々(義太夫三味線)	15
	プログラムC ガムラン(楽器/舞踊)	1万3千もの島々からなる東南アジアのインドネシアで生まれた音楽「ガムラン」。インドネシアから本場の講師を迎え、楽器と踊りとが合わさって作り出すひとつの物語の世界に子供達が挑戦した。	鳥居誠(楽器)、ニョマン・スタルサナ(舞踊)	16

②「ほくさい音楽博」ガムラン体験会

「ほくさい音楽博」へ参加する小学生の二次募集に際して、小学生を対象としたガムランの楽器体験会を行った。

開催日 12月10日
 会場 外手児童館、さくら橋コミュニティセンター
 ゲスト 鳥居誠（ガムラン）
 参加者数 50人

③発表会「ほくさい音楽博」

公募プログラムに参加した子供達の発表会<応援しよう>をメインに、当日来場者が気軽に参加できるものづくりや世界の音楽や楽器の各種体験会などの<やってみよう>で構成する音楽博覧会を開催。

開催日 2月18日
 会場 回向院、-両国-江戸NOREN、ギャラリーX（カイ）
 ゲスト 原田芳宏（スティールパン）、竹本京之助（義太夫）、鶴澤弥々（義太夫三味線）、鳥居誠（ガムラン／楽器）、ニョマン・スダルサナ（ガムラン／舞踊）、浦風富道（相撲体操・相撲甚句）、久保田ガズ誠（ウクレレ）、アダチ正芳（サンバ）、志人（詩人）、丸一小助・小時（太神楽）、山田庄子（河内音頭）、竹内公啓（家紋作り体験）、石黒宇宙（新聞記者体験）、紙工房 堂地堂（ノート作り体験）、おといろ園藝舎（楽器作り体験）
 参加者数 1,963人

④みまもり隊

「みまもり隊」は、ほくさい音楽博が「地域が見守り、応援する」新しい音楽プログラムとして根差していくことを目指すため、本事業を様々な形で応援できるサポーター制度。1日から参加でき、世界の音楽に触れる体験会や、発表会用の衣装や装飾品などの制作をする「活動室」、当日スタッフなど様々な関わり方を提案した。

開催日 1月7日～2月17日の毎週末、および3月4日
 会場 トッピングイースト、みどりコミュニティセンター
 参加者数 105人

(2)「BLOOMING EAST」

BLOOMING EASTは、風情風流・粋色気の息づく隅田川を背骨とした東京の東側において、音楽家・地域住民・学生らが協働しながらリサーチから実験、検証を行い、種をまくように水をやるように、様々な場へ「音の花」を咲かせていくプロジェクト。

①勉強会「OUR MUSIC」

公共と音の可能性を模索し、丁寧に考えを巡らせていく場として「勉強会」を実施した。音と音楽の違いやそもそも公共空間に音は必要か?といったことなどを、参加者とともに考えた。

開催日 12月23日、1月20日、2月24日、3月11日
 会場 トッピングイースト
 参加者数 15人

②アーティストとの調査

様々な取り組みをしている音楽家と「公共空間における音の可能性」について対話を重ねた。その中で生まれてきた彼らの独自の視点から「東東京」の場の記憶や歴史と紐づき、土地の空気を取り込みながら、彼らとともに調査を開始。その最初の対話や調査の様子はカルチャーニュースサイトCINRA.NETにて掲載した。

開催日	会場	内容	出演
2/14	WISE OWL HOSTELS TOKYO、染谷商店、リトルエチオピアレストラン、ヴェジハーブサーガ	東東京にいる異国の人々を訪ね、彼らの生活や日本へ来た理由などを調査した。	コムアイ(水曜日のカンパネラ)
2/22	東京都慰霊堂、墨田区社会福祉会館、日本オープンバイブル教団墨田聖書教会	東東京の過去を探りながら、戦前、戦後の東東京を中心に調査した。	寺尾紗穂

(3)「東京Orchest-Lab レジデンス」

アーティストの和田永が、あらゆる人を巻き込みながら古い電化製品を使ってオリジナルな楽器を産み出し、オーケストラを形づくっていく和田永「エレクトロニクス・ファンタスティコス!」。平成27年に始動したプロジェクトチーム「東京Orchest-Lab」では、プログラミングや基板製作、楽器演奏など、多様な人々が実験と実践を行っている。今年度はチームの恒常的な活動として、新たな楽器制作を中心に展開する中で、活動のプロセスを即時的に公開し、プロジェクトの普及に努めた。

①東京ニコス体験会

新たな東京Orchest-Labメンバーの募集イベントとして開催。イベント当日はこれまで制作した楽器のデモンストレーションおよび体験に加え、東京Orchest-Labの活動内容を紹介した。

開催期間 6月3日

会場 トッピングイースト

参加人数 29人

②Maker Faire Tokyo 2017 出展

和田永や、東京Orchest-Labメンバーらが開発したオリジナル楽器を「Maker Faire Tokyo 2017」にて出展。来場者に向けて体験会やデモンストレーションを行った。

開催日 8月5日、6日

会場 東京ビッグサイト

参加人数 759人

③東京Orchest-Lab 活動日

「東京Orchest-Lab レジデンス」を実施するにあたり活動日を設け、楽器制作やミーティングなどを定期的に実施。活動の様子は「エレクトロニクス・ファンタスティコス!」Facebookページを利用し、即時的にレポートを公開し、活動の情報発信に努めた。

開催日 4月2日、5月3日、20日、6月18日、7月22日、23日、29日、30日、8月19日、9月3日、9日、10日、17日、10月1日、9日、15日、12月9日、1月20日、3月10日

会場 トッピングイースト

【参加者の声】

●ほくさい音楽博

- ・初めて見た楽器を実際に演奏することができて、とても貴重な体験ができました。教えてくださる方もたくさんいて、細かくご指導頂きました。子供もとても楽しそうに演奏していました。ありがとうございました。(参加小学生の保護者)
- ・(子供にとって) 自信になったようです。もう練習がないことを寂しがっていました。また参加したいです。(参加小学生の保護者)
- ・合奏の、大勢で作りに上げる楽しさを体験してもらいたいと思い、応募しました。また、学校で習ったりテレビ等で見聴きする、いわゆる西洋音階の音楽だけが全てではなく、世の中には多種多様な音楽が存在しているということ、娘に少しでも感じ取ってもらえたらいいなあとと思っています。(参加小学生の保護者)
- ・昨年、一昨年と活動に参加する事で皆で協力し、ひとつのものをカタチにしていくことを学びました。人への思いやりだったり、責任感も同時に培われていると思います。小学校生活最後の年に「やりきった!」とカタチに残す事で、その後の中学生生活への自信や希望に繋がると思い応募しました。(参加小学生)

33

リライトプロジェクト

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前、港区立筭小学校、アーツカウンシル東京 ROOM302、PUBULICUS、100BANCH
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人インビジブル
協力	株式会社テレビ朝日、森ビル株式会社、みやちよう、スターバックス・コーヒー TSUTAYA TOKYO ROPPONGI店、MEDIA AMBITION TOKYO、港区立筭小学校
入場者数	305人

【事業趣旨（目的）】

3.11に対する思いや記憶が移り変わる中、人々の心に問いと気付きを生み出すシンボルとして、平成23年3月13日に消灯したパブリックアート作品《Counter Void》を再点灯させると同時に、未来の生き方や人間のあり方を考えるプラットフォームをつくりだす事業。今年度は、イベントや人材育成プログラムの実施に加えて、教材開発や、プロジェクトの取組を事例としたシンポジウムの開催、記録集の発行などを行った。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）Relight Days

宮島達男のパブリックアート作品《Counter Void》を再点灯する3日間限りのイベントとして開催。初日は、《Counter Void》の再点灯や、Relight Committee 2017メンバーが自身のActionとして企画したワークショップとトークイベントなどを開催した。《Counter Void》付近には昨年度同様「Counter Counter」を設置し、来場者のインフォメーションブースとなるよう運営した。「Counter Counter」では、プロジェクトブック『Ways to End Public Art by Relight Project』の配布も行った。

開催期間 3月11日～13日

会場 六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前

参加者数 3/11 再点灯イベント：70人

3/12 地域連携イベント：100人

※点灯による作品鑑賞者数はパブリックアートのため不明

①Relight Days関連プログラム 港区立筭小学校との連携

小学校の全校朝礼会で同小学校図工教諭・江原貴美子先生から東日本大震災に関する講話があり、リライトプロジェクトについての紹介のあと「花は咲く」が合唱された。その後、平成27年度にリライトプロジェクトが同小学校にて行ったワークショップに参加した児童のクラスを事務局スタッフが訪れ、3年間の感謝を伝えた。また、3月12日には4年生の児童が《Counter Void》を作品鑑賞に訪れ、作者の宮島達男と交流を行った。さらに、今年度は児童からの感想発表の後、トーンチャイムで「いのちの音」を演奏する時間が持たれ、Relight Committee 2017メンバー江口恭代が児童とともに「花は咲く」を合唱した。

開催日 3月5日、12日

会場 港区立筭小学校、六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前

（2）Relight Committee

社会彫刻家の輩出を目的とした少人数制の市民大学。実践的な力を身につけ、アートの持つ可能性を知り、自らの領域を切り開く力を育む人を育成する市民大学という学びの場を形成した。アートのジャンルにとらわれず、国内外からアートと社会に紐づく事例を活用したレクチャーの開催や、「社会彫刻家」を招き各々の活動・経歴を紹介するトーク、多角的なディスカッション・学び合いの場を組み込んだプログラムを展開することによって、受講生が主体となったプロジェクト「Relight Action」を実践した。

開催日	7月29日、8月26日、9月16日、10月14日、11月18日、12月16日、1月21日、2月18日、3月17日（11月と3月は公開講座）
会場	アーツカウンシル東京ROOM302、PUBULICUS
ファシリテーター	菊池宏子（アーティスト/NPO法人インビジブル クリエイティブ・ディレクター）、林曉甫（NPO法人インビジブル 理事長/マネージング・ディレクター）、江口晋太郎（編集者/ジャーナリスト）
受講料	50,000円
説明会参加者数	24人
受講人数	10人

① Relight Committee 2017 公開講座

開催日	会場	内容	登壇者	参加費	参加者（人）
11/18	アーツカウンシル東京ROOM302	「コミュニティ」をテーマに二宮圭一をゲストに招き、二宮が監督したドキュメンタリー映画『日常～めぶき園を訪ねて～』の上映を行った。	二宮圭一（アーティスト）	無料	17人
3/17	アーツカウンシル東京ROOM302	Relight Committee 2017 メンバーが自身で企画したこれまでの活動を振り返る座談会と、各自のActionの報告を行った。		1,000円	15人

(3) 教材開発

これまで「社会彫刻家」の育成を進めていく中で、活用したい文献や資料の多くが日本語化されていないことや、創造力/想像力を育むために物理的な資料の必要性を認識したため、それらをまとめた「社会彫刻家」育成に利用する教材開発に着手した。

(4) PR

Relight Committeeの基本的な考え方を英訳したことで、その目的や意図、育成を目指す人物像を英語で紹介できるようになり、事業の価値観をより多くの人に届けることが可能になった。また、今年度はRelight Committee受講生募集のためのPR動画を作成した。これまでの受講生4人とファシリテーターの菊池が出演し、Relight Committeeがそれぞれにとってどんな場所だったのか、どのような学びと成長があったのかをそれぞれの言葉で語った。

(5) Relight Symposium

リライトプロジェクトのこれまでの活動を踏まえ、パブリックアートの再活用を切り口としながら、アートへの期待とアートの活用方法を考察する国際シンポジウム「Relight Symposium 2017 都市とアート/思考と実践」を開催した。基調講演では、アメリカよりクリエイティブ・プレイスメイキングの第一人者であるジェイソン・シューバックをゲストに招き、クリエイティブ・プレイスメイキングの理念・手法や実践事例を紹介した。なお、このシンポジウムは、クリエイティブ・プレイスメイキングについて本格的に言及した日本で初めての試みであった。

開催日 12月17日

会場 100BANCH

登壇者 宮島達男（現代美術家）、ジェイソン・シューバック（アリゾナ州立ヘルベルガーデザイン&アート大学ディレクター）、帆足亜紀（アート・コーディネーター/横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー）、綿江彰禪（一般社団法人 芸術と創造 代表理事）、菊池宏子、林曉甫

参加者数 69人

【参加者の声】

● 港区立筈小学校の声

・ 今日、リライトプロジェクトを見て、東日本大震災のころ私は、まだ2、3才だったのでよく覚えてはいませんが、今日リライトプロジェクトのみなさんや、宮島達男さんの話を聞いて、私は、これからも東日本大震災のことを忘れないで、一年生たちにも、もっと知ってもらいたいと思いました。数字を見てて、見えないところもあったので、できたら夜に見に行ってみて、今日のことを家族にいっぱい話します。

・ 僕はこのプロジェクトを見て「花は咲く」を歌うと、いつもとは違う気持ちになりました。その気持ちというのは寂しい気持ちや、何かをしたいという気持ちが心にあふれてきました。だから、僕がその時思ったのは、プロジェ

クトを作る人は「気持ちが届いてほしい。」などと、言うけど現実的に届かないと思っていましたが、このプロジェクトをきっかけに、とても伝わってきて、プロジェクトというのは、とても意味のあることで、人間の心をつかめるととてもいい支援ということが僕はわかりました。ありがとうございました。

●Relight Committee

- ・月一でしか会えないメンバーになかなか慣れることができなかつたけれど、みんなで集まり話していくなかで多様な考えを知れることがとても楽しかった。また、RCで話したことを知人と共有し、また違う考え方を蓄積させることもできた。

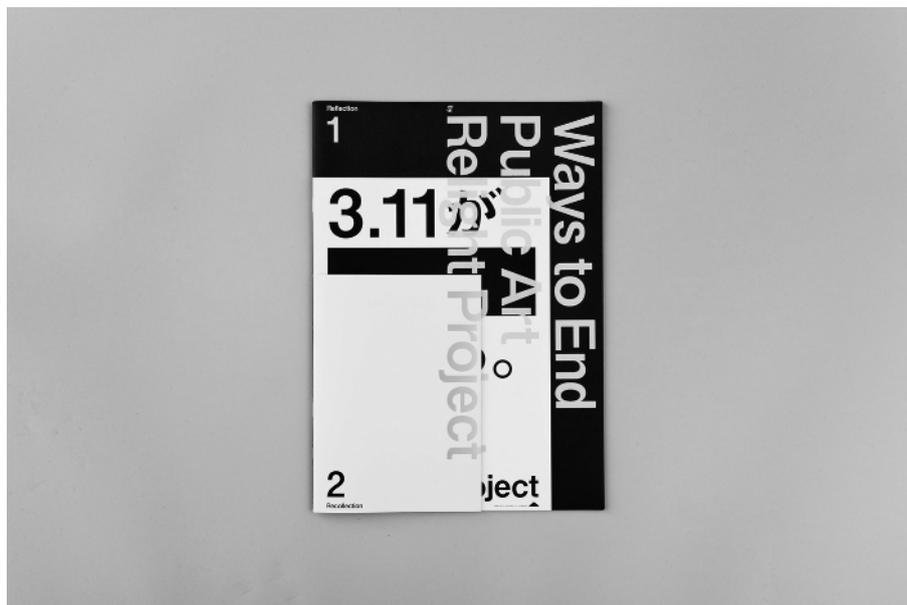
何より、話すだけでなく自分自身で体験していったことも良かった。「RCを他人にどう説明する?」「擬似的にまちを観光しよう」といった実践を通して、感覚が身体に取り込まれる。それを言葉にしていく。そのプロセスが自分自身の経験を多様にし、メンバーとの会話を通して得た視点が、自分自身のActionに繋がる。この流れが、美術と向き合う時間となり、感情と身体をつなぐりを少しだけでも強くできたように思う。

●Relight Symposium

- ・六本木アートナイトでボランティアガイドをするまで、カウンターポイドのことを知らなかったのですが、ガイドで宮島さんの作品を紹介した時に「3 1 1に何をしていましたか?」と聞くと全員がその日のことは覚えているのです。宮島さんのスイッチのON、OFFの意図は素晴らしいと思いますし、自分のなかにもスイッチを持つこと（価値観）は大事だと考えさせられました。

【発行物】

- 『Ways to End Public Art by Relight Project 1: Reflection -省察-』
- 『Ways to End Public Art by Relight Project 2: Recollection -回想-』



34

東京スープとブランケット紀行

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
 会場 練馬区江古田、青ヶ島
 主催 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人指輪ホテル
 入場者数 110人

【事業趣旨（目的）】

演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に、日本の来るべき人口減少社会と向き合い、生活圏に起こるものごとの「終わり方」や「立ち上げ方」を追求するアートプログラムを展開する。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）「Rest In Peace, TOKYO」

前年度までの3年間で行ってきた4つのプログラム（江古田スープ、青ヶ島ブランケット、東京一箱、対談紀行）を統合して、「Rest In Peace, TOKYO」とし、プロジェクトの中心的な課題である「みとり」について深く考える場を外に開いた。それに伴い劇作家である羊屋白玉が毎回の開催に合わせてスクリプトを書き、フライヤーに掲載し、「Rest In Peace, TOKYO」に参加する方々への導入とした。加えて、3人のドラマトゥルクを招き、毎回の「Rest In Peace, TOKYO」を会場の選定や進め方などをどのようなものにしていくのかを話し合った。各回の開催では、参加者とともに江古田のまちを歩き、スープを作り、話をした。江古田のまちを歩く中で「終焉」やその痕跡を探し、ピリオドもなく上書きされていく都市の構造を多層的に見た。

開催期間 5月～11月 全7回

対象エリア 練馬区江古田、青ヶ島

参加費 1,000円

主な参加者 羊屋白玉、宮原清美、伊藤馨、草柳亮、齋藤優衣、糸山裕子（以上プロジェクトメンバー）、前田愛美、西田秀己、阿部健一（以上ドラマトゥルク）、小山田徹（美術家）、佐藤浩太（弁護士）、リャオ・プエイティン（劇作家）、荒井智史（還住太鼓奏者） ほか

開催日	会場	プログラム名	参加者（人）
5/17	Vieill Bakerycafe&Gallery	R.I.P.TOKYO はじまる	13
6/19	小竹町会館	R.I.P.TOKYO はなまる	8
7/17	norari:kurari	R.I.P.TOKYO みとれる	15
7/27	青ヶ島	R.I.P.TOKYO はぐれる	15
8/11	小竹町会館	R.I.P.TOKYO きこえる	15
10/14	江古田斎場 第二会館二階 大悲堂	R.I.P.TOKYO くすぐる	29
11/17	珈琲店ぶな	R.I.P.TOKYO みつける	15

（2）「Rest In Peace, TOKYO」戯曲 作成

「Rest In Peace, TOKYO」および東京スープとブランケット紀行の活動で積み上げてきた記録や思想を基にして羊屋白玉が戯曲を作成した。単に戯曲という形のテキストとして読んでもらうものではなく、その戯曲を持ち歩きプロジェクトが終わった後も世界に向けて発信していくために、ブックアーティストの太田泰友とのコラボレーションを行った。

（3）記録集と映像記録を作成

「Rest In Peace, TOKYO」を含めた、東京スープとブランケット紀行の4年間の軌跡をふりかえり、これまでの活動の中での方法論や思考の変遷を記録集という形でまとめた。毎回の「Rest In Peace, TOKYO」の写真およびドキュメントによる記録をまとめ、3人のドラマトゥルクの鼎談、劇作家のリャオ・プエイティンによる記事、美術家の小山田徹との対談、青ヶ島からの視点をもたらした荒井智史や初期からずっと事業を見守っていた弁護士の佐藤浩太による寄稿など、これらのテキストを一冊の書籍として編集し記録集としてまとめた。

また、今年度の「Rest In Peace, TOKYO」の活動をドキュメンタリーの映像作品としてまとめた。

【参加者の声】

- ・「生きていないけど死んでない」という言葉が印象的でした。みんなでとむらいをするということを体験して考える不思議で濃密な時間でした。(11.17)
- ・終わり始まりの（その間の）足取りがきつと大事。そのことを思い出しました。(10.14)
- ・斎場に行くということと、カフェに行くということと感覚が違うのは当たり前だとは思いますが、そういった場でこのような会に参加でき、興味深かったです(10.14)
- ・もう食べられない人の前でいっぱい楽しく食べたのが不思議でした。けれど、そういえば気づいてないけど、食べてるんだよなあと感じる瞬間でした。(10.14)

【発行物】



記録集 『東京スープとブランケット紀行 2014-2017』



ポストカード

35

汐入タワープログラム

【事業概要】

開催日	平成29（2017）年8月1日
会場	汐入ふれあい館
主催	東京都、荒川区、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人CIAN
入場者数	150人

【事業趣旨（目的）】

本事業は、平成22年度から平成25年度にかけて展開した「川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め」の一環として、都立汐入公園（荒川区）内に制作された「汐入タワー」において実施したプロジェクト。汐入タワーを舞台にゲストアーティストと地域住民やイベント参加者がワークショップ等によって交流を図り、東京の水辺から文化を考えるきっかけをつくる。

【開催状況】

プログラム構成：

(1) さよなら汐入タワー ～いままでありがた塔～

第1部は、音をテーマに様々なパフォーマンスを行うサンガツと音楽家・古川麦のコラボレーション企画として、ツアーワークショップパフォーマンスを行った。続く第2部では、この日をもって公開終了となる汐入タワーの最後を飾る「さよならセレモニー」として、タワーから取り外した木材を使い、川俣正・古川麦・サンガツと一緒に記念品や楽器をつくるワークショップを実施した。

開催日	8月1日
会場	汐入ふれあい館
アーティスト	川俣正（アーティスト）、古川麦（音楽家）、サンガツ（音楽グループ）
入場者数	150人

【参加者の声】

- ・（雨天での開催のため）汐入タワーでの開催ではなかったが懐かしい面々に会えて良かった。
- ・手作りの楽器が思ったよりいい音で家でも練習しようと思う。
- ・汐入タワーがなくなって寂しいのだけれどタワーの欠片（焼き印）をもらえて嬉しい。
- ・雨で行くか迷ったけれど来て良かった。
- ・当時を思い出して、しみりした。

36

Between Passports Initiative

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	新宿区ほか都内各所
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人kuriya
入場者数	約271人

【事業趣旨（目的）】

『移民』の若者たち（以下「ユース」）を異なる文化をつなぐ社会的資源ととらえ、フィールドワークとその結果を踏まえたワークショップや、アートプロジェクトを行うことを通じて、ユースへのエンパワメントを目的とする。ユースを「社会問題」ではなく「社会のポテンシャル」として捉え、移民・外国人への偏見やステレオタイプといった価値観に働きかけ、多様性を豊かに創り上げることの出来る人材を育成する。

※『移民』＝多様な国籍・文化を内包し生活する外国人

【開催状況】

プログラム構成：

（1）シェアリング・セッション

専門家等とのディスカッションを行い、本事業の実践を振り返る場を設ける。ユースが多く在籍する定時制高校等の学校教育機関をはじめ、既存の機関に所属しない若者の居場所づくりなど、若者が集うコミュニティづくりの実践を通じて得た知見や、国内外での関連事例を共有し、アートプロジェクトを通じたユースの人材育成の仕組みの可能性について検討した。

開催日	6月30日、7月15日、8月18日、11月17日、12月22日、1月25日、3月3日
会場	都内各所
ゲスト	Samantha Szeto、Emily Ng（香港アートセンター）、Hui Chi-sang（アーティスト）、楊淳婷（東京藝術大学大学院博士課程）
モデレーター	徳永智子、新井セラ
参加者数	81人

- ①シェアリング・セッション Stories behind “How do we meet? How can we meet?” 多文化な若者たちの居場所づくり それぞれの現場から見えてきたいま
2年間のプロセスを共有する場として公開形式でシェアリング・セッションを実施した。

開催日	3月3日
会場	アーツカウンシル東京 ROOM302
ゲスト	徳永智子（慶應義塾大学国際センター特任講師）、角田仁（都立一橋定時制高校教員）、武田力（アーティスト、民俗芸能アーカイバー）
参加者数	30人

（2）エンゲージメント・プログラム

国内・海外のアーティスト等とともにプログラムを実施し、ユースへのアウトリーチを行う。各回のワークショップにより、様々なユースの現状についてリサーチするとともに、新たなユースへのアプローチを試み、人材育成プログラムに展開する。

①定時制高校でのプログラム

「ユース」を取り巻くコミュニティの一つに、定時制高校がある。そこで、大学や高校といった教育機関との連携のもと、定時制高校で放課後プログラムを提供した。留学生のサポートのもと、アーティストによるワークショップや演劇の手法を取り入れて多文化・多言語の交流を深めるなどの活動を毎週2回実施した。

開催期間 4月～3月

会場 東京都立一橋定時制高校
パートナー 徳永智子（慶應義塾大学国際センター特任講師）
参加者数 80人

②学校外でのプログラム

学校外に属する高校卒業後の若者や20代になってから来日したユースのコミュニティやアウトリーチとして、学術的なインタビュー形式やアンケートではなく、アーティストによるリサーチを通じて新たなユースと出会うためのプログラム設計を試みた。

開催期間 11月～2月
会場 東京都内各所
パートナー 武田力（アーティスト、民俗芸能アーカイバー）
参加者数 5人

(3) 人材育成プログラム

ユースを中心に、アートプロジェクトやワークショップ等の運営補佐を通じて、様々な人と接し社会とつながる機会を創出する。3か月を1タームとしてインターン生を受け入れ、エンパワメントの場としてユース一人一人の興味と特性を活かしながら個別プログラムを組んだ。また、ワークショップやシェアリング・セッションなどの運営に必要な準備として、企画運営（Plan）、調査（Research）、アウトプットの作成（Output）、多言語翻訳の実施（Communicate）の4つのトピックを通じて実践を行った。働きながら学べる場の運営を通じてライフスキルを身につけ、移民の若者たちの人材育成の仕組みを模索する。

開催期間 4月～3月
参加者数 延べ約75人

【参加者の声】

●シェアリング・セッション

- ・これまでずっと長く日本にいるが、いつも外国人／日本人というふうに固定化したアイデンティティに分けられていると感じていた。しかしこのイベントでは、自分も日本社会の一部なんだと思うことができた。外国人・日本人ではなく、東京人 or 東京の人というアイデンティティを初めて感じる事ができた。（アメリカ人日本滞在歴20年）
- ・移民をトピックにした時に取り上げられるコミュニティは10年間、全く同じという状況がある。既存のコミュニティは大人達の集まる場所であり、子ども向けには日本語教室か学習支援教室しかない。既にある既存のコミュニティにアートワークショップを持って来る、アートプロジェクトを実施するためにコミュニティを探すのではなく、本事業は丁寧な関係性を紡ぎながらコミュニティをつくり、その上でアートプロジェクトを実施することで、より深みのある実践ができるのではないかな。

●エンゲージメント・プログラム

- ・部活動があったからこそ、高校を卒業することが出来た。ここでは様々な人と出会うことができるので、すごく楽しい。友達もできた。

●人材育成プログラム

- ・ Without this internship, I would not have been able to know what I am good at. For the first time in Japan, I felt like I used my brain.

37

東京ステイ

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	東京都内各所
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人場所と物語
入場者数	79人

【事業趣旨（目的）】

「東京ステイ」は、「ステイ」という体験によって東京の様々な場所に眠る物語を掘り起こし、文化的資産とは何かを問い直す試み。この「ステイ」は、必ずしも宿泊だけを意味せず、通り過ぎてしまう風景や失われつつある営みを前に足を止め、しばし佇んでみることも「ステイ」と捉えている。都市に潜在する、経済的指標だけでは捉えがたいオルタナティブな価値を見つめ、言葉を紡ぐことを目指している。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）レクチャー&ディスカッションイベント

フィールドワークの専門家によるレクチャーと議論を中心に、年度内のフィールドワーク企画や実験イベントの実施に役立つ勉強会として企画。NPOメンバーのみならず、公開イベントとして一般参加者にも開く場として、外部の視点を取り入れるとともに、今後「東京ステイ」の活動に関わってくれる人との出会い・交流を図った。

開催日	会場	プログラム名	内容	登壇者	参加者（人）
6/9	ロフトワーク / COOOP 10	フィールドワークする身体性	その場所で調達した食材と人々の知恵によって、その場かぎりのカレーをつくる「カレーキャラバン」。プロジェクトでの出会いの体験、培った身体感覚など、様々な角度から活動を紹介いただき、リサーチの視点や手法のヒントを探った。	加藤文俊（カレーキャラバン、慶應義塾大学 環境情報学部 教授）	25
8/22	株式会社オープン・エー	東京民俗学	古来の風習・歴史から近年の流行や出来事など、時代を往来する畑中章宏の民俗学的な視点から、東京の街の中に埋め込まれたコードを、「場所と物語」のメンバーと一緒に読み解いた。	畑中章宏（作家・民俗学者・編集者）	30
11/29	ロフトワーク / FabCafe MTRL	ピルグリム（巡礼）とは何か	「巡礼」という場所性や時間軸をもった行為を、なぜ漫画や絵画に置き換えることが出来るのか。東京をピルグリム（巡礼）している「場所と物語」のメンバーが聞き役となり、ゲストとともに読み解いた。	山内康裕（マンガナイト、レインボーパード合同会社代表）、寺本愛（アーティスト、イラストレーター）	13

（2）「ピルグリム（巡礼）」フィールドワーク

平成28年度にも行った、東京各地の「場所と物語」を掘り起こすフィールドワーク企画を継続して行った。手法については、レクチャー&ディスカッションの第一回目得られた知見を生かし、議論を重ね、自分たち独自の手法「ピルグリム（巡礼）」の開発・実験に挑戦した。

開催日 12月23日、26日、1月8日

対象エリア 石神井（12月23日）、十条（12月26日）、武蔵小山（1月8日）

※非公開のため、メンバーのみ参加

（3）実験イベント

3回にわたるレクチャー&ディスカッションで得られた知見と掘り起こした東京の「場所と物語」の素材をもとに、「東京ステイ」をテーマにした、実験イベントを実施。参加メンバーがそれぞれ「道連れ」としてメンバーではない人を連れて、「ピルグリム」を行った。また、企画実施に向けての準備のためにNPOメンバーで集中合宿を実施した。

開催日	会場	プログラム名	内容
10/28、29	檜原村	合宿	集中合宿形式で実験イベントの準備およびグループワークを行い、その内容を後日ウェブ上で公開し、活動の経過報告を行った。また、合宿での体験を通じて、今後のピルグリムと2月の本番イベントについて協議した。

開催日	会場	プログラム名	内容
2/3、4	都内各所（渋谷、谷中、新大久保、吉原、浮間舟渡、九品仏、青物横丁、多摩川など）	実験イベント本番	都内数か所で、数日間かけて同時進行するイベントを実施。メンバーのみで行ってきた企画に、これまでの文脈をほとんど知らない人たちを巻き込んで行うことで、この手法がどこまで機能するのか、有用性を実証実験した。
2/25	ロフトワーク/FabCafe MTRL	実験イベント報告会	2/3、2/4に行った実験イベントの公開報告会として、「東京ステイ・ミーティング～『ピルグリム報告会』とレクチャー&ワークショップ～」を実施した。ゲストに黒瀬陽平（美術家、美術批評家）を迎え、11人が参加した。

【参加者の声】

●レクチャー&ディスカッションイベント

- ・「上達しない／やり方を忘れる」というのがとても面白い発想だなと思いました。気分がちょっと楽になりました。（40代・男性 自営業）
- ・好奇心をくすぶらせない大人って、いいなと思いました。フィールドワークはその起爆剤なのかもなあと思ったり。（30代・女性 会社員）
- ・約30年ずっと関西にいて、2か月前に東京に来ました。「東京」というまちの、いわゆる下町に住みはじめて、このまちがもっている記憶や感情を知りたくて来ました。また今後も楽しみにしています。（20代・女性 会社員）
- ・巡礼という行為が内にも外にも向かう行為なのかなと感じました。今日のトークイベントを土産話の会と考えると、また巡礼（移動）の別の側面も見えてくるような気がしました。（20代・男性 学生）

●「東京ステイ・ミーティング～『ピルグリム報告会』とレクチャー&ワークショップ～」

- ・アートとまちづくりに興味があったので、とても面白かったです。これからアクティブラーニングを考えているので、参考にさせていただきます。（30代・女性 会社員）
- ・消費者に慣れきってしまっているということに対して、どうアプローチしていくか、ということにとっても興味があります。そのような視点で、進めていくプロジェクトになっていったらいいなと勝手に思いながら聞いてしまいました。（30代・女性 会社員）

【発行物】

『東京ステイ 日常の巡礼～まちと出会い直す10のステップ』



38 500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」

【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年1月～3月
会場	東京都町田市忠生エリア
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、社会福祉法人東香会
入場者数	35人

【事業趣旨（目的）】

谷戸（やと）と呼ばれる地形をもつ地域において、500年続く人が集う場やその仕組みを模索する。まずは地域の専門家を招いた勉強会を通じて、歴史・文化の掘り起こしを行い、それを伝え継いでいくための方法についてのリサーチも並行して行う。関わる人たちが自身の中に500年という時間軸を創造できるようにすること、「500年続くcommon」を形成するための自身の役割を発見できるようになることを目指す。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）“アーカイブ”を知る・考える

参加者それぞれがアーカイブやドキュメンタリーの事例や素材を持ち寄り、それらを鑑賞しながら、YATOのプロジェクトで積み重ねられる記録、アーカイブ、ドキュメンテーションのあり方を考え、話し合った。

開催日 1月28日

会場 しぜんの国保育園 事務所2F

話し手 波田野州平（映画監督、映像作家）

参加者数 7人

（2）YATOの棚卸し

3人の話し手によるレクチャー。牧野仁からは1950年代ごろの忠生地域の様子についてお話を聞いた。小出仁志は、里山や谷戸の自然について、実際に境内の森を歩きながらレクチャーを行い、また、三上敏視による神楽の映像を見ながらのミニレクチャーも行った。

開催日 2月17日

会場 築田寺

話し手 牧野仁（檀家総代）、小出仁志（NPO法人ナチュラルリングトラスト 副代表）、三上敏視（音楽家／神楽、伝承音楽研究家）

参加者数 13人

（3）YATOのお披露目

近隣住民をはじめ地域にゆかりのある人々と、すでに本事業に関わりのある人々、そしてこの事業の参加に興味をもってもらえそうな人々を繋ぐ場として、事業のお披露目の場を設けた。これまでの勉強会で語られてきたことを踏まえながら、本事業のビジョンを紹介し、YATOのあるべき姿を誰もが語り合い、関わりあうきっかけを見つけれられるような交流会を目指した。地域の歴史についてのトークや、音楽家による演奏なども行った。

開催日 3月17日

会場 築田寺

話し手 齋藤謹也（築田寺住職）

演奏 三上敏視（音楽家／神楽、伝承音楽研究家）

参加者数 15人

【参加者の様子・イベントレポート】

●“アーカイブ”を知る・考える

- ・個人の生い立ちを聞いていくと、その個人的な記憶の中に、時々、村や戦争、世界史と繋がる話も出る。波多野氏は、そうした個人から大きなところ（社会、歴史など）につながっていくことにゾクゾクすると言う。

●YATOの棚卸し

- ・上は中3ぐらいの子がリーダー格となり、下は小学生から様々な年齢の子供が一緒になって遊んだ。年に1回、お正月の「どんど焼き」は子供たちの活躍の場。養蚕が盛んな地域だったので、蚕玉に見立てた飾りをたくさん作って焼くが、それを作るのは子供たちの役目だった。燃やすための竹組をいかに高く作るかで周りの地域の子供たちと競い合い、各家庭をまわるともらえるお小遣でノートなどを買っていたそう。
- ・お寺の檀家さん達が集まって炭焼きをするのも日常の風景だった。炭焼きをしながら鍋を囲み、その日自宅に帰ったら飼っていた犬がいなくなっていた…という話も。その他にも、お祭りの話や市の話、駄菓子屋さんのお話など、多方面に渡るお話を聞いた。

●YATOのお披露目

- ・通常新年に行うことが多い餅つきだが、今回はプロジェクトのスタート、お披露目の会ということで餅つきを企画した。寺でも保育園でも餅つきは毎年行っているものの、いざ自分たちだけでやるとなると心もとない中、地域の方が手際よく準備の手はずを教えてくれた。空いた時間にはお寺の息子さんに笹鉄砲の作り方も伝授してくれた。
- ・静かに住職のお話を聞いていた参加者も、餅つきがはじまるとぐっと距離が近づいた。子供も大人もわいわいとお餅をつき、思い思いの味をつけて頬張った。

39

HAPPY TURN／神津島

【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年1月～3月
会場	神津島村
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人神津島盛り上げ隊

【事業趣旨（目的）】

伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指す事業。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人など様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化など地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考える。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）事業の基本方針および運営基盤構築のためのリサーチプログラム

事業の基本方針および運営基盤を構築するために、定期的なプランニング会議や島の地域資源についてのリサーチを実施した。また、事務局体制の構築や拠点形成に向けた場所のリサーチ、本事業の中長期計画にも取り組んだ。

開催期間 1月～3月

会場 神津島村

（2）「HAPPY TURN」勉強会

リサーチプログラムを通して抽出されたトピックやプランをもとに、参考事例のリサーチや、今後の広報メディア展開について検討を重ねた。今年度は、本事業始動にあたり、HAPPY TURN とは何かを調査・探求するために、島のIターン、Uターン者へのインタビューを行い、幸せな移住／定住を探る企画を構想した。

開催期間 1月～3月

会場 神津島村

40

Artpoint Meeting

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
参加者数	193人

【事業趣旨（目的）】

「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを紹介して問いを提示するアートプロジェクト。Artpoint Meetingは、アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぐイベント。東京アートポイント計画の発信を目的に、各回テーマに関わるゲストを招き、東京アートポイント計画のディレクターやプログラムオフィサーがホストを務める形で3回実施した。

【開催状況】

（1）Artpoint Meeting #03 —まちで企む—

「東京アートポイント計画」に参加してきた様々なアートプロジェクト団体の中から、まちを舞台に刺激的な活動を展開する3人のプロジェクトリーダーをゲストに迎え、それぞれどのようなアートプロジェクトを展開しているのか、そして、なぜそのまちで活動し、どんな人々と関わり、何を起こそうとしているのかを探った。

開催日	7月2日
会場	武蔵野プレイス
登壇者	及川賢一（AKITEN）、吉田武司（アートアクセスあだち 音まち千住の縁）、小川希（TERATOTERA）
モデレーター	嘉原妙、佐藤李青、坂本有理（アーツカウンシル東京）
参加者	78人

（2）Artpoint Meeting #04 —日常に還す—

東京アートポイント計画では、当初よりアートプロジェクトを「人々の営みに寄り添うもの」と定義し、人・まち・活動がアートを介して交差する場所を「アートポイント」と呼んできた。暮らしの中にそういった場が立ち上がることは、わたしたちの生活や人生にどう関わってくるのか、日常に寄り添う文化事業に深く関わる2人のゲストを招き、あらためてその価値を考えた。

開催日	1月27日
会場	100BANCH
ゲスト	竹田由美（生活工房）、アサダワタル（アーティスト、研究者、文筆家）
聞き手	森司、中田一会（アーツカウンシル東京）
参加者	49人

（3）Artpoint Meeting #05 —公開報告会—

今年度共催した東京アートポイント計画全11事業について、各担当のプログラムオフィサーとともに各共催団体それぞれが互いの1年間の活動を振り返り、交流する機会となった。

開催日	3月25日
会場	アーツカウンシル東京 大会議室
参加者	66人

【参加者の声】

- ・「ことばで紡ぐ」ことの必要性を実感しました。ものすごくヒリヒリしました。（Artpoint Meeting #03 —まちで企む—）
- ・生活とアートは、かけはなれたような気持ちになっていましたが、そうではないのだなと思いました。（Artpoint Meeting #04 —日常に還す—）
- ・アートとは何か？と考えると、アートポイント計画の企画の多さに、どこから観てよいかわからないでいましたが、大きな芸術祭（〇〇トリエンナーレとか）と比べられる程（というよりそれ以上に）地域を活性化させる事業だと思いました。（Artpoint Meeting #05 —公開報告会—）

41

東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業
Art Support Tohoku-Tokyo

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	岩手県、宮城県、福島県の各所
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 【宮城】 えぞ芸術のまち創造実行委員会、つながる湾プロジェクト運営委員会 【岩手】 特定非営利活動法人いわて連携復興センター 【福島】 福島県、いわき市、特定非営利活動法人 Wunder ground
共催	【福島】 齋藤清美術館
協力	【宮城】 ビルドフルーガス、一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ 【岩手】 特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、こよみのよぶね実行委員会、宝来館、三陸ひとつなぎ自然学校、釜石まちづくり株式会社、一般社団法人谷中のおかって（企画協力）、社会福祉法人愛泉会かまいしこども園、特定非営利活動法人記録と表現とメディアの組織 [remo]（企画運営） 【福島】 柳津町中央公民館、下神白団地自治会
入場者数	約2,438人

【事業趣旨（目的）】

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に、東京や被災地の芸術文化を活用し、被災地のアートNPO等と連携して、地域コミュニティを再興するため、様々な人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを支援する。

【開催状況】

プログラム構成：

(1) ぐるぐるミックスin釜石（岩手）

一般社団法人谷中のおかってと、アーティストのきむらとしろうじんじんが協働開発した子供創作教室。アーティストの大西健太郎がディレクターを務めている。年齢も性別も、職業も様々な地域内外の大人がスタッフやゲストとなり、子供とコミュニケーションを重ねながら、一緒にあそびの場をつくっている。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加アーティストなど	参加者（人）
5/16	社会福祉法人愛泉会 かまいしこども園	ぐるぐるの会①「ぐるぐるミックスについての説明・平成29年度の活動に関する説明」	前半はぐるぐるミックスin釜石の経緯や、活動の特徴、平成29年度の活動のスケジュールやねらいについての説明を行い、後半は7月のプログラムについての説明や、ゲストを招いたプログラムについての相談を行った。	きむらとしろうじんじん（美術作家）、大西健太郎（ダンサー）、渡邊梨恵子（一般社団法人谷中のおかって代表）	10
7/11		ぐるぐるミックス①「帯がみあそび」	細長い帯状の画用紙「帯がみ」を使った工作。紙を長くつなげたり、紙を折って家などの立体物を作ったり、メガネやウサギの耳など衣装や変身グッズを作るなど様々な展開した。	きむらとしろうじんじん、大西健太郎、渡邊梨恵子	30
9/12		ぐるぐるの会②	前半は、10月のプログラムのゲストとなる天神復興住宅の自治会の方々に、かまいしこども園の職員の方々とプログラムの説明に伺った。後半は、10月のプログラムに関する打ち合わせを行った。		10
10/2		ぐるぐるミックス②-1「ミルボーづくり」	紙筒やお菓子の空き箱などを組み合わせて、風景を眺めたり、音や匂いをかいだりできる道具「ミルボー」を工作した。様々な素材を組み合わせて、ビニールテープで結束したり、ペンを使って模様を描いた。	大西健太郎、渡邊梨恵子	30
10/3		ぐるぐるミックス②-2「ミルボーの探検」	「ミルボー」を持って、天神復興住宅や仮設住宅エリアを通り抜け、千寿院までお散歩をした。復興住宅の3階まで登って「ミルボー」で釜石のまちを眺めたり、ゲストの歌声に耳をすませたり、自宅の場所まで案内してもらった。	きむらとしろうじんじん、大西健太郎、渡邊梨恵子、磯田さん、鈴木さん、寺田さん（天神復興住宅）	30
12/13		ぐるぐるの会③「盆栽あそび」に向けて	次のプログラム「盆栽あそび」についての説明を行い、実際にこども園の方々にも盆栽づくりに挑戦してもらった。実際に作業をしてみることで、プログラムのどこに面白みがあるのか、準備はどうするかなど具体的な相談ができた。		10
1/30		ぐるぐるミックス③「盆栽あそび」	お気に入りの器を選んで、粘土を土台に盆栽を作った。作った盆栽を展示して、自分の盆栽や友達盆栽を鑑賞して楽しんだ。送迎時には、子供たちが保護者に自分の作った盆栽を紹介するなど、作品を通しての交流も生まれた。	きむらとしろうじんじん、大西健太郎、渡邊梨恵子	30

開催日	会場	プログラム名	内容	参加アーティストなど	参加者（人）
2/13		ぐるぐるの会④「活動の振り返り・今後に向けて」	平成29年度の取り組みについて振り返りを行った後、今年度やってみて面白かったプログラム・今後取り組んでみたいプログラムについてアイデアを出し合うグループワークを実施した。		10

(2) 記憶と記録のプロジェクト：『ランドスケープ | ポートレイト—まちの写真屋の写真論』（岩手）

地域の記録を残す役割を担って来た「写真館」という存在を深く掘り下げることにより、「被災地」の過去・現在・未来について、また、「記録を残すこと」の過去・現在・未来について考えることができるのではないかと考え、いくつかの写真館のリサーチを行った。さらに、「写真館」という存在をとおして、被災地の現在を広く伝えるための広報紙を制作した。次号以降の方針についても見通しをたて、将来的には、本広報紙をもとにした展示や書籍化についても視野にいれた活動として継続していくことを目指す。

開催期間 4月～3月

会場 岩手県釜石市および大槌町／東京都内

企画運営 特定非営利活動法人記録と表現とメディアの組織 [remo]

(3) 釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」（岩手）

かまいしこども園の園児や、全国各地の大学生ボランティア、地域の住民も多数参加して数字の行灯を制作したり、行灯を彩る折り紙かざりをつくった。鎮魂の祈りを込めてつくられた「3.11」の数字の形をした行灯に光を灯し、海の上に浮かべた。

開催日 3月10日（ワークショップ）、11日（点灯式）

会場 釜石情報交流センター釜石PIT、釜石市民ホール、岩手県釜石市鶴住居町根浜海岸

アーティスト 日比野克彦

参加者数 40人

(4) つながる湾プロジェクト（宮城）

「つながる湾プロジェクト」はこれまで、松島湾とその沿岸地域の文化を再発見し、味わい、共有し、表現することで、地域や人・時間のつながりを「陸の文化」とは違った視点でとらえなおす試みを続けてきた。松島湾域の文化が日常の中に溶け込み、まちや家庭で自然と伝えられていく土壌を育むため、最終的にこの領域に暮らす人々が自発的に松島湾の文化を楽しむことを支援する仕組みやツールを開発することを念頭に置き、松島湾の文化に触れる機会の創出と文化の周知に取り組んでいく。

開催期間 7月～3月

会場 宮城県塩竈市、多賀城市

参加者数 100人

①松島湾とハゼ

松島湾の生活に根付いてきたハゼの文化を体験し、次世代に継承していくきっかけづくりを目指して「数珠釣り」「焼き干しづくり」「仙台雑煮づくり」の3回シリーズでワークショップを行った。「数珠釣り」「焼き干しづくり」は、ハゼ釣り名人の佐藤啓一に講師をお願いし、松島湾に伝承されている方法を学び、体験した。「仙台雑煮づくり」では、「みやぎの食を伝える会」代表の中村みき子を講師に招き、仙台雑煮づくりの手順を参加者とともに実習し、試食するとともに、宮城の食文化に関する講演も行った。

開催日	会場	プログラム名	内容	講師
10/15、11/3	貞山堀（多賀城市） 塩釜港沖	数珠釣り体験	ハゼの伝統漁法「数珠釣り」の方法を学び、実際に釣りをした。	佐藤啓一（漁師）
11/19	islands court	ハゼの焼き干しづくり	雑煮の出汁用に、ハゼを捌いて炭火で焼き、藁で結んで干す技術を学んだ。	佐藤啓一（漁師）
2/4	多賀城市山王地区公民館	ハゼ出汁の仙台雑煮づくり	「焼き干しづくり」で作った焼きハゼを用いて出汁をとり、「仙台雑煮」を作った。	中山みき子（「みやぎの食を伝える会」代表）

②海底タイムカプセル松島湾

参加者が自分に宛てて書いた手紙をカプセルに入れて松島湾に沈め、未来に届けるプログラム。海と関わらない日

常生活の中でも海に意識を持ち続けられる関係性を創った。平成29年度は、「海辺の記憶をたどる旅展2015」で集まった手紙と、東北工業大学の学生に募集した手紙を新たなタイムカプセルに封入し、沈めた。

③塩づくりプログラムのためのリサーチおよび実験

松島湾域で行う塩づくりの歴史と文化を広く市民が楽しみ、「塩づくり」の価値と地域のつながりを見直すプロジェクト。塩づくりを地名の由来を持つ塩竈市を中心に、御釜神社（塩竈市）藻塩焼神事に伝承される古代の「塩づくり」をリサーチした。実際に塩づくりの工程を体験し、実地検証を行った。また、次年度より塩づくりを体験できるプログラムとするため、企画内容のミーティングを行った。

開催日	会場	内容	参加アーティストなど
7/18~20	塩竈市御釜神社、合同会社顔晴れ塩竈	アーティスト五十嵐靖晃と共に御釜神社にて塩づくりの伝承を聞いた。現代の塩づくりについて、工房を見学し塩づくりを体験した。	五十嵐靖晃（アーティスト）
12/3	塩竈市千賀の浦緑地公園	海水から実際に塩づくりを行い、生成される塩の分量と掛かる時間、必要な道具の調査をした。	五十嵐靖晃（アーティスト）

④湾域の文化を巡るプログラムのためのリサーチ

この領域に暮らす人々が自発的に松島湾の文化を楽しむことを支援する仕組みやツール開発を目指し、演出家の市原幹也を招聘し、地域のリサーチを行うとともに、お互いのこれまでの活動を紹介し、どのようなプログラムが考えられるかミーティングを行った。

開催日	会場	内容	参加アーティストなど
8/4~6	松島湾沿岸部、浦戸諸島	演出家の市原幹也を招聘し、松島湾域を案内。どのような企画が考えられるかミーティング。	市原幹也
11/10	ビルドスペース	市原幹也のこれまでの活動と考え方などを聞き、どのような接点があるかを話した。	市原幹也
12/8	ビルドスペース	つながる湾プロジェクトのこれまでの活動を紹介し、今後具体的にどのようなプログラムが考えられるか話した。	市原幹也

⑤「松島湾の牡蠣図鑑」制作

松島湾の牡蠣文化をより広く実践的に伝えるため、牡蠣の生態、松島湾の自然、養殖や牡蠣漁師に関する豆知識に食べ方まで、松島湾の牡蠣文化に関わる内容をイラストと平易な文章でまとめた豆図鑑を制作した。

⑥記録アーカイブ・発信

ウェブサイトでは「そらあみ」、「ABOUT OUR PROJECT」の内容を最新のものに更新した。また、地域の人々につながる湾プロジェクトの活動を定期的に広報するための媒体として新たに「うみねこ通信」を制作し、2回発行した。

(5) えぞこフリー塾（宮城）

東日本大震災による被災者、そして社会的マイノリティと言われる方々を対象に、地域、年齢、ジャンルを越えて、コミュニティ再生や活性化を目指すための、心の復興事業。福祉施設などで、アーティストによるワークショップ等を行った。

①子供を対象としたアウトリーチ・ワークショップ

津波被害が甚大であった宮城県仙南地域の沿岸部（亘理町、山元町）を含む4市9町を対象とした適応指導教室「けやき教室（不登校児の支援施設）」および、大河原町の「おおがわら子どもの心のケアハウス（不登校児支援、学習支援施設）」、桜保育所において、心と体をほぐし精神を開放するコミュニケーションワークショップを中心としたプログラムをそれぞれ展開した。

開催日	会場	内容	アーティスト	参加者（人）
12/7、2/14	けやき教室（白石市）	12/7は、ゲームのような遊び感覚のワークショップを実施。子供たちの心が徐々に解放されていく様子が見受けられた。2/14は、一対一で体を目いっぱい使ってコミュニケーションをとるワークショップを行った。	柏木陽（演劇百貨店代表/演劇家）、片岡祐介（打楽器奏者・即興演奏家）	16
12/27	おおがわら子どもの心のケアハウス（大河原町）	子供たちの自然な動きからダンスを構成。アイコンタクトでコミュニケーションしたり、体の一部でふれあったりしながら、ダンスのような動きを作っていくことで、目や体で深くコミュニケーションをとっていくことを体感した。	片岡祐介（打楽器奏者・即興演奏家）、砂連尾理（振付家・ダンサー）	24
3/2、3	おおがわら子どもの心のケアハウス（大河原町）		楠原竜也（振付家・ダンサー）	24

開催日	会場	内容	アーティスト	参加者(人)
12/26	桜保育所(大河原町)	保育所の5歳児を対象に、片岡祐介の音楽ワークショップを行った。自由に楽器に触れ、好きなように音を出すことで、子供たちは音を使って遊ぶ楽しさ、楽器の面白さを体感した。	片岡祐介(打楽器奏者・即興演奏家)	27

②子供とシニアのふれあい交流プログラム

えずこホールで開催する「60歳からの楽しいクラブ活動」(シニア世代のふれあい、生きがいアートプログラム)の地域展開版事業として、地域の子供たちとシニア世代が、アートを通して出会い、発見、体験し、人と人が繋がり社会との回路を開く世代間交流プログラムを展開した。

開催日	会場	内容	アーティスト	参加者(人)
12/27	あいやま小規模多機能居宅介護施設(村田町)	片岡祐介(音楽家)は、砂連尾理(ダンサー)がお年寄りたちとつくる簡単な動きにピッタリ寄り添うような音楽を奏で、お年寄りたちは自然にダンスと音楽にやさしく包まれた世界に浸った。	片岡祐介(打楽器奏者・即興演奏家)、砂連尾理(振付家・ダンサー)	23
2/15	関保育所(七ヶ宿町)	園児たちと演劇絵本(絵本のストーリーをこどもたちが演じる)を作り、近隣の特別養護老人ホームを訪れ上演する予定だったが、事情により上演中止となったため、園内で発表会を行った。	柏木陽(演劇百貨店代表/演劇家)、片岡祐介(打楽器奏者・即興演奏家)	20
3/7	障害者社会支援施設陽光園	幅広い世代の通所者を対象に、上田假奈代(詩人)による合作俳句(3人で1首を創作する)を実施。簡単な言葉の表現を繋ぎながら深くコミュニケーションする内容で、幅広い年齢層の方々が楽しく交流した。	上田假奈代(詩人)	43

(6) ラジオ下神白一あのとときあのまのちの音楽からいまここへ(福島)

「ラジオ下神白」というローカルラジオ番組を、下神白地域の住民と招聘アーティストのアサダワタルが協働制作を行った。下神白団地とその周辺の住民を対象に、昭和10~30年代の懐かしの音楽を聴きながら、それをきっかけに話されたエピソードと思い出の曲にナレーションを付けてラジオ番組風に仕上げ、1枚のCDにまとめ、完成したCDは、取材対象者のイラスト入りの解説書や葉書と一緒に住民へ配布した。

開催期間 5月22日~3月31日
 会場 いわき市小名浜下神白
 アーティスト アサダワタル(日常編集家)
 参加者数 約1,247人

(7) ワングラ×オノコロ場づくりプロジェクト「開いてみる」(福島)

アートを生み出す小さな拠点をまちなかに出現させながら、多様な人々による、地域資源を活用した主体的なアート活動を支援する取り組み「アートステーション構想」を一般社団法人オノコロと連携を図りながら構築することで、いわき市のアートプログラムを実施する際の拠点整備と、人材の育成につなげることを目的とし、ワークショップを実施した。

開催日 10月10日
 会場 アートスタジオもりたか屋
 参加 一般社団法人オノコロ
 参加者数 30人

(8) 福島子ども芸術計画(福島)

福島の未来を担う子供たちの豊かな人間性と多様な個性をはぐくむことを目的とし、県内の保育園、小中高等学校等にアーティストを派遣して、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを実施。ワークショップで制作した作品は、文化施設等で一定期間展示された。

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
9/26~11/26	認定こども園ぼだい樹、いわき市立平第二小学校、二本松市立安達中学校、会津若松市立第一中学校、学校法人富田幼稚園、福島市立福島養護学校高等部、二本松市立波川小学校、県立小野高等学校	「おとなりアーティスト!」デコって、張りこる~!!!~不思議で楽しい張り子づくり	伝統的な張り子づくりの技法をベースに、参加校がそれぞれオリジナルの張り子をつくるワークショップ。ふだん馴れないこよりの素材の風合いを感じながら、子供たちは制作を楽しんだ。	橋本彰一(工芸家、デコ屋敷本家大黒屋21代当主)	245

開催日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者(人)
10/5~11/8	学校法人西郷幼稚園、福島市立杉妻幼稚園、学校法人開南幼稚園、会津美里町立高田中学校	「おとなりアーティスト！」紙で絵地図を作ろう！	先生や子供たちが集めた、地域にある店舗の包装紙やチラシ、新聞紙などをうい、コラージュで絵地図を制作した。子供たちは事前に調べた街(建物)の様子をイメージしながら大きな地図を作り上げた。	佐藤洋美(デザイナー、コラージュ作家)	305
12/16~1/14	福島県立美術館、いわき市暮らしの伝承郷	「おとなりアーティスト！」2017年学校連携共同ワークショップ参加校作品展	「おとなりアーティスト！」のワークショップで制作された作品を、美術館にて巡回展示した。	—	—
11/11~1/21	齋藤清美術館、柳津駅周辺ほか	小池アミイゴの誰でも絵が描けるワークショップ「わたしの好きな柳津」	主に柳津町の小学生を対象に行われたワークショップ。柳津町を探検、観察する初回から始まり、その後は齋藤清美術館のアートテラスで「わたしの好きな柳津」を様々なアプローチから描いた。最終的にはそれぞれを紹介する成果展も開催した。	小池アミイゴ(イラストレーター)	97

(9) Art Support Tohoku-Tokyo トークセッション #02 土地の記憶を紡ぐ術(アート)—東北の海と森の実践から
宮城県の松島湾と福島県の会津地域。自然豊かな海と森に囲まれた土地の記憶を独自の方法で探り、継承しようとする実践を重ねるゲストを迎えたトークセッションを開催した。今回のトークセッションでは、じぶんが暮らす地域と向き合う術(すべ)としてのアートに着目し、会場の参加者とゲストの取り組みを共有することから、これからの実践の方法を考えた。

開催日 8月19日

会場 Rough Laugh

ゲスト 矢部佳宏(西会津国際芸術村)、三澤真也(一般社団法人 地域づくりのアトリエ ソコカシコ)、大沼剛宏(つながる湾プロジェクト)、津川登昭(一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ)

モデレータ 桃生和成(一般社団法人 Granny Rideto)

参加者数 30人

(10) FIELD RECORDING

東北各地で活動をする方々のインタビューなどを行いながら、変わりゆく震災後の東北の今と、その先にふれるためのジャーナル『FIELD RECORDING vol.01 特集：記録の生態系にふれる』を創刊した。

開催期間 4月~3月

会場 岩手県、宮城県、福島県の各所

参加者数 7人

【参加者の声】

●ぐるぐるミックス in 釜石

- ・発想の転換が必要なのだと思います。同じ素材を使うにしても、発想次第で遊びは広がっていくのだと思いました。守りになっている活動が多いので視野を広げていきたいです。(かまいしこども園職員)
- ・ぐるぐるミックスを行うことを伝えると、どの子も笑顔で「やったー」と喜んでいました。子供たちがとても楽しみにしている様子がたくさん見られました。(かまいしこども園職員)

●福島こども芸術計画

- ・ワークショップ後、普段より意識が高くなり「このクオリティでは恥ずかしい」「もっと〇〇した方が…」と試行錯誤しながら、時間が許す限り制作していた。(高等学校教員)
- ・最初は、どんなふうについたらいいか困ってたけど、友達が「大きい家にしよう」とアイデアを出してくれてみんな協力して作っていくのが楽しかった。(園児)

【発行物】

『松島湾の牡蠣図鑑』

『福島こども芸術計画2017』

『ランドスケープ | ポートレイト——まちの写真屋の写真論』

『FIELD RECORDING vol.01 特集：記録の生態系にふれる』

『復興カメラ 2018.3.11』

42

タレンツ・トーキョー 2017

【事業概要】

- 開催期間** 平成29（2017）年11月20日（月）～25日（土）
会場 有楽町朝日ホールスクエア
主催 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）
提携 ベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）
協力 東京ドイツ文化センター
参加人数 タレンツ15人、エキスパート（講師）計9人

【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents, タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施する。

【開催状況】

国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Main Experts、Master Class Experts、Experts）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施した。第一線で活動する人材の視線に晒されることにより、強烈なインスパイアを受ける体験を促すとともに、タレンツやエキスパート間、さらには映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画作家たちとの交流も生まれるなど、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げることができた。

<参加者>

- Myrna PARAMITA（インドネシア）監督
三間旭浩（日本）監督
空音央（日本）監督
Yana LEKARSKA（韓国）監督
Bradley LIEW（マレーシア）監督
PUREVDASH Zoljargal（モンゴル）監督
Yee Nan Thike（ミャンマー）監督
John Paul SU（フィリピン）監督
JOW Zhi Wei（シンガポール）監督
Nicole Midori WOODFORD（シンガポール）監督
LAN Yi-Tzu（台湾）監督
PHAM Ngoc Lan（ベトナム）監督
登山里紗（日本）プロデューサー
Stefano CENTINI（台湾）プロデューサー
Supatcha THIPSENA（タイ）プロデューサー

【参加者の声】

- ・タレンツや講師と出会い、彼らと強いつながりを持つことが出来たことが一番の経験です。
- ・まさに今長編企画を進めているアジアのフィルムメーカーたちと会えたことが一番の経験だったと思います。彼らとアイデアを交換し会話をすることがとても為になりました。
- ・公開プレゼンテーションでは、私の企画に意欲を示してくれる協力者を探したり、日本の方たちからの意見や反応をもらう為に自分の言葉を思い切って外に出して伝えて良かったと思います。
- ・プレゼンテーションについてだけでなく、もっとファイナンスの考えや戦略についてなど、企画の詳細について考える時間やセッションがあれば良かったなと思います。もしそうできれば、映画作りにおいて様々なバックグラウンドを持っているタレンツが集まるので、もっと知識や経験をシェアできて、お互い助け合える方法をより探せると思います。

43

アーツアカデミー

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会 場 アーツカウンシル東京、東京芸術劇場
主 催 アーツカウンシル東京・東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
参加者数 計14人

【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラムを実施する。

「アーツアカデミー（調査研究員制度）」では、若手人材を調査研究員として委嘱し、アーツカウンシル東京の助成対象事業の視察やレポート作成および研究会などを通じて調査や研究活動を行う。また、芸術文化活動の支援のあり方についての知見を深める機会を提供し、今後東京の芸術文化の振興を担う人材として育成する。

〈東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修〉（東京芸術劇場への執行委任事業）では、劇場をはじめとする公立文化施設等の運営やフェスティバルなど事業実施の中核となる若手人材の育成を目的とした、OJT研修を実施する。また、公開型講座の実施も行い、広義的な人材育成に資する取り組みを行う。

【開催状況】

「アーツアカデミー（調査研究員制度）」コースでは、「東京芸術文化創造発信助成」等における助成事業や関連事業を視察し調査レポートを作成する調査業務、有識者を招いたレクチャーやディスカッションなどを実施し、年度末には事業報告会を開催した。

〈東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修〉コースでは、本格的な音楽、演劇・舞踊等の専用ホールおよびスタッフを有し、積極的な創造発信を行う東京芸術劇場の特性を活かした研修を行った。また、レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通して、それぞれの業務に必要な知識や技能を付与するとともに、他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会も提供した。加えて、国内外の外部専門家を招き公開型の座学講座を開催した。

44

Tokyo Art Research Lab

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302 ほか
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 参加者数 1,098人

【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

【開催状況】

プログラム構成：

(1) 思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトの担い手の育成を目指し、連続講座や公開講座を実施。今年度は、アートプロジェクトの魅力を伝える“紡ぐ人”の育成を柱に展開した。

開催期間 7月～2月
 説明会参加者数 34人

①連続講座「言葉を紡ぐ」

アートプロジェクトを言葉で他者に伝えるための力を養う講座。多彩なゲストによるレクチャーや課題提出、エディターによる文章添削、フィールドワークなどを通し、文章作成やプレゼンテーションの技術を養った。

開催期間 7月～1月
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302 ほか
 参加費 一般60,000円、学生40,000円
 参加者数 28人

スクールマネージャー 阿比留ひろみ（一般社団法人ノマドプロダクション）、猪股春香（アートマネージャー／春々堂、株式会社ふくしごと）、関川歩（Art Bridge Institute 事務局長）

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など
7/8	ガイダンス アートプロジェクトを「紡ぐ」	多田智美（編集者／株式会社MUESUM代表）、松田雅代（NPO法人BEPPU PROJECTアートプロジェクト事業部統括）、三宅航太郎（うかぶLLC共同代表）
7/22	紡ぐための言葉を養う	長島確（ドラマトウルク／翻訳家）、川瀬一絵（写真家）
8/5	「伝える」を考える	佐藤悠（騙り部／ゴロゴロ助平代表／御嘶屋家元／知ったかアート大学学長）
8/26	歴史を辿る、言葉を捉える	加治屋健司（美術史家／東京大学大学院総合文化研究科准教授）、羽原康恵（アートコーディネーター／特定非営利活動法人取手アートプロジェクトオフィス理事・事務局長）
9/2	現場を体験する	橋本誠（アートプロデューサー／一般社団法人ノマドプロダクション代表理事）
9/16	立場と伝え方を知る 見方と書き方を知る	中田一会、坂本有理（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー／「思考と技術と対話の学校」教頭）、コロカル編集部（マガジンハウス）
10/7	立場と伝え方を知る 見方と書き方を知る	笹川尚子（特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク）
11/11	言葉を紡ぐ実践 現場を体験する	上條柱子（編集者／ライター）、佐藤恵美（編集者／ライター）
12/9	言葉を紡ぐ実践 紡ぐための言葉を知る	上條柱子（編集者／ライター）、佐藤恵美（編集者／ライター）、藤浩志（美術家／秋田公立美術大学大学院教授・副学長）
12/23	言葉を紡ぐ実践 紡ぐための言葉を知る	小川希（TERATOTERAディレクター／Art Center Ongoing代表）
1/20	言葉を紡ぐ実践	多田智美（編集者／株式会社MUESUM代表）、森司（Tokyo Art Research Labディレクター／「思考と技術と対話の学校」校長／東京アートポイント計画ディレクター）

②連続講座「体験を紡ぐ」

アートプロジェクトを社会とつなぐための体験プログラムやメディアなどの企画を立案し、実践する講座。現場と連携し、プロジェクトや作品について語るガイドツアーやトークプログラム、活動を伝えるためのメディアづくりや場づくりなどに取り組んだ。

開催期間 7月～1月

会場 アーツカウンシル東京 ROOM302 ほか

参加費 一般60,000円、学生40,000円

参加者数 10人

スクールマネージャー 坂田太郎 (P3 art and environment リサーチャー/サイト・イン・レジデンス)、野崎美樹 (SLOW LABEL プロジェクトマネージャー/コーディネーター)

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など
7/8	ガイドダンス アートプロジェクトを「紡ぐ」	多田智美 (編集者/株式会社MUESUM代表)、松田雅代 (NPO法人 BEPPU PROJECTアートプロジェクト事業部統括)、三宅航太郎 (うかぶLLC共同代表)
7/15	実践例に学ぶ	アサダワタル (文化活動家/アーティスト)、荒田詩乃 (NPO法人アートフル・アクションスタッフ)
7/29	実践例に学ぶ	L PACK / エルバック (アーティストユニット)、嶋田昌子 (NPO法人横浜シティガイド協会副会長)
8/19	ガイドツアー演習	水谷朋代 (認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンターアートプロジェクトマネージャー/黄金町BASE 共同設立者)、石神夏希 (劇作家/ベビン結構設計/NPO法人場所と物語 理事長/The CAVE 取締役)、鬼頭健吾 (美術家/京都造形芸術大学芸術研究科准教授)、西田司 (建築家/オンデザイン代表)
8/26	ガイドツアー演習	杉崎栄介 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団広報 ACY グループ担当リーダー、プログラム・オフィサー)
9/2	ガイドツアー演習	
9/23	メディア制作演習 自主企画・調査	鈴木一郎太 (株式会社大と小とレフ取締役)、影山裕樹 (編集者/千十一編集室)
10/14	メディア制作演習 自主企画・調査	
10/28	メディア制作演習 場づくり演習 自主企画・調査	
11/11	場づくり演習	
12/2	場づくり演習 自主企画・調査	小高日香理 (東京都現代美術館学芸員)
12/16	自主企画・調査	
1/6	メディア制作演習 場づくり演習	佐藤李青 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)
1/13	実践例に学ぶ 自主企画・調査	森司 (Tokyo Art Research Labディレクター/「思考と技術と対話の学校」校長/東京アートポイント計画ディレクター)、嘉原妙 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)

③公開講座「技術を深める」

アートプロジェクト運営に必要な技術や知識を身につけるための講座。運営の基礎や、広報やPRに求められる視点、リスクマネジメント、記録などについて、多彩なゲストによるレクチャーや、グループワークも交えながら実施した。

開催期間 10月～2月

会場 アーツカウンシル東京 ROOM302

参加費 1,500円

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者 (人)
10/3	アートプロジェクトをはじめのための技術 ～アートプロジェクトの運営スキルを身につけよう・事務局ビギナー編～	坂田太郎 (P3 art and environment リサーチャー/サイト・イン・レジデンス)、及位友美 (voids/コーディネーター) 坂本有理 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー/「思考と技術と対話の学校」教頭)	21
11/21	アートプロジェクトを伝えるための技術 ～地域と芸術をつなぐ、広報、PR、コミュニケーション・デザインとは?～	福田敏也 (博報堂-Chief Creative X Technology Officer / 大阪芸術大学デザイン学科教授 / 777 Creative Strategies 代表取締役 / FabCafe LLP. Founder & Creative Director) コーディネーター: 中田一会 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)	31

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人）
2/7	アートプロジェクトのリスクに向き合う技術 ～関わる人や物事を守るリスクマネジメントとは？～	吉田武司（アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局長） ファシリテーター：橋本誠（アートプロデューサー／一般社団法人ノマドプロダクション 代表理事）、大内伸輔（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）	16
2/21	アートプロジェクトを記録・アーカイブする技術 ～写真・映像の記録撮影から保存・活用まで～	石井瑞穂（アークスプロジェクト コーディネーター）、金巻勲（PARADISE AIRエディタール コーディネーター）、須藤崇規（映像ディレクター） ファシリテーター：橋本誠（アートプロデューサー／一般社団法人ノマドプロダクション 代表理事）	18

④公開講座「アートプロジェクトの今を共有する」

各回にゲストを招き、アートプロジェクトの最新事例や2020年以後の在り方を考えた。

開催期間 9月～2月

会場 アーツカウンシル東京 ROOM302

コーディネーター 橋本誠（アートプロデューサー／一般社団法人ノマドプロダクション代表理事）

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人）
9/15	これからの文化施設とアートプロジェクト ～まちから得たものをまちへ返す「太田市美術館・図書館」の試み～	小金沢智（太田市美術館・図書館学芸員）	33
10/12	集まれアートマネージャー！ ～音楽と美術、芸術と生活のあいだの祭典<札幌国際芸術祭2017>の試みを紐解く～	細川麻沙美（プロジェクト・コーディネーター／札幌国際芸術祭事務局マネージャー）	28
12/22	EAT&ART TARO《さいはての「キャバレー準備中」の舞台裏 ～食がつかなくアートと地域の次なるかたち～	EAT&ART TARO（現代美術アーティスト）	28
2/15	〈ヨコハマ・バラトリエンナーレ 2017〉がつかなく世界 ～栗栖良依が挑む多様性と協働から生まれる表現～	栗栖良依（SLOW LABELディレクター／ヨコハマ・バラトリエンナーレ総合ディレクター）	28

⑤発行物

『Tokyo Art Research Lab 思考と技術と対話の学校 2017 アニュアルレポート』

(2) 研究・開発

専門家との協働により、専門的な知見や課題の整理と発信、アーカイブの手法をまとめた冊子やシステムの開発を行った。

①「第3コーナー」のつくりかた：記録・編集・アーカイブ

記録・編集・アーカイブの実践として、平成30年度に事業実施から10年目を迎える東京アートポイント計画を事例に『10年史（仮）』の企画編集、記録の整理やアーカイブ構築の準備を進めた。これらの作業を通して、Tokyo Art Research Lab 研究・開発が積み重ねてきた知見の再検証を試みた。

実施期間 7月～3月

『10年史（仮）』企画編集 川村庸子（編集者）

記録整理・アーカイブ協力 沖江恵（アシスタントコンサルタント）

プログラムオフィサー 佐藤李青、大内伸輔、中田一会（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）

②アートプロジェクトのつかまえた：評価の視点／検証の手法

アートプロジェクトにおける評価の視点や検証の手法を実践者、評価や調査の専門家と連携することから検証した。「東京アートポイント計画」の平成21年から平成28年までの事業成果を踏まえ、事業実績データや共催団体へのアンケート調査のデータ分析、共催団体に対するヒアリング調査を行うとともに、その結果を検証、考察をすることにより、8か年の事業の結果（アウトプット）、成果（アウトカム）、波及効果（インパクト）を総括することを目的に実施した調査の報告書を作成した。

実施期間 7月～3月

研究メンバー 大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室／文化生態観察）、吉澤弥生（共立女子大学文芸学部准教授／社会学者／NPO法人地域文化に関する情報とプロジェクト[recip]理事／NPO法人アートNPOリンク理事）、佐藤李青（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）

発行物 『東京アートポイント計画 2009-2016 実績調査と報告』

③地域と文化と制度の研究会

地域と文化に関わる中間支援の実践的な「機能」を議論するための研究会。いま、どのような中間支援の役割が必要なのか？ どう新たな人や活動と出会い、事業を始めるのか？ どう事業に伴走するのか？ どのように事業の価値を記述し、共有していくのか？ 現場で直面する課題の数々を、全国各地の実践や知見に照らし合わせ、よりよい中間支援のありかたを議論した。

開催期間 9月～3月

モデレーター 小川智紀（認定NPO法人STスポット横浜 理事長）、佐藤李青（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）

記録 田中真実（認定NPO法人STスポット横浜事務局長／横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局長）

研究メンバー 東京アートポイント計画 プログラムオフィサー（公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京）、川村庸子（編集者）

企画運営協力 認定NPO法人STスポット横浜

回数	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人）
準備会	認定NPO法人STスポット横浜について	話題提供：小川智紀・田中真実（認定NPO法人STスポット横浜）	—
第1回	アーツコミッション・ヨコハマ（ACY）について	杉崎栄介（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団広報ACYグループ担当リーダー、プログラム・オフィサー）	—
第2回	静岡県文化プログラムについて	鈴木一郎太（株式会社大と小とレフ取締役）	—
第3回	プログラムオフィサーの仕事について	鈴木祐司（公益財団法人地域創造基金さなぶり）、若林朋子（プロジェクト・コーディネーター／プランナー）	—
第4回	これまでの議論の振り返り		—
第5回	公開研究会「アートとコミュニティを巡って（1）：イギリスの経験から」	小林瑠音（文化政策研究者／神戸大学大学院博士後期課程）	15
第6回	公開研究会「アートとコミュニティを巡って（2）：アーティストの視点から」	深澤孝史（美術家）	28

④旅するリサーチ・ラボラトリーⅣ - フィールドワークと表現

アートの現場におけるフィールドワークの実践に着目し、平成24年度より旅を通してリサーチやアウトプットの手法、それらにまつわる作法に関するグループリサーチを展開してきた。プロジェクト最終年度となる平成29年度は、これまでに重ねてきたフィールドワーク、リサーチ、アウトプットに関わる多様な経験を振り返り、そのエッセンスを多くの人と共有するメディアづくりに取り組んだ。4年間の成果として制作したウェブサイトでは、これまでの旅と活動から得たキーワード、考察や観察を「Field Note」に記し、「Archive」には旅やイベントのレポートを兼ねて発行された印刷物などを掲載した。

開催期間 1月～3月

リサーチ企画・監修 mamoru（サウンドアーティスト）、下道基行（美術作家／写真家）

デザイン 丸山晶崇（デザイナー）

ウェブサイト構築 萩原俊矢（ウェブディレクター）

広報 芦部玲奈（アートマネージャー）

【活動報告会】

「旅するリサーチ・ラボラトリーⅣ - フィールドワークと表現 -」活動報告会

開催日 3月16日

会場 SHIBAURA HOUSE 5 F BIRD ROOM

出演 mamoru（サウンドアーティスト）、下道基行（美術作家／写真家）、丸山晶崇（デザイナー）、芦部玲奈（アートマネージャー）、萩原俊矢（ウェブディレクター）、森司（Tokyo Art Research Labディレクター／「思考と技術と対話の学校」校長／東京アートポイント計画ディレクター）

参加人数 25人

⑤アートプロジェクトの「言葉」に関するメディア開発：メディア／レターの届け方

アートプロジェクトから生まれた「言葉」（報告書やドキュメントブックなどの発行物）の届け方の手法を研究・開発した。前年度に引き続き、アーツカウンシル東京の取り組みから「東京アートポイント計画」「Tokyo Art

Research Lab]「Art Support Tohoku-Tokyo (東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業)」を取り上げ、その発行物を届けるためのメディア開発 (パッケージおよびレター) を行った。冊子を届けるだけでなく、事業のアウトプット (発行物) とアウトカム (成果) の関係性を可視化することを目指した。

実施期間 2月～3月

研究メンバー 川村格夫 (デザイナー)、川村庸子 (編集者)、佐藤恵美 (編集者/ライター)、佐藤李青、中田一会 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)

(3) ROOM301、ROOM302、アーカイブセンターの活用

アートセンター「アーツ千代田3331」3階にある、アーツカウンシル東京のレクチャールームおよびアーカイブセンターを活用するプログラムを展開した。

①アーカイブセンター開室

地域・社会に関わる各地のアートプロジェクトの収蔵資料を公開。また、Tokyo Art Research Labや東京アートポイント計画から発行している冊子も配布した。

開催期間 4月～3月

参加者数 699人

②Tokyo Art Research Lab オープンルーム2018

5日間にわたり、アートプロジェクトのための交流の場を開いた。会期中はお金や運営に関するトークや、アーカイブ資料の公開、担い手を対象とした相談窓口を展開した。

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者 (人)
3/9	“アートプロジェクトを売る”を考える	清宮陵一 (VINYL SOYUZ LLC 代表/NPO法人トッピングイースト 理事長)、林曉甫 (NPO法人インビジブル 理事長/マネージング・ディレクター)、聞き手: 森司 (Tokyo Art Research Labディレクター/「思考と技術と対話の学校」校長/東京アートポイント計画ディレクター)	23
3/10	ことば本のことばを読む会「ことこと会」ーことばから紐解くアートプロジェクト運営の現場ー	坂田太郎 (P3 art and environment リサーチャー/サイト・イン・レジデンス)、吉田武司 (アートアクセスあだち 首まち千住の縁 事務局長)、関川歩 (Art Bridge Institute)、大内伸輔、中田一会、嘉原妙 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、進行: 坂本有理 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)	12
3/7~11	アーカイブセンター開室	—	—
3/9、10	アートプロジェクト相談窓口	—	8
3/10	東京アートポイント計画新規共催団体説明会	—	13

【参加者の声】

- ・実際に受講してみて、まずは書いてみよう、という体力のようなものを得ることができたと感じています。中でも講座での丁寧な意見交換や、エディターからの専門的なフィードバックはとても勉強になりました。またアートプロジェクトを支える人々のお話を伺うことで、ひとつのプロジェクトを多角的に捉えることができるようになったと思います。(連続講座受講生)
- ・講座の終了後、本を用いた場づくりを自主的に始めました。「体験を紡ぐこと」は、何かとの出会いや言語化する機会をデザインすることと捉えています。思考を物質化した本を媒介として「何か」と出会う場をデザインする。このプロジェクトを通してそんな場をつくり、育てていきたいと思っています。(連続講座受講生)
- ・アートプロジェクトの現場で実際に「記録」に関わっているものの、これまで持っていなかった技術に目を向けることができた。(公開講座参加者)
- ・プロジェクトのキラキラした話だけでなく、裏方の話が聞けたのが良かった。(公開講座参加者)

45

アーツカウンシル・フォーラム オープン・フォーラム2018 「新しい社会システムの表現者たち—領域を超えたアプローチが導く文化と都市の未来—」

【事業概要】

開催日	平成30（2018）年2月18日（日）
会場	スパイラルホール（スパイラル3F）
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
参加者数	120人
参加料	無料（事前申込制）
言語	日英同時通訳

【事業趣旨（目的）】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

【開催状況】

アーツカウンシル東京と東京都は2020年に向け、文化の面でのレガシーを2020年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現をめざし「東京文化プログラム」を展開している。2020年に向けた文化プログラムは、東京を舞台に、世界へ向けて新しいチャレンジや価値観を示す好機である。本フォーラムでは、「芸術」「コミュニティ」「ビジネス」といった領域を超え、既成概念に縛られない活動に挑戦している若手クリエイターを国内外から招聘し、それぞれのユニークな活動を紹介するとともに、オープンな対話を通じて、2020年さらには2020年以降にも繋がる、文化と都市・東京の新たな可能性を探った。

プレゼンター・パネリスト

- チャン・フウイ・シェン [Ting Shuo Hear Say 共同代表、台南]
- フラン・エジャリー [Assembleメンバー、ロンドン]
- マイケル・ルン [デザイナー／アーバンファーマー、香港]
- ナカムラケンタ [株式会社シゴトヒト代表取締役、東京]

モデレーター

- 芹沢高志 [P3 art and environment 統括ディレクター]

構成：

- 第1部 オープニングトーク
- 第2部 事例紹介 4人のプレゼンターによる事例紹介
- 第3部 パネルディスカッション+質疑 プレゼンターとモデレーターによる討論

【参加者の声】

来場者アンケート集計結果（2月18日）回答数51件

・イベント満足度について

「大変期待に沿うものであった」 7 「期待に沿うものであった」 35 「期待に沿うものではなかった」 9
→「期待に沿うものであった」と回答した人があわせて82%であった。

・イベント内容の質について

「大変質の高い内容であった」 3 「質の高い内容であった」 41 「質の高い内容ではなかった」 7
→「質の高い内容であった」と回答とした人があわせて86%であった。

・参加して得た学びや気付きの有無について

「新たな学びや気づきが大いにあった」 8 「新たな学びや気づきがあった」 35 「新たな学びや気づきはなかった」 8
→「新たな学びや気づきがあった」と回答とした人があわせて84%であった。

46 「メディアアート国際シンポジウム 『“アート&テクノロジー”—創造・教育・アーカイブのために—』

【事業概要】

<シンポジウム>

開催日	平成30(2018)年2月11日(日・祝)
会場	東京ウィメンズプラザ
主催	国際交流基金アジアセンター、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協力	デジタル・ショック、アンステイチュ・フランセ東京
入場者数	139人
参加料	無料(事前申込制・先着順)
言語	日英同時通訳

【関連事業】

<教育普及ワークショップ>

日時:平成30(2018)年2月10日(土)・12日(月・振休)・17日(土)・18日(日)

会場:渋谷文化総合センター大和田学習室

参加費:無料

対象:小学4年生~高校3年生

※下記4つのワークショップを実施

①山口情報芸術センター[YCAM]ワークショップ「Eye2Eye」

②山口情報芸術センター[YCAM]ワークショップ「コトバ身体」

③WSK: Festival of the Recently Possibleワークショップ「“元気グループ”—身近なものからレコードプレーヤーを作ろう!」

④Lifepatchワークショップ「“グリッチテープ”—音と映像をつくり出すシンセサイザーを作ろう!」

<トークイベント>

日時:平成30(2018)年2月11日(日)、14日(水)、17日(土)

会場:Red Bull Studios Tokyo

参加費:無料

①2月11日(日)「The Real of Liquid Asia ~今、アジアの音楽シーンはどこにあるのか~」

ゲスト:tomad(オーガナイザー、DJ、Maltine Records主宰)[日本]、KimoKal(ミュージシャン)[インドネシア]、Similarobjects(サウンドアーティスト、DJ/Buwan Buwan Collective主宰)[フィリピン]、tofubeats(トラックメイカー、DJ)[日本]

モデレーター:Jun Yokoyama(フォトグラファー/エディター)

②2月14日(水)「ヨーロッパと日本におけるメディアアートシーン」

ゲスト:Olga Drygas(NOWY TEATR国際プロジェクトプロデューサー)[ポーランド]、Agnieszka Kubicka-Dzieduszycka(WRO Art Centerキュレーター、プロジェクトマネージャー)[ポーランド]、タグチヒトシ(GRINDER-MAN)[日本]

③2月17日(土)「新たな宇宙観をめぐって~マルチバース宇宙論と作品「datum」から~」

ゲスト:平川紀道(アーティスト)、野村泰紀(米カリフォルニア大学バークレー校教授)、椿玲子(森美術館キュレーター)

【事業趣旨(目的)】

- ・東京のメディアアートシーンが次に進む具体的な方法と、長期的な支援のあり方を検討する。
- ・海外の先進事例の紹介を通して、メディアアート作品の創造・発信環境、情報化社会における芸術文化のあり方等について、政策側の認識更新と課題設定を行う。
- ・メディアアートに関する国際的なカンファレンスやプラットフォームの意義や目的を定義する。

【参加者の声】

- ・さまざまなトピックを横断していて好奇心を刺激されました。
- ・マニラ・ジャカルタの方の実問題へのアプローチが熱く面白かった。
- ・世界各地の当事者の話を直接聞いた。

47

障害とパフォーマンス・アーツ研究会

【事業概要】

開催期間	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
会場	アーツカウンシル東京
主催	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

平成28年度に引き続き、障害者の多様な芸術創造活動について、「芸術文化による社会支援助成」などで助成実績のあるパフォーマンス・アーツ（舞台芸術）分野の団体を中心に参加を呼び掛けて3回の研究会を開催した。平成28年度は実践者のネットワーク構築や課題の共有を主な目的として実施したが、平成29年度はさらに活動プラットフォームの形成、アーティストや支援者の人材育成、課題解決に向けた基盤整備の取り組みの事例等をテーマとし、課題解決への効果的な企画の考案に向けたディスカッションも行った。

【事業趣旨（目的）】

他分野に比べて実践者の数が限られ、団体間の横の連携が十分ではない状況にあるパフォーマンス・アーツ（舞台芸術）分野の障害者の芸術創造活動について、ネットワークや活動プラットフォームの形成、アーティストや支援者の人材育成、当該領域の課題解決に向けた基盤整備や効果的な企画を考案することを目的として研究会を開催する。

【開催状況】

開催日	会場	内容	参加団体数
12/1	アーツカウンシル東京	参加団体の活動紹介、厚生労働省「障害者文化活動普及支援事業」東京都支援センター「アーツサポ東京」について（社会福祉法人トット基金・佐藤宏美）、意見交換	15 （オブザーバー参加：4人）
2/1	アーツカウンシル東京	今後の企画実現に向けたディスカッション	12 （オブザーバー参加：1人）
2/26	アーツカウンシル東京	今後の企画実現に向けたディスカッション	13 （オブザーバー参加：1人）

48

舞踊分野の振興策 研究会

【事業概要】

開催期間 平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月
 会場 アーツカウンシル東京
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 参加者数 67人

【事業趣旨（目的）】

舞踊分野の振興についてのヒアリングの実施と研究会を通し、舞踊とは何かという本質を再確認し、舞踊分野の現状や課題の検証と共に解決に向けた支援策を検討、提言づくりに取り組んだ。（両事業ともに平成30年度公開予定）

【開催状況】

（1）有識者ヒアリング集の編纂

舞踊分野の現状の課題や問題意識、および公的支援等の在り方について、舞踊関係者に加え幅広い社会層の有識者に対して行った計31件のヒアリング（平成28年度内実施）の編纂作業に取り組んだ。

（2）舞踊分野の振興策研究会の開催

東京を拠点とする舞踊分野のプロデューサー7人とともに平成29年4月から11月にかけて全6回開催。オブザーバーとして若手プロデューサーや制作者、中間支援組織プログラムオフィサー等延べ11人参加。

舞踊分野の振興策研究会メンバー7人

佐藤美紀（スタジオ アーキタンツ・プロデューサー）
 高樹光一郎（一般社団法人ハイウッド／プロデューサー）
 林慶一（d-倉庫 制作）
 平岡久美（舞踊制作／Dance in Deed!）
 三上さおり（世田谷パブリックシアター 劇場部企画制作担当）
 宮久保真紀（Dance New Air チーフ・プロデューサー）
 武藤大祐（群馬県立女子大学准教授、ダンス批評家、振付家）

舞踊分野の振興策研究会

開催日	会場	内容	参加者（人）
4/17	アーツカウンシル東京	振興策について提案したい具体的なテーマの検討、プレスト	研究会メンバー：7 オブザーバー：10
5/16	アーツカウンシル東京	振興策の各テーマについて、社会的価値・必要性についてのグループワーク	研究会メンバー：7
7/6	アーツカウンシル東京	・ゲスト講師による芸術振興の変遷や事例についての講義および意見交換 ・施策案のまとめ作業（理念づくり）	研究会メンバー：7 オブザーバー：6
8/4	アーツカウンシル東京	施策案の精査	研究会メンバー：6 オブザーバー：4
9/25	アーツカウンシル東京	振興策、施策案の精査	研究会メンバー：7 オブザーバー：7
11/2	アーツカウンシル東京	振興策、施策案の精査、まとめ作業	研究会メンバー：6

49

東京芸術文化創造発信助成 【長期助成プログラム】活動報告会

【事業概要】

開催日 平成29（2017）年7月11日、平成30（2018）年1月25日、2月23日
 会場 アーツカウンシル東京
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 入場者数 計119人

【事業趣旨（目的）】

平成25年度より開始した東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】の助成対象活動を終了した助成採択団体による、公開型の活動報告会。助成採択団体による助成対象活動を振り返るプレゼンテーションと担当プログラムオフィサーとの対話形式による成果と課題等の深掘りを通して、団体の今後の展望の共有を図るとともに、長期助成プログラムの検証と紹介の場を創出した。

【開催状況】

開催日	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者（人）
7/11	第1回 「カンパニーデラシネラの若手プロジェクト3年間の振り返り」 【平成26年採択：活動期間3年間】	カンパニーデラシネラ（株式会社デラシネラ） 報告者：小野寺修二（演出家、カンパニーデラシネラ主宰）、藤田桃子（カンパニーデラシネラ）、大庭裕介、崎山莉奈、仁科幸（「白い劇場シリーズ」メンバー）	【第1部】 活動概要の自己紹介と自己評価・分析（デラシネラによるプレゼンテーション） ○活動を実施するに至った経緯・理由・動機など ○活動概要（3年間の活動の流れ、取り組んだこと。2年目に加わったアジアツアーなども織り交ぜて） ○活動過程における変化・変遷など 【第2部】 深掘り振り返り（インタビュー形式） ○長期助成によって実現できたこと、成果や感じた課題、新しい気づき ○長期プロジェクトならではのやりがい、工夫や困難 ○これから活動のビジョン、期待する支援の在り方、など 【助成対象活動の概要】 カンパニーデラシネラが若手メンバーとの協働を通して新しい形の創作集団の発展と人材育成を目指した「白い劇場シリーズ」。 1年目：オーディション、ワークショップの後に都内にて新作「分身」の公演。 2年目：小野寺が文化庁文化交流使の任命を受け、ベトナムとタイでの公演「もう一つの話」と、都内にて新作公演「権姫」を上演。 3年目：「白い劇場シリーズ」の集大成として、小3作公演「小品集」を都内に新しくオープンした小劇場「浅草九劇」のこけら落とし企画として上演。	41
1/25	第2回 「身体を透してみえてくるもの－更新をつづける国際ダンスフェスティバル Dance New Air」 【平成27年採択：活動期間2年間】	一般社団法人ダンス・ニッポン・アソシエイツ(DNA) 報告者：宮久保真紀（チーフプロデューサー）、平岡久美（プロデューサー）、小野晋司（プロデューサー）、小林裕幸（プロデューサー）	【第1部】 活動概要の自己紹介と自己評価・分析（DNAによるプレゼンテーション） ○フェスティバルの概要・目的等（ダンスピエンナーレ、ダンストリエンナーレからDNAの組織改編なども踏まえて） ○活動概要：2年間の活動全体の流れ、取り組んだこと。 【第2部】 深掘り振り返り（インタビュー形式） ○長期プロジェクトならではの工夫や困難・見出された課題など ○当初の目標、目的の達成度について ○活動する中で、変化、成長したことなど（活動規模や内容の見直し等含めて） ○長期助成によって実現できたことについて ○これからの課題、目標、ビジョン等 【助成対象活動の概要】 体制を一新して始動したフェスティバル「Dance New Air」の2年間に渡る活動展開。 1年目：フェスティバル前年の新企画サイトスペシフィック公演の実施とフェスティバルのプログラミングのためのリサーチとプログラム制作。 2年目：フェスティバルの開催。6プログラム・全16公演のダンス上演企画に加えて、新旧の優れたダンスフィルムの上映企画や屋外パフォーマンス、ワークショップ、ブックフェアも展開。提携プログラムとして、音楽家、蓮沼執太による展覧会とのコラボレーション、ダンスと託児の新機軸「ダンス保育園!!」、世界のダンスプロデューサー20人の招聘プログラム「International Dance Network」等、多岐に渡るプログラムを通して約64,000人が参加。国内外のフェスティバルとのネットワーキングにも意欲的に取り組み、来る平成30年のフェスティバル開催に向けて広がりのあるプロセスを構築した。	35

開催日	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者(人)
2/23	第3回 「より豊かな演劇のために『つくり方』から模索し続けた庭劇団ベニノの3年間」 【平成27年採択：活動期間3年間】	庭劇団ベニノ／合同会社アルシュ 報告者：タニノクロウ（庭劇団ベニノ主宰、劇作家・演出家）、石川佳代（俳優）、緒方晋（俳優）、松本ゆい（演出助手）、マックス＝フィリップ・アッシュェンブレンナー（舞台芸術プレゼンター）、蔵原順子（ドイツ語通訳）	【第1部】 助成対象活動の紹介(庭劇団ベニノによるプレゼンテーション) ○タニノクロウによるプロジェクトの目的と概要紹介（スライド使用） ○プロジェクトの過程における変化・変遷 ○自己評価・分析 ○石川佳代、緒方晋、松本ゆいによるプロジェクトの振り返り ○アッシュェンブレンナーによる庭劇団ベニノの海外における受容、作品の魅力等についてコメント 【第2部】（インタビュー形式） ○長期助成によって実現できたことについて ○長期プロジェクトならではの工夫や困難・見出された課題など ○これからの課題、目標、ビジョン等 【助成対象事業の概要】 回転する盆舞台『はこぶね』を劇団の新たなシンボルとしながら、精巧な舞台美術、緻密で独創的な世界観を基に、国際的に活躍する創造集団となることを目標としたプロジェクト。助成対象となった公演は『大きなトランクの中の箱』（平成26年スイス公演）、『水の檻』（平成27年ドイツ・クレフェルト市立劇場委嘱作品）、『地獄谷温泉 無明ノ宿』（平成27年初演、平成28年ヨーロッパツアー）、『ダークマスター』（平成28年東京公演）。	43

【参加者の声】

- ・他の団体のストーリーも伺いたい。
- ・公共劇場の企画制作の立場から、団体が活動を続けていくことに加えて、どうすれば／どんな発展をしていくのか、そういう意識を持って取り組んでいきたい、様々なヒントを得た。
- ・プログラムオフィサーとアーティストの両方の話がバランスよく聞けて良かった。
- ・表裏、率直な話が伺える貴重な機会だった。
- ・外部にも助成の成果を見えるようにする今回の報告会はとても意義深い。
- ・助成を受けたことで得られた成果がよくわかった。ただ、資金繰りはやはり大変だということがわかり、もう少し助成の金額割合が増えればいいなと思った。
- ・複数のメンバーからそれぞれのお話がうかがえ、助成をきっかけにした他の動きも面白かった。
- ・15～20分程度で回していく報告会は多々あるが、1件の助成を2時間にわたって聞ける機会はあまりなく、とても貴重だった。
- ・変化に対応できる助成であることが優れていると思った。若手の長期支援の重要性を実感した。
- ・大変役に立ちました。
- ・全体的な話が聞けて嬉しかった。自分の取り組みにも生かされそうなわかりやすい内容だった。
- ・助成と運営組織の強化は具体的に結びついているのだろうか？

50

広報活動

【事業概要・事業趣旨（目的）】

アーツカウンシル東京の個別事業に関する広報を個々の実施団体が中心となって行っている一方で、アーツカウンシル東京として統一のイメージを構築し、発信力を強化するため、メディアをはじめ一般的に認知を広めることを目的とした広報活動を行っている。

具体的には、プレスリリースの発行に加え、媒体各社を訪問して記者との対話の中から記事化を目指すキャラバン活動やメディアの方々とアーツカウンシル東京事業についての意見交換を行う記者懇談会の開催など、様々な手法によるパブリシティ活動を中心としている。また、適宜媒体を選択してタイアップ記事も展開。さらに、ウェブサイト、SNSなどの独自媒体やラジオ番組でコンスタントに情報発信を行っている。また、首都圏の芸術文化団体の広報担当を主な対象者とし、「Arts Council Tokyo Bridge Meeting（芸術文化団体広報ネットワーク会）」を実施した。

1. 公式ウェブサイト（日本語・英語対応）

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/> <https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

ユーザーが必要とする情報にいち早くアクセスできるよう分かりやすさを重視して使い勝手の向上に努めた。また、アーツカウンシル東京が主催する事業プログラムにライターが出向き、現場をレポートするブログで事業の詳細を紹介したり、カウンシルボード委員が執筆するアカデミックなコラムにより、ユーザーの興味、関心の喚起に努めた。さらに今年度は、事業の記録を残すため、映像制作を行い、記録動画やチラシ、パンフレットなどの制作物等を閲覧できるようサイトをリニューアルした。アーカイブ的な機能を持たせることにより、ウェブサイトとしての役割をさらに広げることができた。

2. SNS (Facebook、Twitter)

アーツカウンシル東京の公式FacebookページおよびTwitterアカウントから様々な情報を写真も交えて随時発信した。また、公式ウェブサイトへ誘導することにも大きな役割を果たした。さらに、今年度はインフルエンサーを起用したSNSでの情報発信に力を入れた。

Facebook (「いいね！」)	7,719
Twitter (フォロワー)	8,000

※平成30年3月31日時点

3. メールニュース

アーツカウンシル東京が主催するイベントや公募等の最新情報やニュースを定期的にお知らせするため、月2回メールニュース（日英バイリンガル）を配信した。

配信者数 1,734人

※平成30年3月31日時点

4. ニュースリリース・ニュースレター配信

「年間ラインアップ発表」や助成事業の公募開始、採択事業決定のプレスリリース等を15本配信した。また、東京都民の芸術文化体験の実態調査に関するアンケートを行い、その結果に基づき秋のフェスティバル事業紹介につながるニュースレターや、機構長の発言を基にした「2020年のその先を考える。アーツカウンシル東京が描く、社会の未来」と題したニュースレターを、日本語5本（再編集版含む）、英語2本で発行し、国内外に配信した。ニュースレターは、アーツカウンシル東京の事業をテーマに即してまとめることで、取り組みや理念をわかりやすく伝え、メディアキャラバンにおいても好感触を得て、多くの記事化に繋がった。

5. 記者懇談会

2020年に向けてメディアの関心を集める「東京文化プログラム助成」や「東京文化プログラム企画公募」をはじめ、「東京キャラバン」、「TURN」など、オリンピック・パラリンピック関連の事業展開を中心に、記者懇談会を開催。東京の文化政策の目標実現において一翼を担うアーツカウンシル東京に対する理解・共感を深めていただくことを目的に、意見交換を行った。

開催日 7月25日（火）

会場 アーツカウンシル東京

プレス出席者 14社/20人

6. 編集タイアップ

今年度は、アート系のメディアに加え、これまでアーツカウンシル東京を知らなかった層への認知を広げるために、アートと親和性を持ちそうなファッション系のメディアや、取り組みの意義を伝えるため社会派提言メディアにもリーチを広げた。また、コーポレートブランディングの一環として、タイアップにより週刊東洋経済で機構長のインタビュー記事を掲載。また、訪日外国人旅行者や国内在住外国人への情報発信も視野にいれ、影響力を持つTimeOut Tokyoと大型のタイアップを展開。さらには、メディア以上に影響力を持つと言われるインフルエンサーと組むことで発信力強化を図った。

媒体10件

ジャンル	日付	媒体	言語	内容
雑誌	12/25発行号	週刊東洋経済	日	4C2P 機構長インタビュー
WEB	6/23	BLOGOS	日	オリンピックを通じて日本の芸術・文化を発信するアーツカウンシル東京の取組
	9/20	TimeOut Tokyo	日・英	芸術文化体験についての実態調査のニュースレターをもとに、秋のイベント10本掲載
	9/22	VOGUE	日	芸術文化体験についての実態調査のニュースレターをもとに、秋のイベント5本掲載
	9/27	JapanToday	英	芸術文化体験についての実態調査のニュースレターをもとに、秋のイベント5本掲載
	10/4	CINRA.NET	日	アンサンブルズ東京 大友良英インタビュー記事
	10/25	FASION PRESS	日	MOTサテライト 秋元梢体験レポート およびインフルエンサーとしてTwitterで発信

7. ラジオ番組提供

アーツカウンシル東京の各事業のPRを通して、アーツカウンシル東京を戦略的かつ積極的に発信し、広く周知することを目的に、25年度より開始したラジオ情報番組「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」。リスナーからも好評であったため、番組提供し、リスナーの興味、参加意欲の向上に努めた。また、27年度からアーツカウンシル東京の取り組みについて外国人を対象に積極的かつ定期的に発信し、ブランドイメージの浸透を図ることを目的として、インターネットラジオチャンネルTOKYO FM WORLDにて、英語番組「TOKYO ART BLOOM」を配信している。東京に暮らし文化・芸術分野で活躍する外国人の方などを招いたゲストトークと、アーツカウンシル東京が展開する事業の紹介により構成し、今年度も引き続き広く世界各国のリスナーへ情報発信した。

(1) J-WAVE 「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」

平成29年度 アーツカウンシル東京提供ラジオ番組 J-WAVE 「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」
放送実績（毎週土曜日/午前11時35分ごろから10分間放送）

No.	OA	事業名	タイトル/放送内容	ゲスト出演者
1	4/1	アーツカウンシル東京の今年度のラインアップ紹介		森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長）
2	4/8	芸術セレクション	ローザス「ファーズ-Fase」「時の渦-Vortex Temporum（ヴォルテックス・テンポラム）」	前田圭蔵（東京芸術劇場広報営業係長）
3	4/15	Music Program TOKYO	ワークショップ・リーダー育成プログラム	福井千鶴（東京文化会館教育普及担当係長）
4	4/22	Music Program TOKYO	小曽根真&ピーター・アースキン "Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団	小曽根真（ピアニスト）
5	4/29	TACT/FESTIVAL2017		前田圭蔵（東京芸術劇場広報営業係長）
6	5/6	5月病と別れる5つの《文化的な》方法		森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長）
7	5/13	TERATOTERA	TERAKKO募集	浪江航一、遠山尚江（TERAKKO）
8	5/20	アーツアカデミー	調査研究員募集	小野寺啓（アーツカウンシル東京企画担当係長）
9	5/27	上野「文化の杜」新構想	UENO WELCOME PASSPORT	窪田知恵（アーツカウンシル東京企画係）
10	6/3	夏休みの準備は今のうちに。—こどもたちに新しい世界を！—		森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長）
11	6/10	TURN	第1回TURNミーティング	日比野克彦（TURN監修、アーティスト）
12	6/17	芸術セレクション	気づかいルーシー	ノゾエ征爾（脚本、演出、出演）
13	6/24	キッズ伝統芸能体験		谷垣内和子（日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕）
14	7/1	新しい文化が生まれる街の条件		森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長）
15	7/8	小金井アートフル・アクション！	Hi-Blood Pressure展	宮下美穂（小金井アートフル・アクション！ 事務局長）
16	7/15	大江戸寄席と花街のおどり その七		葛西聖司（大江戸寄席と花街のおどり その七 ご案内役）
17	7/22	TERATOTERA	リアリー・リアリー・フリーマーケット	池田佳穂（TEARTOTERA事務局）、Aokid（アーティスト）

No.	OA	事業名	タイトル/放送内容	ゲスト出演者
18	7/29	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	イミグレーション・ミュージアム・東京「フィリピンからの、ひとりひとりマキララー知り、会い、踊る」	森本菜穂 (イミグレーション・ミュージアム・東京 事務局)
19	8/5	「渚」は未来をつくるマジックワード		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
20	8/12	TURN	TURN フェス3	奥山理子 (TURN コーディネーター)
21	8/19	アンサンブルズ東京	大風呂敷ワークショップ	山岸清之進 (プロジェクトFUKUSHIMA)
22	8/26	東京キャラバン		野田秀樹 (東京キャラバン総監修、劇作家、演出家、役者)
23	9/2	踊るアツカン見るアツカン、おなじアツカンなら踊りゃなソソソ! (字余り)		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
24	9/9	伝承のたまてばこ〜多摩伝統文化フェスティバル2017〜		米倉楽 (八王子市学園都市文化ふれあい財団)
25	9/16	東京芸術祭2017		植松侑子 (東京芸術祭事務局)
26	9/23	Museum Start あいうえの	うえの!ふしぎ発見	稲庭彩和子 (東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長)
27	9/30	六本木アートナイト2017		南條史生 (六本木アートナイト実行委員長)
28	10/7	「秋の夜長に夜のことを考える」〜ナイトタイムエコノミーって何?		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
29	10/14	アンサンブルズ東京		大友良英 (音楽家、アンサンブルズ東京芸術監督)
30	10/21	MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景		小高日香理 (東京と現代美術館)
31	10/28	江戸あそび ~日本橋伝統文化フェスティバル~		森山開次 (ダンサー・振付家)
32	11/4	東京芸術祭2017	「表に出るいっ!」English version "One Green Bottle"	野田秀樹 (劇作家、演出家、役者)
33	11/11	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2017		鳥羽屋里夕 (長唄三味線演奏家)、日置圭子 (神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 企画担当)
34	11/18	上野「文化の杜」新構想	TOKYO数寄フェス2017	鈴木潤子 (TOKYO数寄フェス 広報担当)
35	11/25	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住2017 関屋」	戸塚愛美 (音まち千住の縁 事務局)
36	12/2	Shibuya StreetDance Week 2017		KENZO (DA PUMP、Shibuya StreetDance Week 2017ダンス・ディレクター)
37	12/9	外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	江戸糸あやつり人形×落語「人情断文七元結」~年の瀬に観る風物落語 これぞ江戸っ子の心意気~	澤田麻希 (江戸糸あやつり人形 結城座)
38	12/16	芸劇セレクション	池袋ウエストゲートパーク SONG&DANCE	杉原邦生 (演出家)
39	12/23	社会のイノベーションは「文化力」で!		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
40	12/30	外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	能「翁」一神々との邂逅	友枝雄人 (喜多流能楽師)
41	1/6	「アツカン知る」~あらめてアーツカウンシルってなんだっけ?		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
42	1/13	芸劇セレクション	秘密の花園	寺島しのぶ (女優)
43	1/20	伝統芸能普及公演	能楽の水鏡-映像にうつすイマジネーション-	宝生和英 (宝生流第二十代宗家)
44	1/27	Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募		角南晴久 (アーツカウンシル東京オリンピック・パラリンピック文化戦略担当係長)
45	2/3	アートの豆知識、2月はメディアアートフェスティバルだらけだって知ってた?		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
46	2/10	第10回恵比寿映像祭		松尾謙二郎 (invisible designs lab. 代表)
47	2/17	トッピングイースト	ほくさい音楽博	原田芳宏 (Panorama Steel Orchestra)
48	2/24	パフォーマンスキッズ・トーキョー	からだ喜ぶ Rhythm ツアー!!!~自分のリズムを探る旅~	石坂玄士 (神楽太鼓演奏家・踊るパーカッショニスト)
49	3/3	「移民」の若者の未来を考えることは、これからの社会をつくること		森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長)
50	3/10	リライトプロジェクト	Relight Days 2018	宮島達男 (現代美術家)、室内直美 (リライトプロジェクト事務局)
51	3/17	キッズ伝統芸能体験		武田文志 (観世流能楽師)
52	3/24	東京アートポイント計画		大内伸輔 (アーツカウンシル東京事業調整係長)
53	3/31	Music Program TOKYO	ブラチナ・シリーズ	里神大輔 (東京文化会館営業推進係)

(2) TOKYO FM WORLD 「TOKYO ART BLOOM」

	配信日	トークゲスト	紹介事業名等
第11回	5/22	海老原周子 (一般社団法人kuriya代表)	タレンツ・トーキョー2017
第12回	7/17	Jennifer Teo (キュレーター、アーティスト)	TERATOTERA「リアリー・リアリー・フリーマーケット」
第13回	8/28	Xianru Shen (江東区国際交流員)	「東京キャラバンin 八王子」、「伝承のたまてばこ〜多摩伝統文化フェスティバル2017〜」
第14回	9/25	Brian Scott Peterson (写真家)	六本木アートナイト2017
第15回	11/27	Brooklyn Terry (ダンサー、振付家)	Shibuya StreetDance Week 2017
第16回	2/19	Tincho Garcia (「フェルサブルータWA! - Wonder Japan Experience」プロダクション・マネージャー)	Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募

8. Arts Council Tokyo Bridge Meeting（芸術文化団体広報ネットワーク会）

首都圏内の芸術文化団体の広報担当を主な対象者とし、芸術文化施策の広報活動での課題などを抽出し、改善・解決方法などを共有する。情報交換の場とすることを目的に、今年度は4回開催。ゲストトークのほかに、質疑応答や、参加者同士のグループディスカッション・発表を通して、活発な議論や交流が生まれた。芸術文化活動を牽引していく組織として、ネットワークを繋ぐ場を提供することで業界内でのプレゼンスを上げていくとともに、自らも広いネットワークを構築することができた。

	開催日	会場	ゲスト	参加団体数
第10回	9/27	アーツカウンシル東京	堀口昭仁（文化庁長官官房政策課） 玉置泰紀（KADOKAWA 2021年室）	18
第11回	11/22	アーツカウンシル東京	牧野友衛（トリップアドバイザー株式会社 代表取締役）	25
第12回	1/31	アーツカウンシル東京	新井まる（ガールズ・アートのク主宰） 冠那葉奈（アートメディエーター）	17
第13回	2/21	株式会社ブラップジャパン	森川亮（C Channel株式会社 代表取締役社長）	15



記者懇談会



Arts Council Tokyo Bridge Meeting（芸術文化団体広報ネットワーク会）

編集…アーツカウンシル東京
制作／印刷…株式会社丸井工文社

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
〒102-0073
東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8 階
TEL : 03-6256-8430
FAX : 03-6256-8827
MAIL : info@artscouncil-tokyo.jp
URL : www.artscouncil-tokyo.jp



ARTS COUNCIL TOKYO

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス8階
TEL : 03-6256-8430 FAX : 03-6256-8827
www.artscouncil-tokyo.jp